

青梅市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

平成29年4月

青梅市

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	3
第 2 章 調査結果の詳細	5
1. あなたのご家族や生活状況について	7
(1) 家族構成	7
(2) 介護・介助の必要性	7
(2-1) 介護・介助が必要になった主な原因	8
(2-2) 主な介護者・介助者	9
(3) 経済の状況	10
(4) 住居形態	10
2. からだを動かすことについて	11
(1) 階段の昇り方	11
(2) 椅子からの立ち上がり方	11
(3) 歩ける時間	12
(4) 転倒の有無	12
(5) 転倒に対する不安	13
(6) 外出の回数	13
(7) 昨年と比べた外出の回数	14
(8) 外出を控えているか	14
(8-1) 外出を控えている理由	16
(9) 外出時の移動手段	17
3. 食べることについて	19
(1) 身長・体重	19
(2) 固いものの食べにくさ	19
(3) お茶などでむせるか	20
(4) 口の渇き	20
(5) 歯磨き	21
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況	21
(6-1) 噛み合わせ	22
(6-2) 入れ歯の手入れ	22
(7) 体重減少	23
(8) 共食の機会	23
4. 毎日の生活について	24

(1) 物忘れ	24
(2) 電話の利用の可否	25
(3) 日にちの理解	25
(4) 1人での外出	26
(5) 買い物の可否	26
(6) 食事の用意	27
(7) 請求書の支払い	27
(8) 預貯金の出し入れ	28
(9) 書類書き	28
(10) 新聞	29
(11) 本・雑誌	29
(12) 健康についての関心	30
(13) 訪問	30
(14) 相談	31
(15) お見舞い	31
(16) 話しかけ	32
(17) 趣味	32
(18) 生きがい	33
5. 地域での活動について	34
(1) 会・グループ等の参加頻度	34
(2) 地域づくりの活動への参加者としての参加	38
(3) 地域づくりの活動への企画・運営としての参加	43
6. たすけあいについて	44
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	44
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	45
(3) 看病や世話をしてくれる人	46
(4) 看病や世話をしてあげる人	47
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手	48
(6) 友人・知人と会う頻度	49
(7) この1か月間に会った友人・知人	49
(8) よく会う友人・知人	50
7. 健康について	51
(1) 現在の健康状態	51
(2) 幸福度	53
(3) ゆううつな気持ち	54
(4) 興味の低下	54
(5) 飲酒	55
(6) 喫煙	56
(7) 治療中の病気	57
8. 高齢者福祉サービスなどについて	58

(1) 介護認定者の介護保険サービスを利用していない理由	58
(2) 介護が必要にならないうちの高齢期の住まいの希望	59
(3) 介護が必要になったときの高齢期の住まいの希望	60
(3-1) 現在の住宅に住み続けたい理由	62
(4) 介護についての希望	63
(5) 保険料と介護サービスのあり方についての考え	64
(6) 充実感や生きがいを感じる事	65
(7) 地域の活動に参加する上での問題点	66
(8) 日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすること	67
(9) 現在の住居で生活を続けていく上であれば助かると思うこと	68
(10) 自身や家族が認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なもの	70
(11) 認知症の人やその家族のためにできそうなこと	72
(12) 市が充実させるべきと思う高齢者施策	73
(13) 事業の利用状況と今後の利用希望	74
(14) 自由意見	88
9. 各種リスクの状況	89
(1) 運動器機能の低下している高齢者割合	89
(2) 転倒リスクのある高齢者割合	90
(3) 閉じこもり傾向のある高齢者割合	91
(4) 低栄養状態にある高齢者割合	92
(5) 口腔機能の低下している高齢者割合	93
(6) うつ傾向の高齢者割合	94
(7) 日常生活圏域別にみたリスク項目別指標の比較（市域全体を100とした場合）	95
※参考資料 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票	

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向け、介護保険も含め高齢者保健福祉施策のより一層の充実を図るため、ご意見・ご要望などをお伺いするアンケート調査を実施した。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 青梅市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	介護認定要介護1から5までの被保険者を除く市内在住の65歳以上高齢者3,200名（施設入所者を除く）

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：平成28年12月5日（月）～12月26日（月）

<回収状況>

調査名	発送数	回収数	回収率
1. 青梅市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,200件	2,636件	82.4%

4. 調査項目

調査名	調査項目
1. 青梅市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1. あなたのご家族や生活状況について 2. からだを動かすことについて 3. 食べることについて 4. 毎日の生活について 5. 地域での活動について 6. たすけあいについて 7. 健康について 8. 高齢者福祉サービスなどについて

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・「性別」「年齢」「地区」「介護度」については、基本情報から項目を追加し、集計した。
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

■ 青梅市日常生活圏域



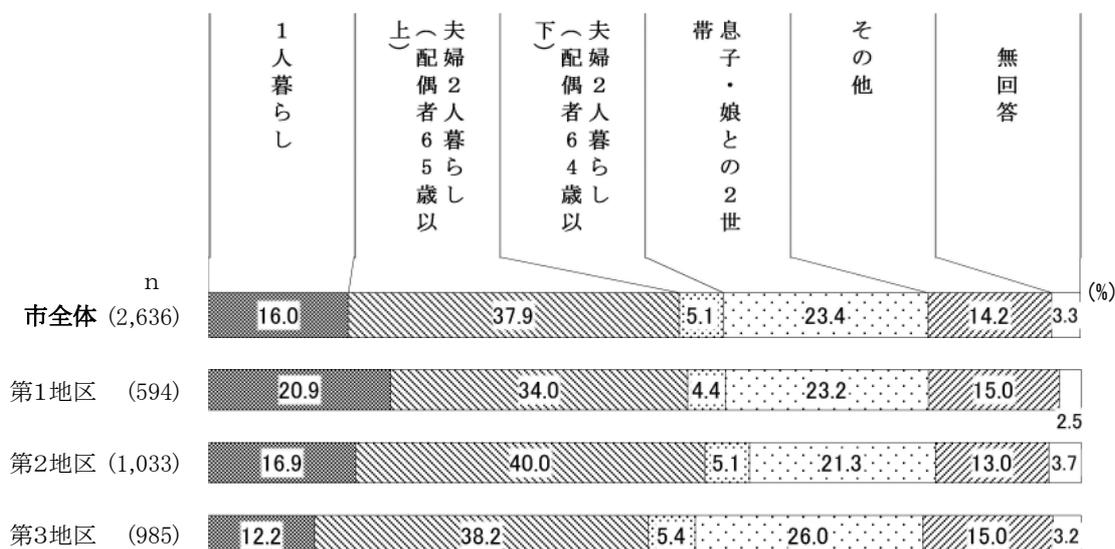
区 分	地域包括支援センター	地 区	地区名
第1地区	青梅市地域包括支援センター (青梅市役所 高齢介護課内)	勝沼、西分町、住江町、本町、仲町、 上町、森下町、裏宿町、天ヶ瀬町、滝 ノ上町、大柳町、日向和田	青梅地区
		東青梅、根ヶ布、師岡町	東青梅地区
第2地区	青梅市地域包括支援センター うめぞの (メディケア梅の園内)	駒木町、長淵、友田町、千ヶ瀬町	長淵地区
		畑中、和田町、梅郷、柚木町	梅郷地区
		二俣尾、沢井、御岳本町、御岳、御岳 山	沢井地区
		河辺町	河辺地区
第3地区	青梅市地域包括支援センター すえひろ (青梅すえひろ苑内)	吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木 野下、今寺	大門地区
		富岡、小曾木、黒沢	小曾木地区
		成木	成木地区
		新町、末広町	新町地区
		藤橋、今井	今井地区

第2章 調査結果の詳細

1. あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成

問1 (1) 家族構成をお教えてください

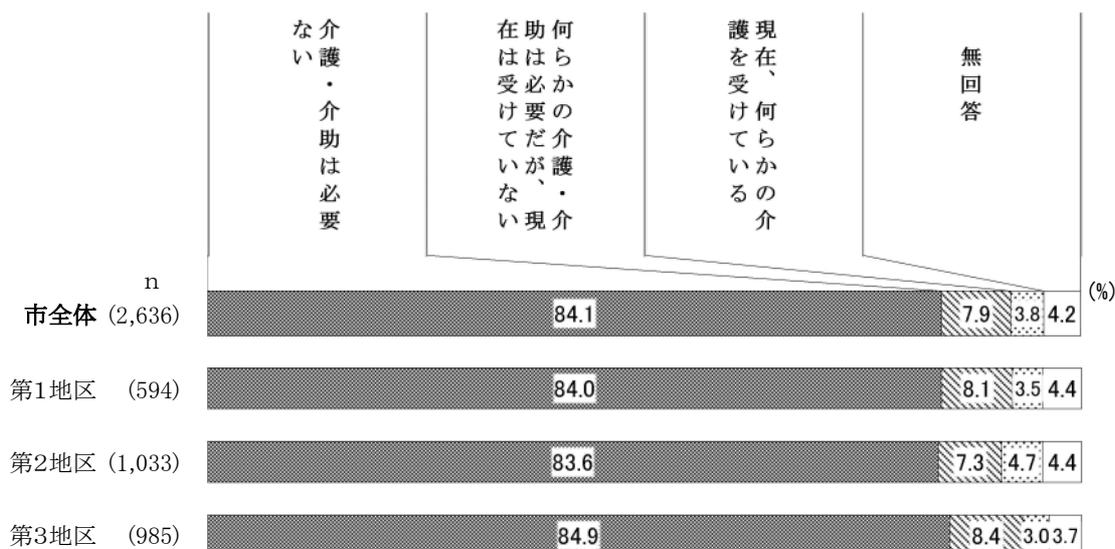


家族構成は、市全体では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が37.9%と最も多く、「息子・娘との2世帯」が23.4%で続いている。

地区別では、第2地区で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が40.0%と、他の地区を上回っている。「1人暮らし」の割合が高いのは第1地区で20.9%、約5人に1人が「1人暮らし」と答えている。

(2) 介護・介助の必要性

問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



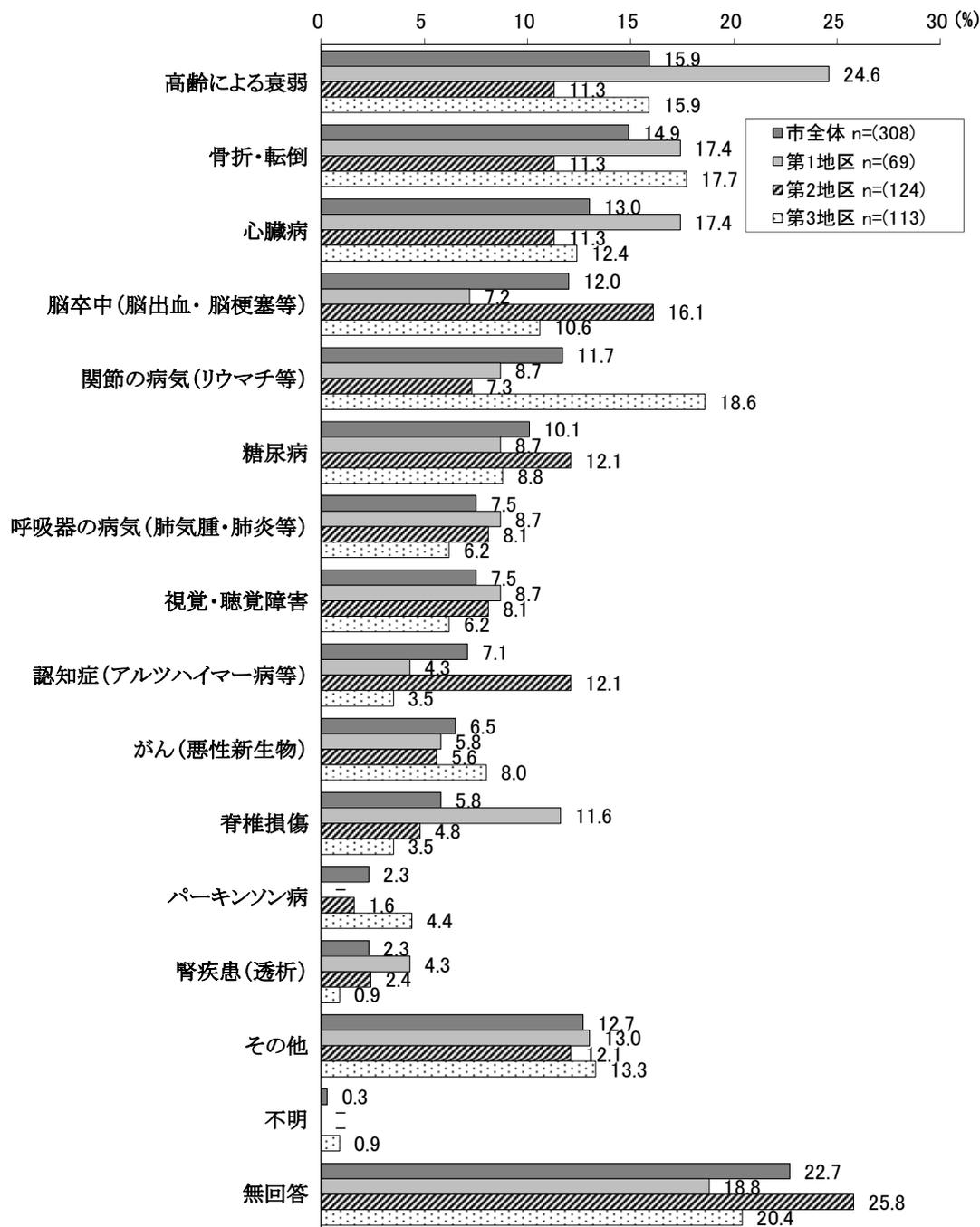
介護・介助の必要性は、市全体では「介護・介助は必要ない」が84.1%である。

地区別では、「現在、何らかの介護を受けている」は第1地区が3.5%、第2地区が4.7%、第3地区が3.0%となっている。

(2-1) 介護・介助が必要になった主な原因

【問1(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

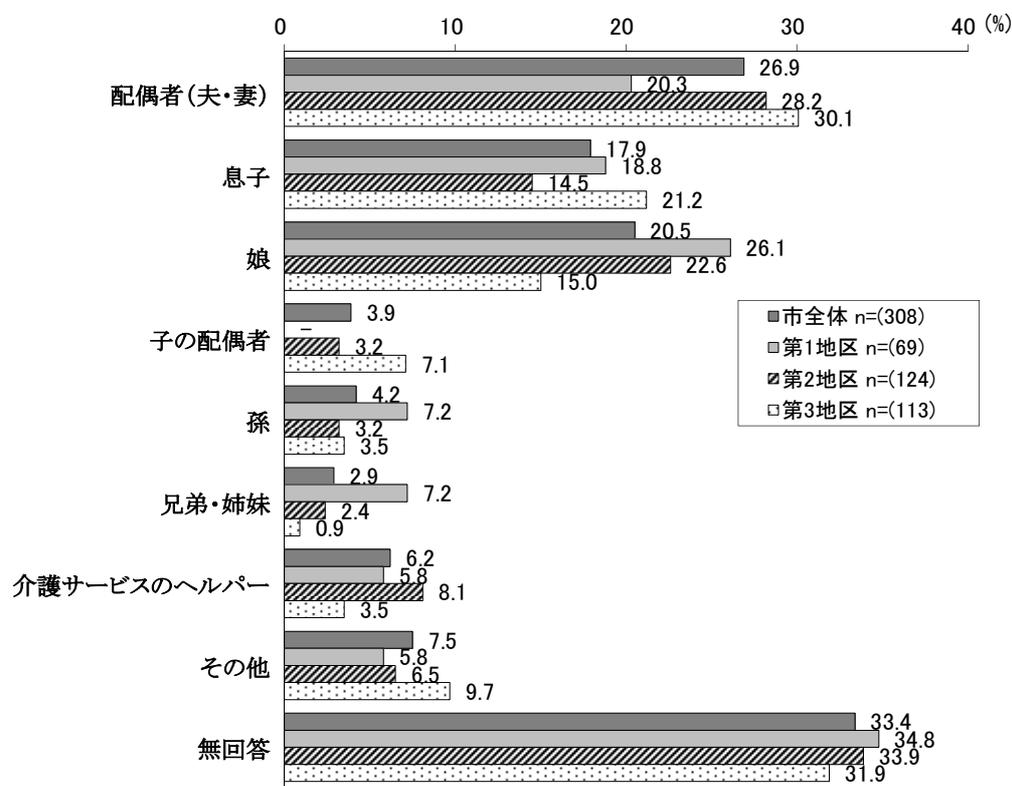


介護・介助が必要になった主な原因は、市全体では「高齢による衰弱」が15.9%で最も多い。地区別では、第1地区は「高齢による衰弱」(24.6%)、第2地区は「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(16.1%)、第3地区は「関節の病気(リウマチ等)」(18.6%)がそれぞれ最も多い。

(2-2) 主な介護者・介助者

【問1(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

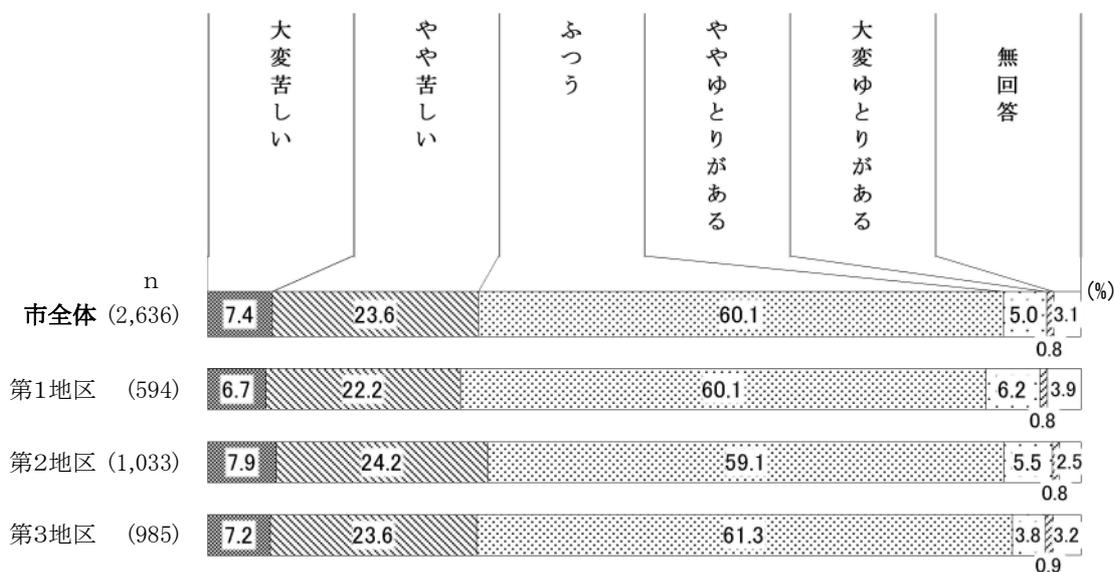


主な介護者・介助者は、市全体では「配偶者(夫・妻)」が26.9%で最も多い。

地区別では、第1地区は「娘」が26.1%、第2地区と第3地区は「配偶者(夫・妻)」がそれぞれ28.2%、30.1%で最も多い。

(3) 経済の状況

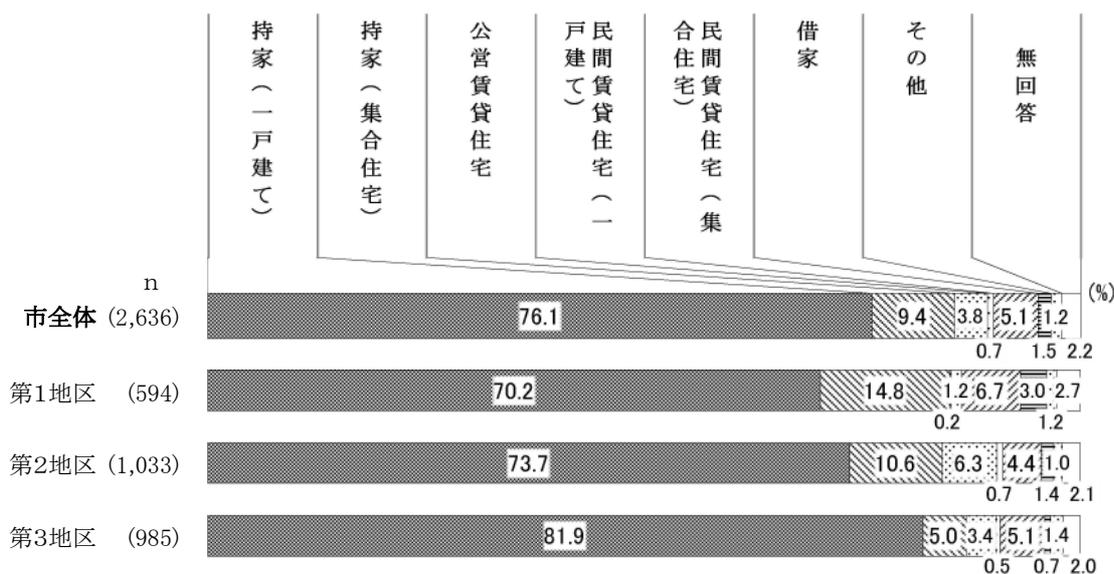
問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



経済の状況は、市全体では「ふつう」が60.1%である。
 地区別では、「ふつう」は第1地区が60.1%、第2地区が59.1%、第3地区が61.3%となっている。

(4) 住居形態

問1 (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

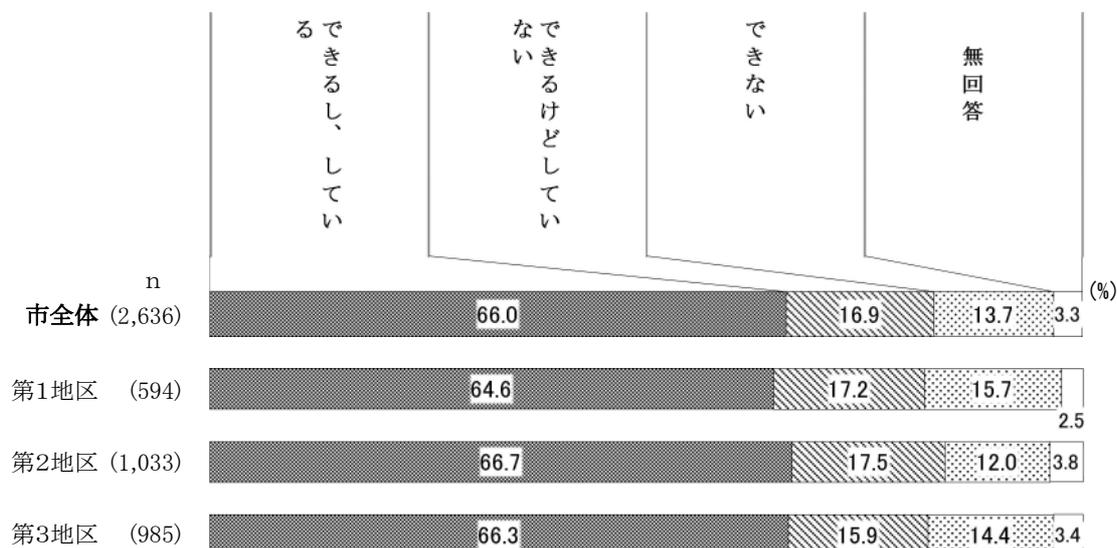


住居形態は、市全体では「持家（一戸建て）」が76.1%で最も多い。
 地区別では、各地区ともに「持家（一戸建て）」が最も多く、7割を超えている。特に第3地区は81.9%で「持家（一戸建て）」の割合が最も多い。

2. からだを動かすことについて

(1) 階段の昇り方

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

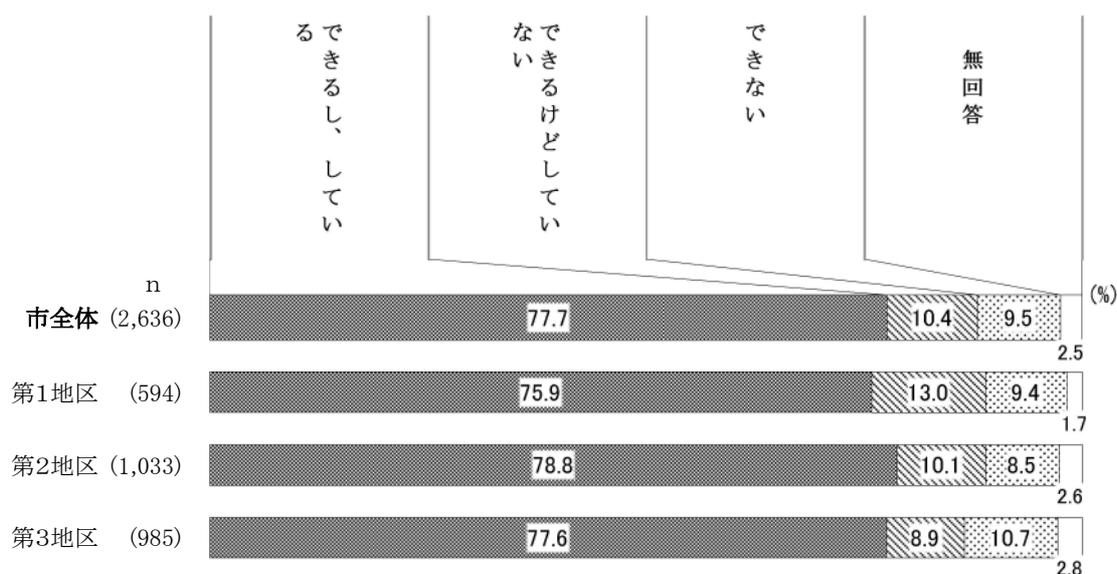


階段の昇り方については、市全体では手すりや壁を伝わずに階段を上ることが「できるし、している」人が66.0%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(2) 椅子からの立ち上がり方

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

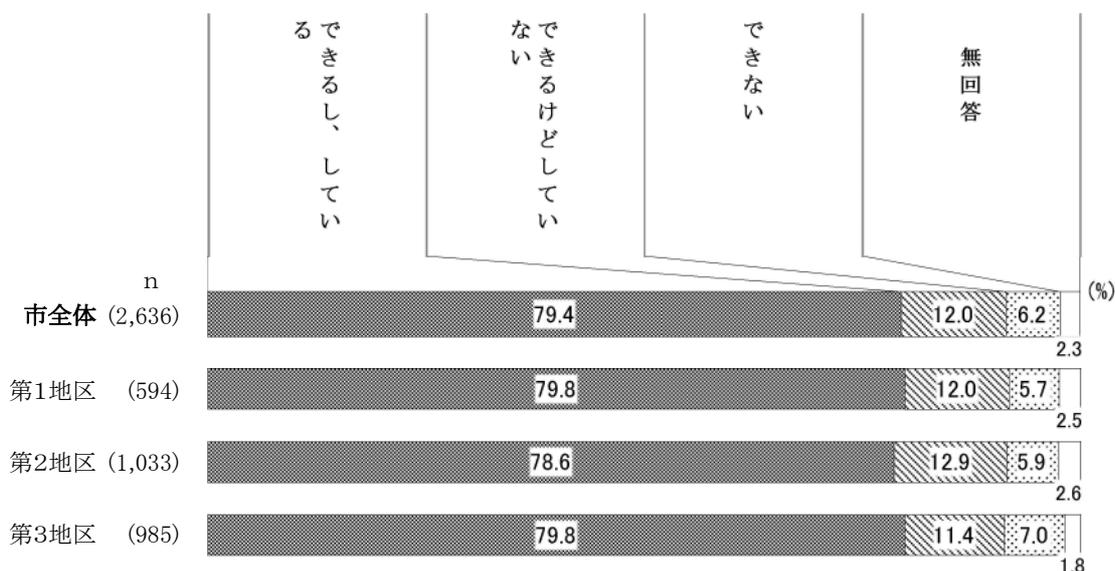


椅子からの立ち上がり方は、市全体では椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることが「できるし、している」人が77.7%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(3) 歩ける時間

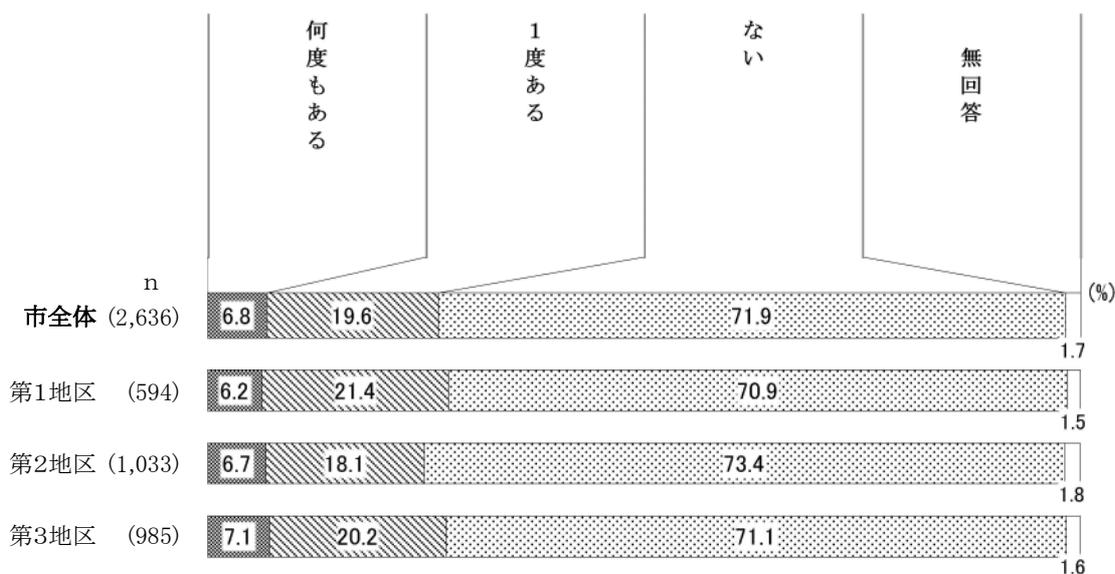
問2 (3) 15分位続けて歩いていますか



歩ける時間は、市全体では15分位続けて歩くことが「できるし、している」人が79.4%である。地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(4) 転倒の有無

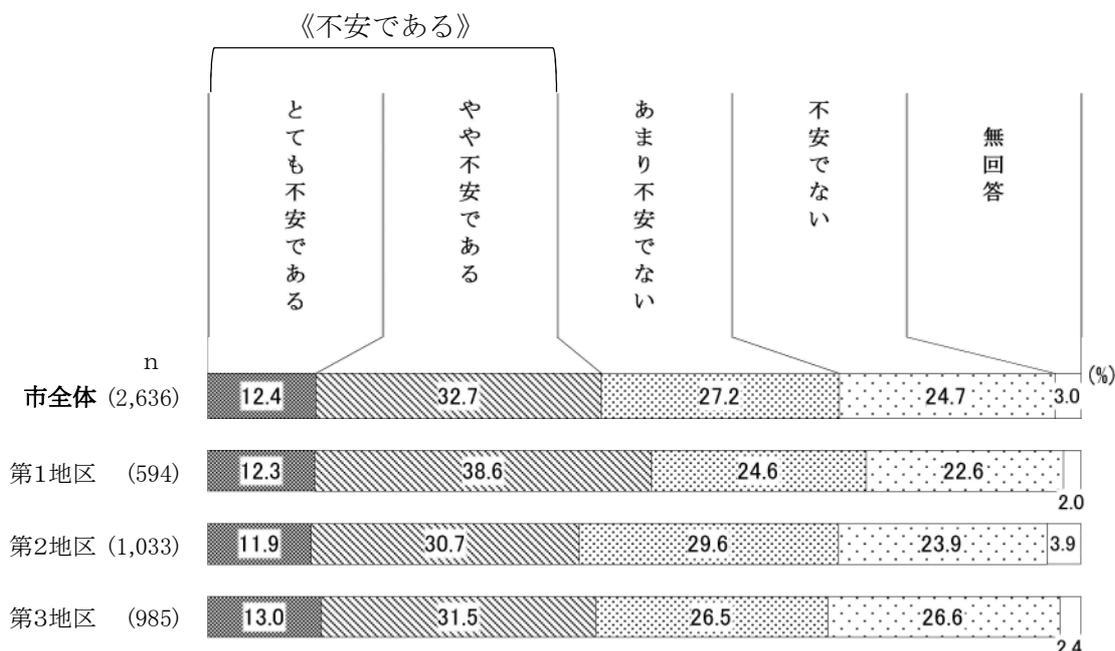
問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか



転倒の有無は、市全体では過去1年間に転んだ経験が「1度ある」人が19.6%である。地区別では、過去1年間に転んだ経験が「1度ある」人は、第1地区が21.4%、第2地区が18.1%、第3地区が20.2%となっている。

(5) 転倒に対する不安

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか

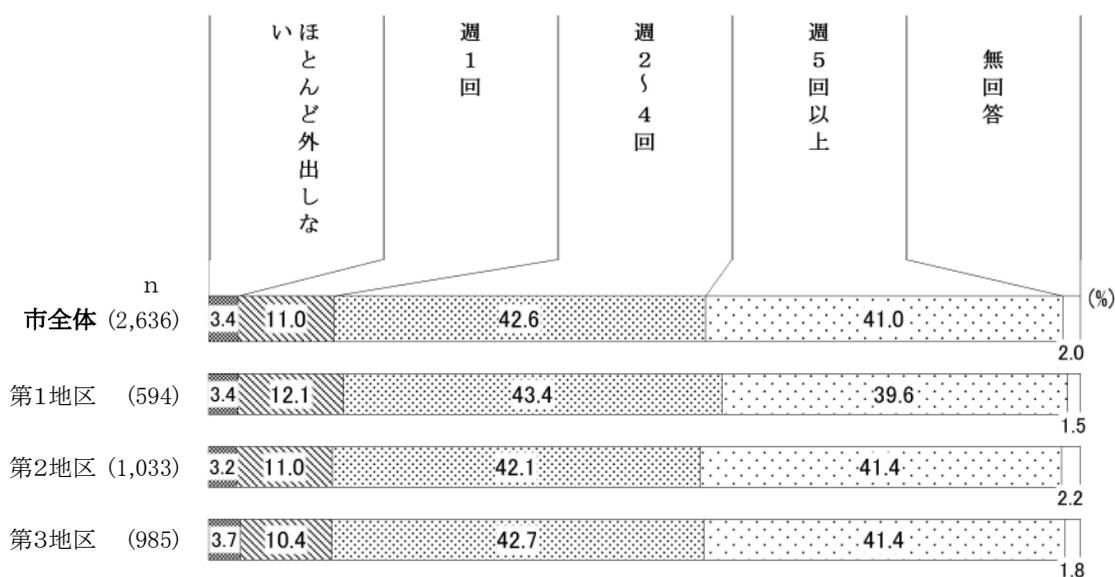


転倒に対する不安は、市全体では「とても不安である」「やや不安である」を合わせた《不安である》人が45.1%である。

地区別では、《不安である》人は、第1地区が50.9%、第2地区では42.6%、第3地区では44.5%となっている。

(6) 外出の回数

問2 (6) 週に1回以上は外出していますか

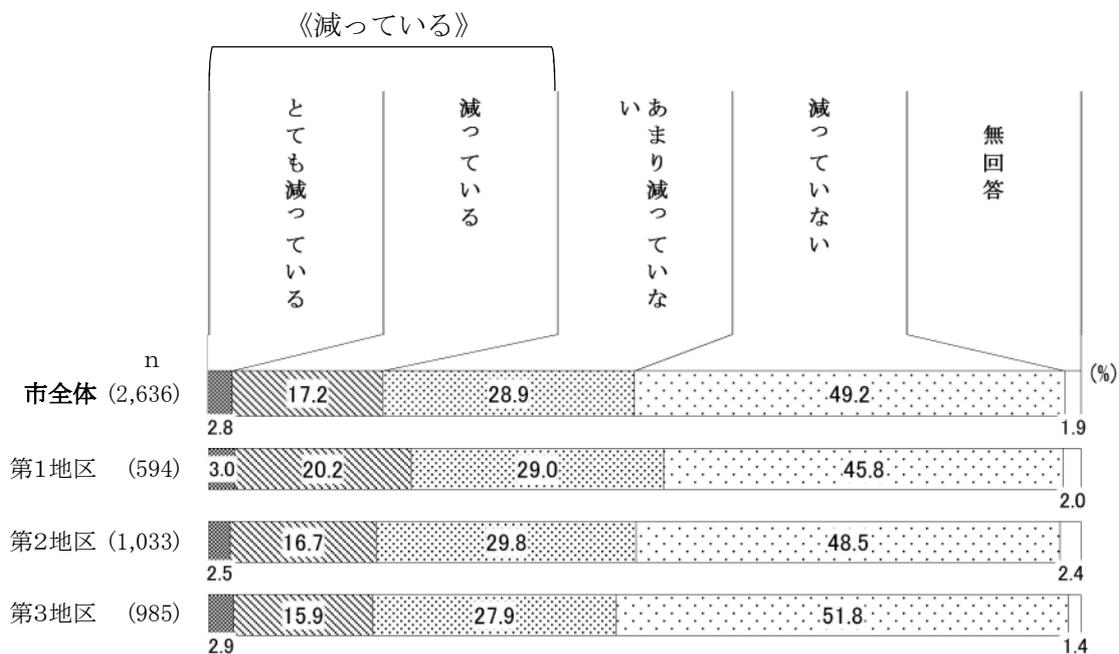


外出の回数は、市全体では「週2〜4回」外出している人が42.6%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(7) 昨年と比べて外出の回数

問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

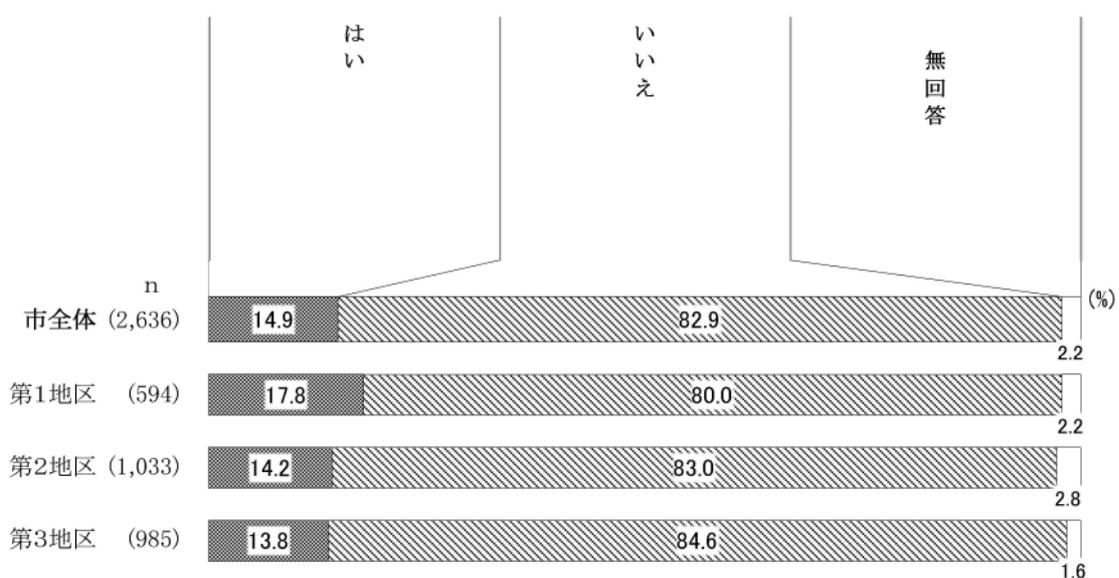


昨年と比べて外出の回数は、市全体では「とても減っている」「減っている」を合わせた《減っている》人が20.0%である。

地区別では、《減っている》人は、第1地区が23.2%、第2地区では19.2%、第3地区では18.8%となっている。

(8) 外出を控えているか

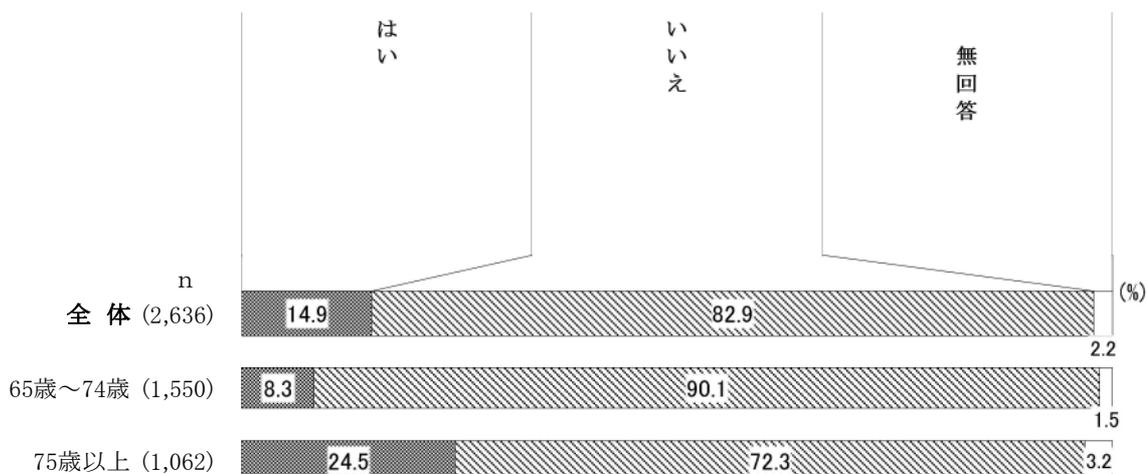
問2 (8) 外出を控えていますか



外出を控えている人は、市全体では14.9%である。

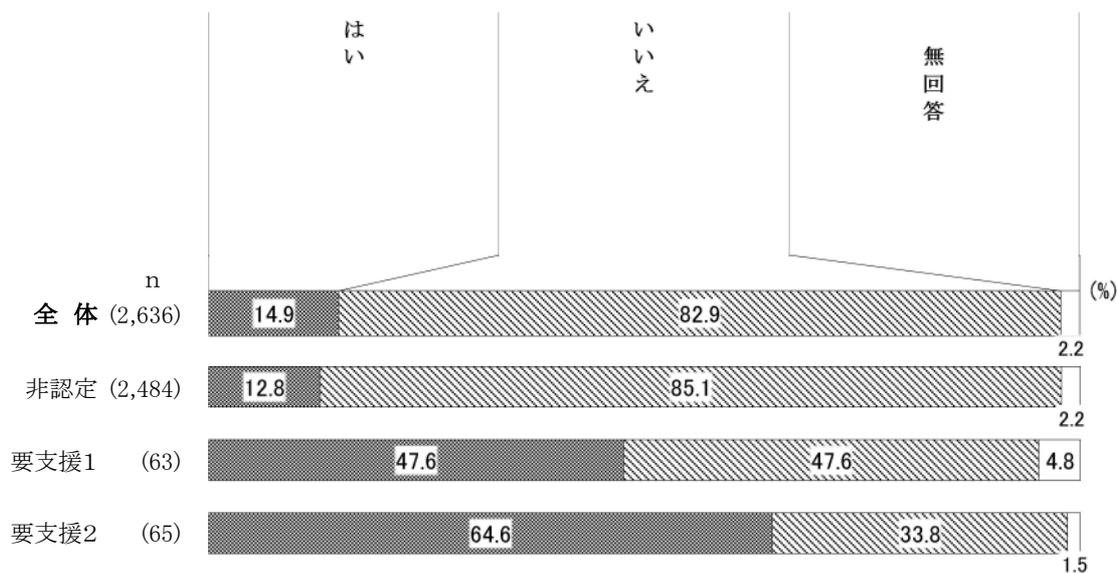
地区別では、外出を控えている人は、第1地区が20.2%、第2地区では16.7%、第3地区では15.9%となっている。

○年齢別



年齢別では、外出を控えている人は65歳～74歳では8.3%であるのに対し、75歳以上では24.5%となっている。

○介護認定別

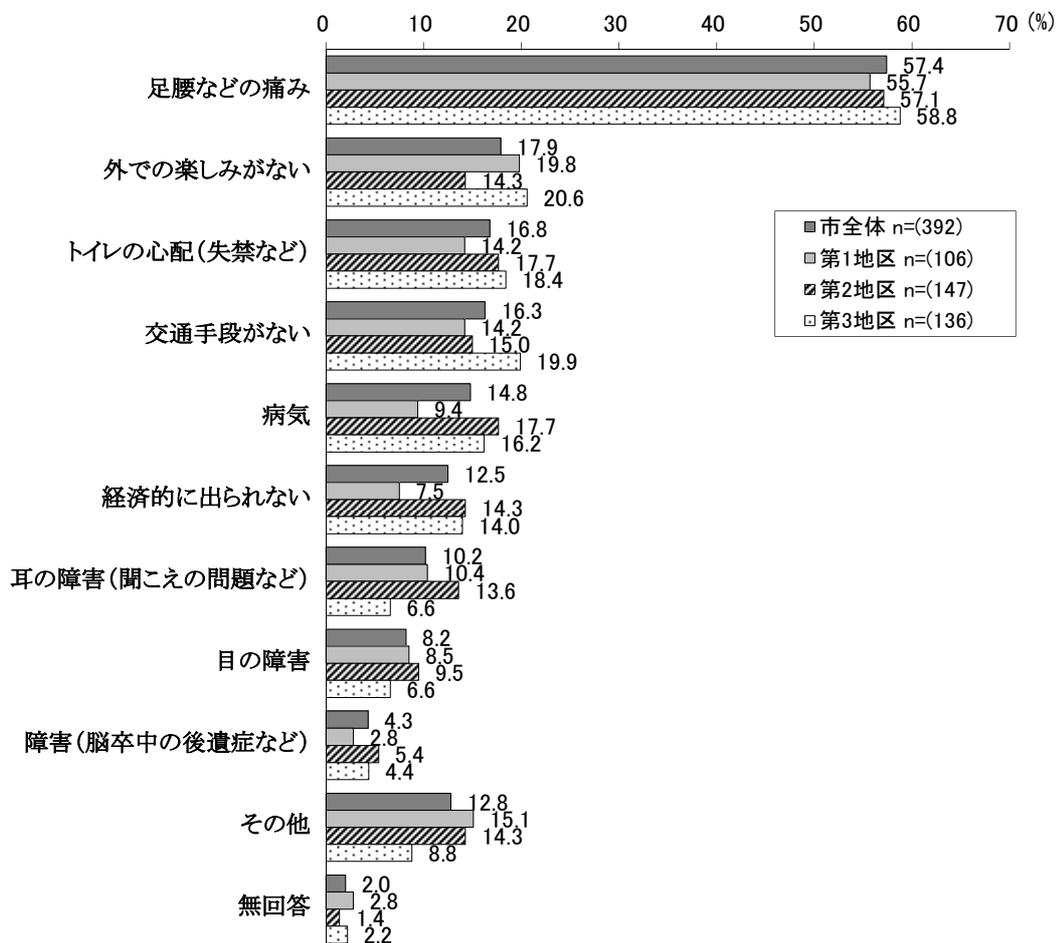


介護認定別では、外出を控えている人は非認定では12.8%であるのに対し、要支援1では47.6%、要支援2では64.6%となっている。

(8-1) 外出を控えている理由

【問2(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

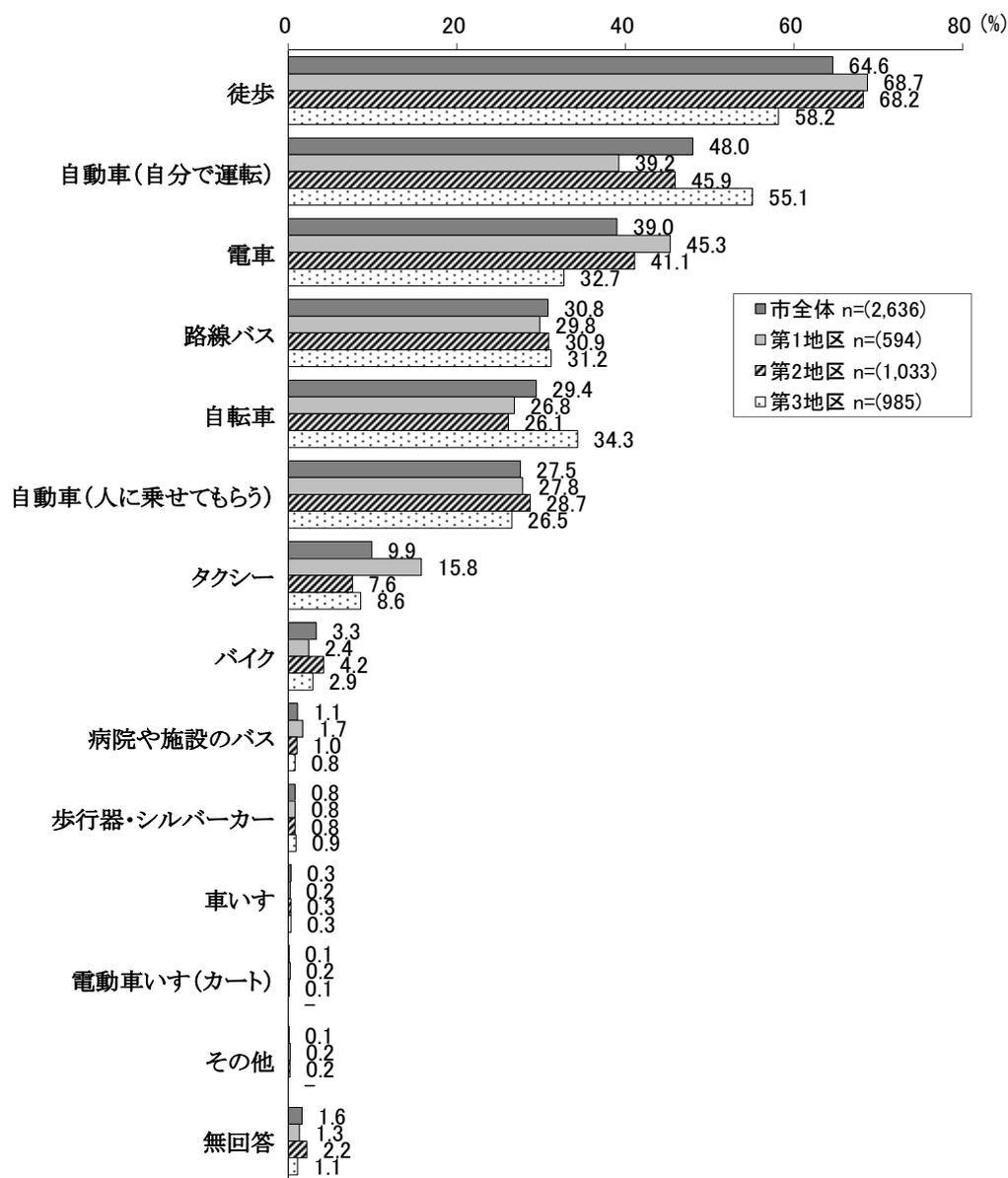
①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)



外出を控えている理由は、市全体では「足腰などの痛み」が57.4%で最も多い。
 地区別では、どの地区も「足腰などの痛み」が最も多い。

(9) 外出時の移動手段

問2 (9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

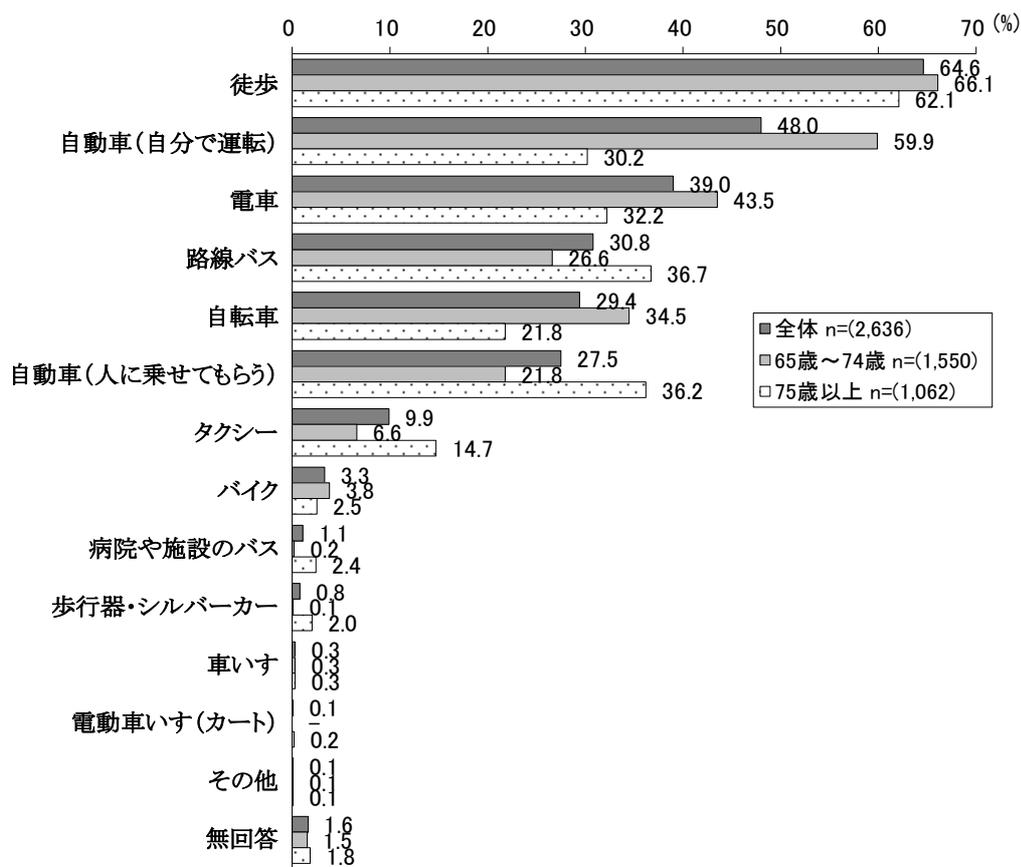


外出時の移動手段は、市全体では「徒歩」が64.6%で最も多い。

地区別では、どの地区も「徒歩」が最も多い。また、「自動車(自分で運転)」は第3地区で55.1%と多くなっている。

第2章 調査結果の詳細

○年齢別



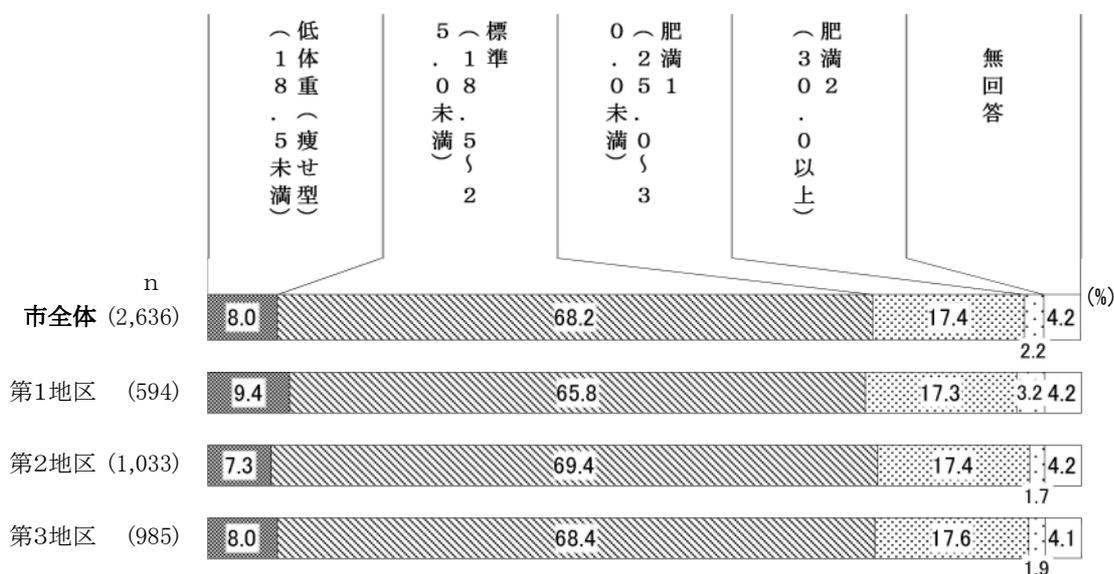
年齢別では、「自動車（自分で運転）」、「電車」、「自転車」は65歳～74歳のほうが多くなっている。「路線バス」、「自動車（人に乗せてもらう）」、「タクシー」は75歳以上のほうが多くなっている。

3. 食べることについて

(1) 身長・体重

問3 (1) 身長・体重

○BMI

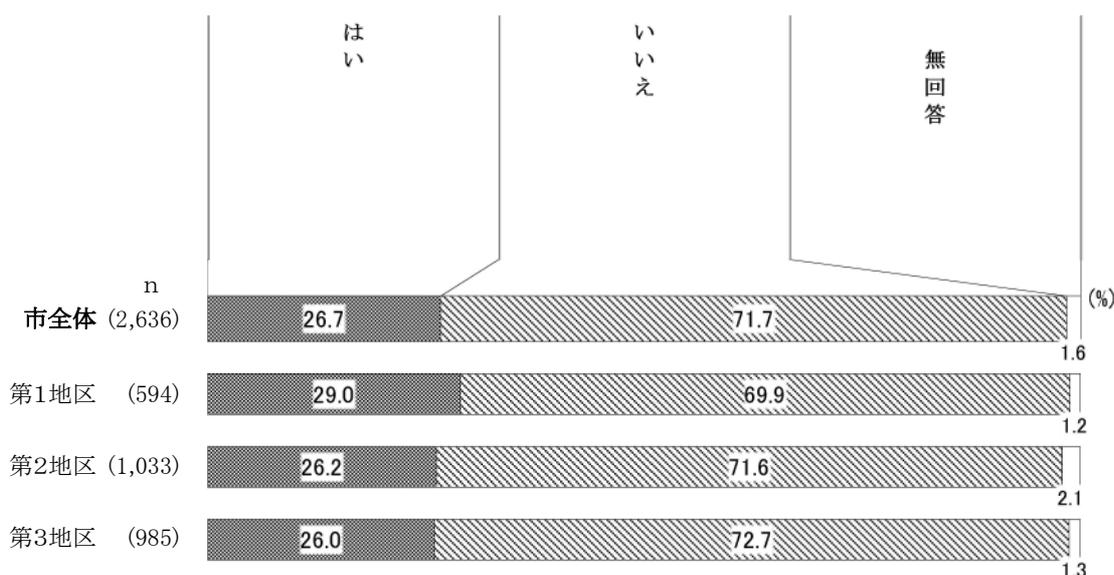


身長と体重の関係からBMI指数を算出した。市民の肥満の割合をみると、市全体では、18.5未満の「痩せ型」が8.0%、18.5～25.0未満の「標準」が68.2%、25.0～30.0未満の「肥満1」が17.4%、30.0以上の肥満2が2.2%だった。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(2) 固いものの食べにくさ

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

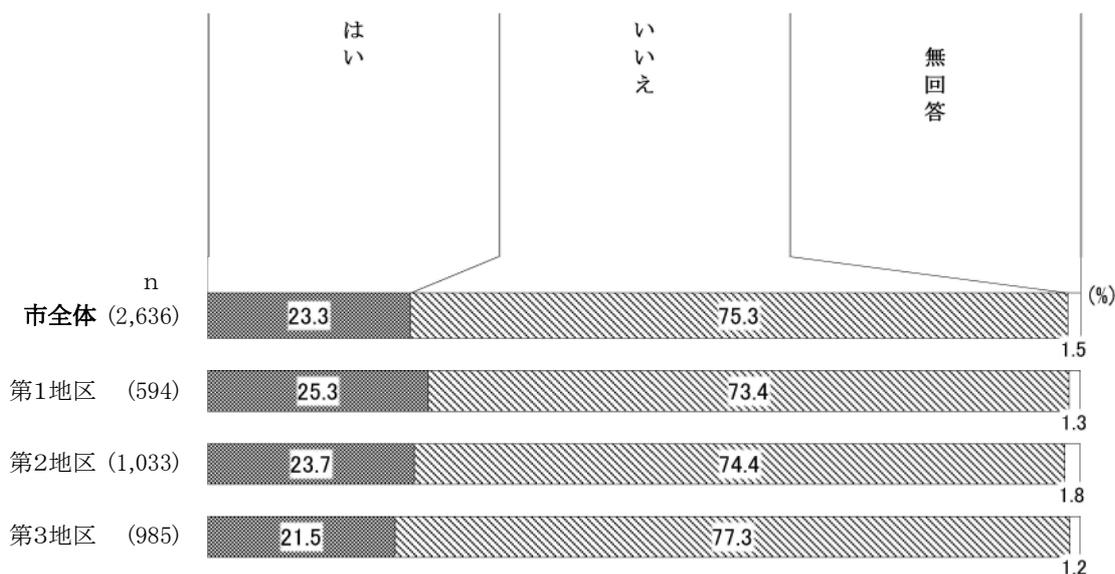


固いものの食べにくさは、市全体では固いものが食べにくくなった人が26.7%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(3) お茶などでむせるか

問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか

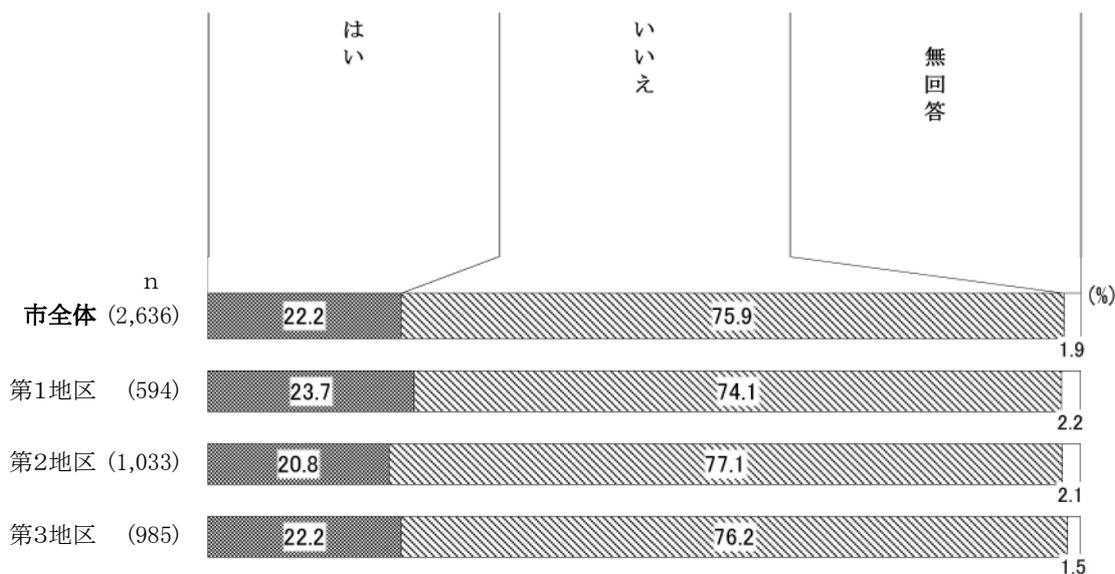


お茶などでむせるかは、市全体ではお茶や汁物等でむせることがある人が23.3%である。

地区別では、お茶や汁物等でむせることがある人は、第1地区が25.3%、第2地区が23.7%、第3地区が21.5%となっている。

(4) 口の渇き

問3 (4) 口の渇きが気になりますか

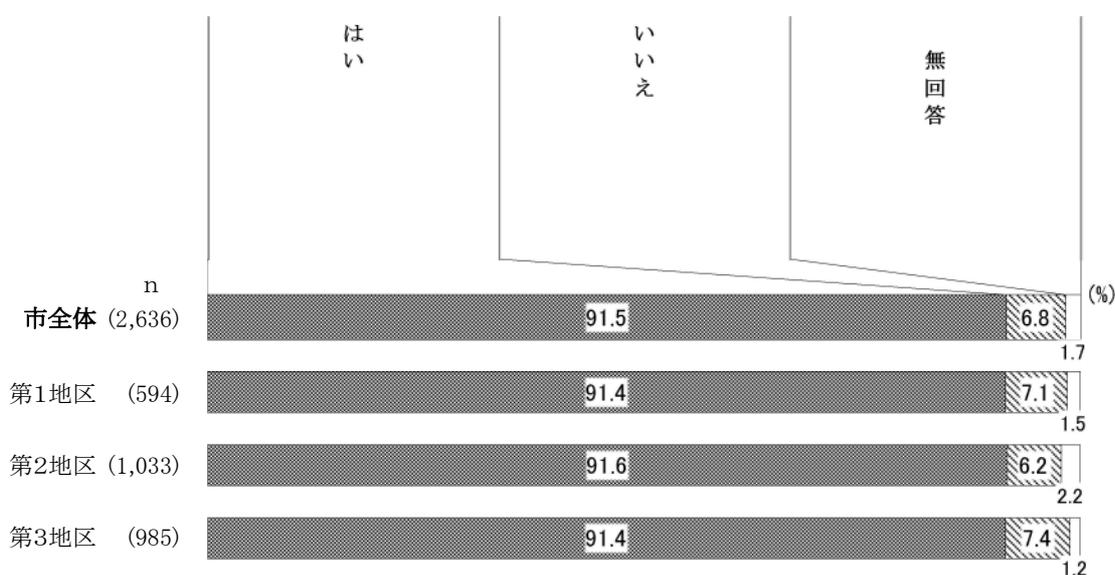


口の渇きは、市全体では口の渇きが気になる人が22.2%である。

地区別では、口の渇きが気になる人は、第1地区が23.7%、第2地区が20.8%、第3地区が22.2%となっている。

(5) 歯磨き

問3 (5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか

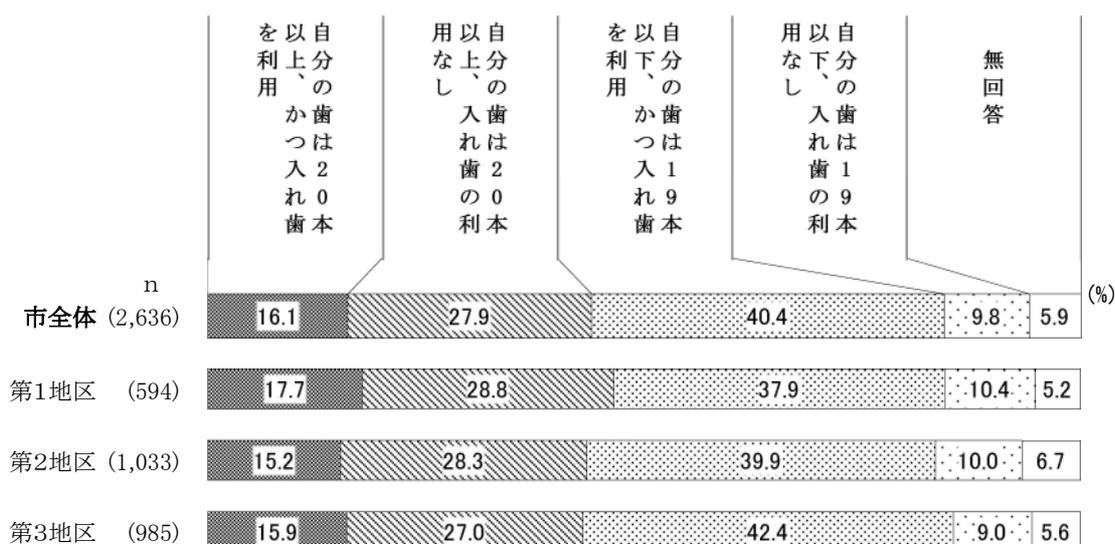


歯磨きは、市全体では毎日している人が91.5%である。

地区別では、毎日している人は、第1地区が91.4%、第2地区が91.6%、第3地区が91.4%となっている。全ての地区で9割を超えている。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

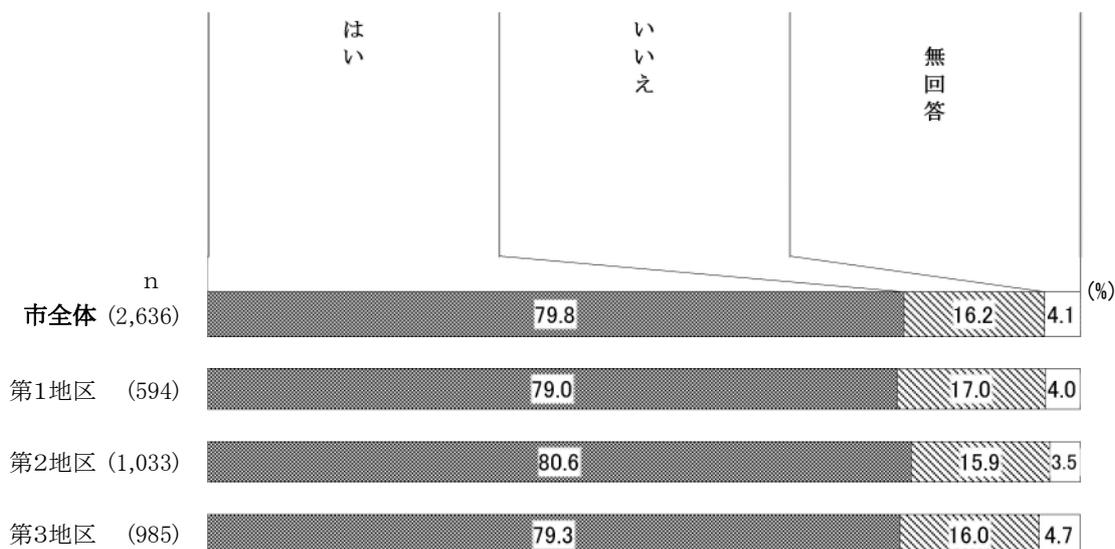


歯の数と入れ歯の利用状況は、市全体では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」している人が40.4%である。

地区別では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を使用している人」は、第1地区が37.9%、第2地区が39.9%、第3地区が42.4%となっている。

(6-1) 噛み合わせ

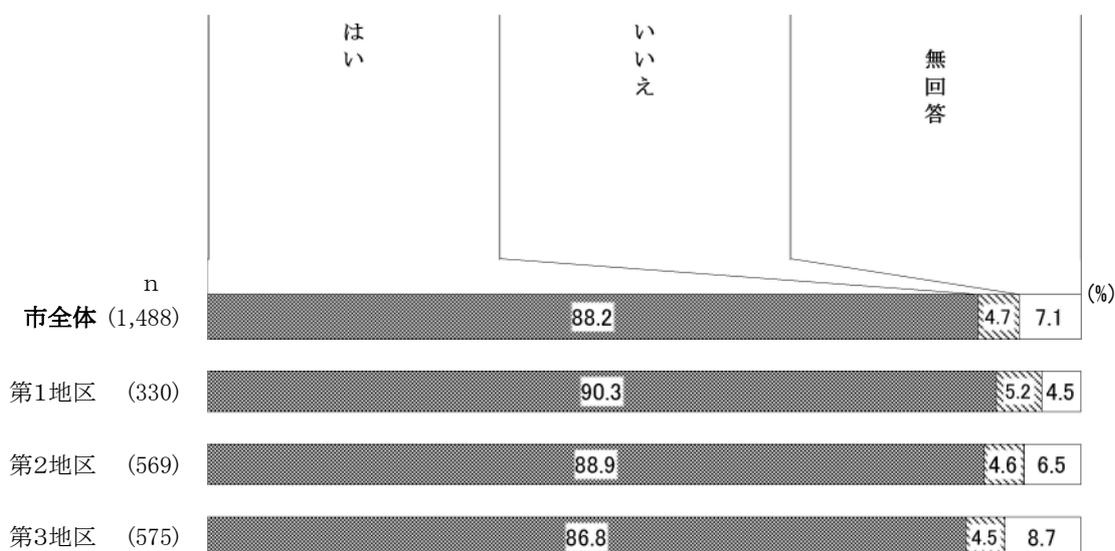
問3 (6-1) ① 噛み合わせは良いですか



噛み合わせは、市全体では噛み合わせが良い人が79.8%である。
 地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(6-2) 入れ歯の手入れ

問3 (6-1) ② 【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか

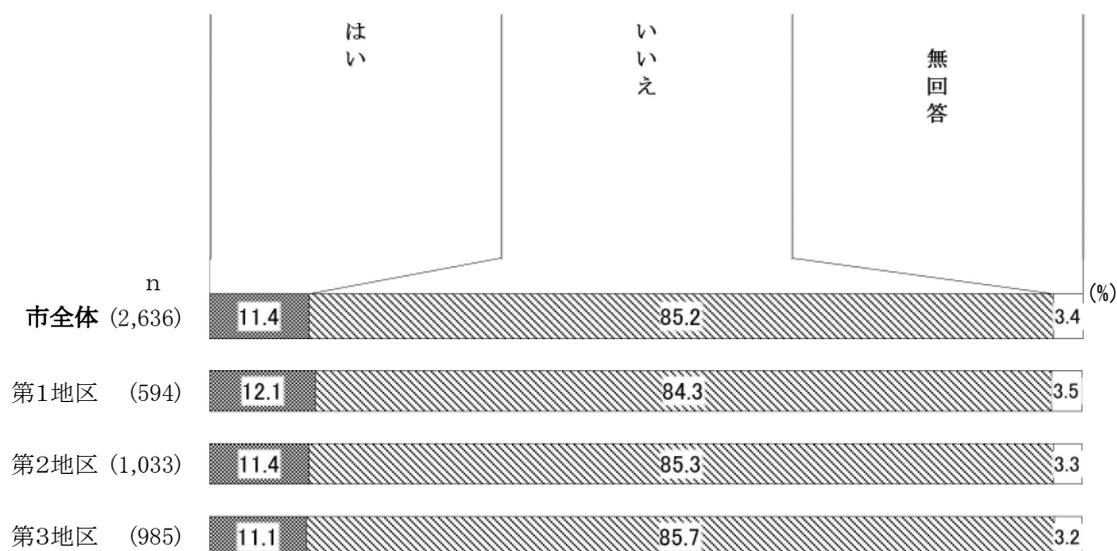


入れ歯の手入れの状況は、市全体では入れ歯をしている人のうち、毎日入れ歯の手入れをしている人は88.2%である。

地区別では、毎日入れ歯の手入れをしている人は、第1地区では90.3%、第2地区では88.9%、第3地区では86.8%となっている。

(7) 体重減少

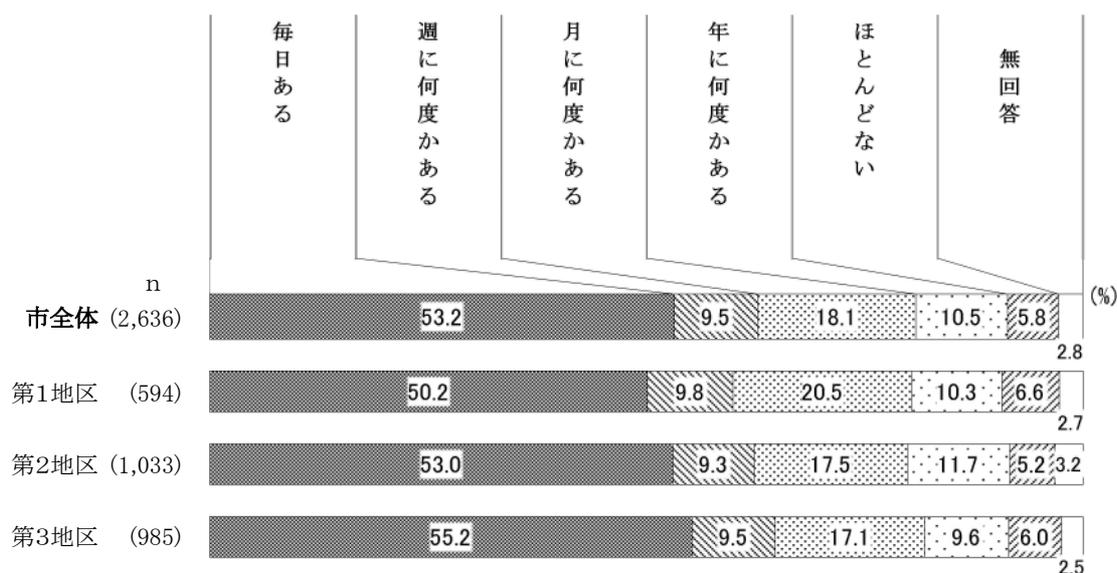
問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか



体重減少については、市全体では6か月間で2～3kg以上の体重減少があった人は11.4%である。地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(8) 共食の機会

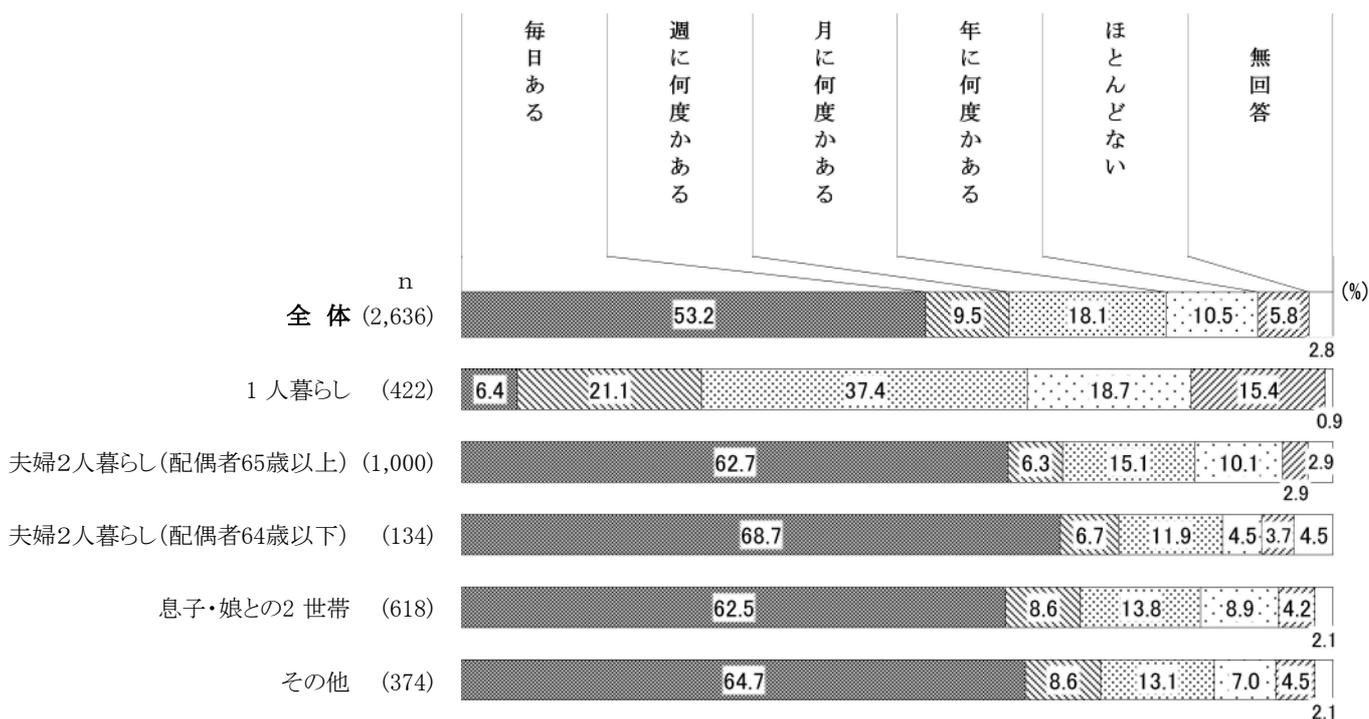
問3 (8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか



共食の機会は、市全体ではどなたかと食事をとにもする機会が「毎日ある」人が53.2%である。地区別では、「毎日ある」は、第1地区が50.2%、第2地区が53.0%、第3地区が55.2%となっている。

第2章 調査結果の詳細

○家族構成別

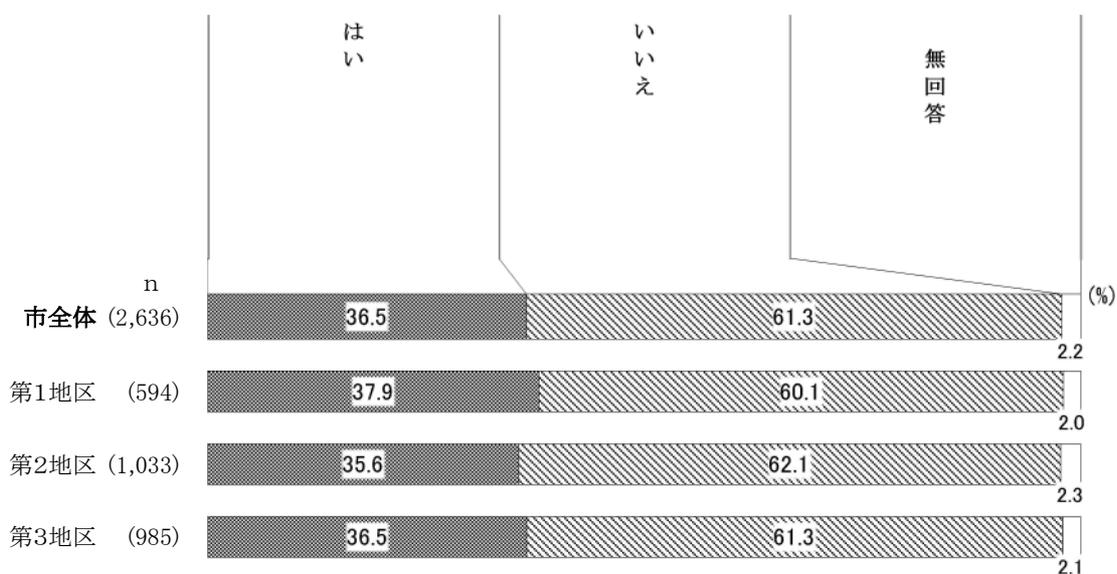


家族構成別では、1人暮らしでは共食の機会は他と比べて少なくなっている。

4. 毎日の生活について

(1) 物忘れ

問4 (1) 物忘れが多いと感じますか

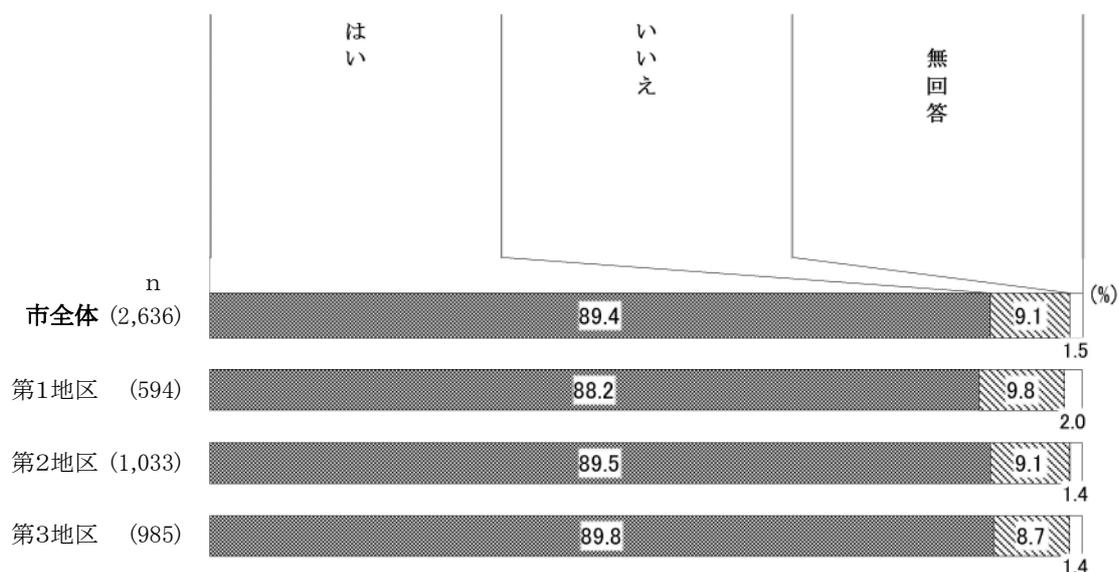


物忘れについては、市全体では物忘れが多いと感じる人が36.5%である。

地区別では、物忘れが多いと感じる人は、第1地区が37.9%、第2地区が35.6%、第3地区が36.5%となっている。

(2) 電話の利用の可否

問4 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

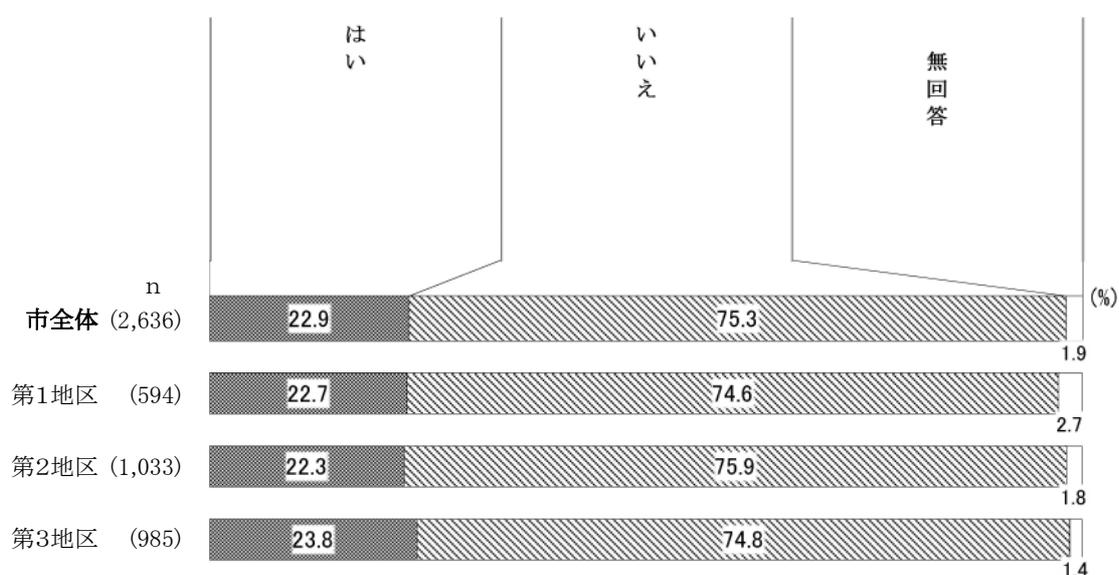


電話の利用の可否は、市全体では自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている人が89.4%である。

地区別では、自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている人は、第1地区が88.2%、第2地区が89.5%、第3地区が89.8%となっている。

(3) 日にちの理解

問4 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

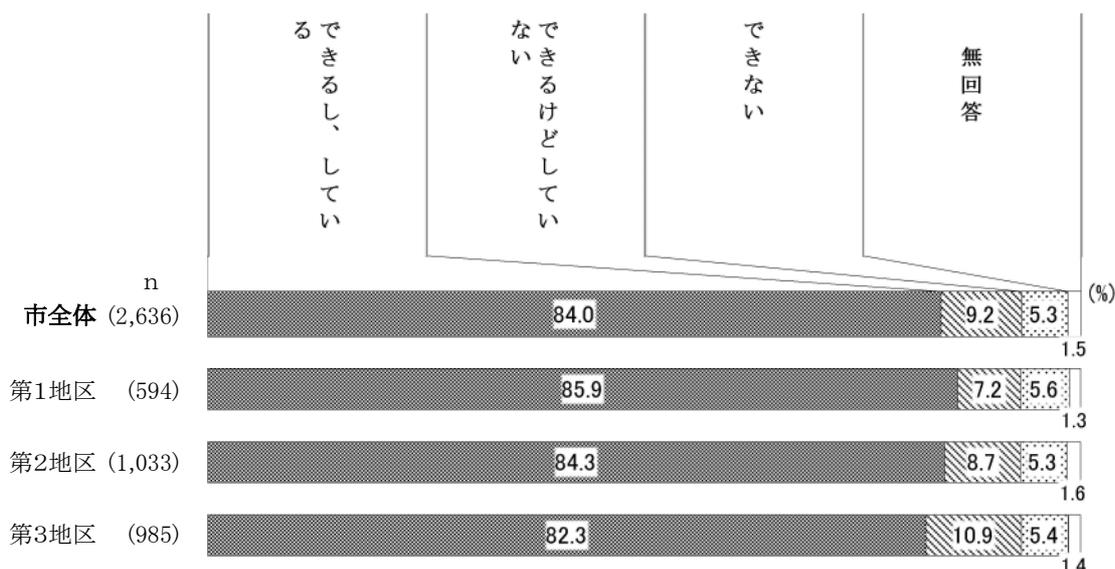


日にちの理解は、市全体では今日が何月何日かわからない時がある人が22.9%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(4) 1人での外出

問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)

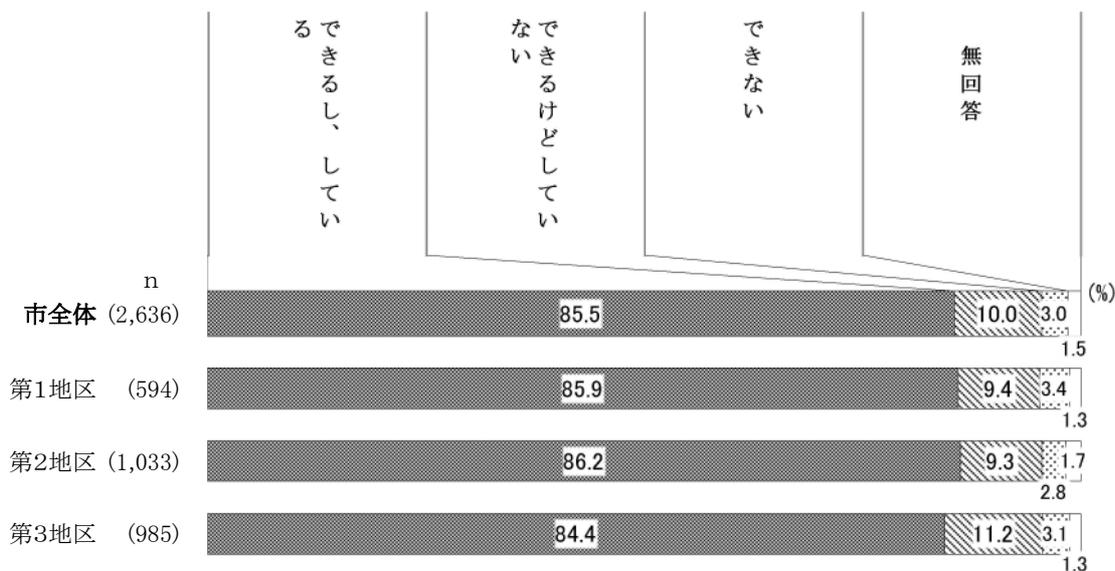


1人での外出は、市全体ではバスや電車を使って1人で外出することが「できるし、している」人が84.0%である。

地区別では、バスや電車を使って1人で外出することが「できるし、している」人は、第1地区が85.9%、第2地区が84.3%、第3地区が82.3%となっている。

(5) 買い物の可否

問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

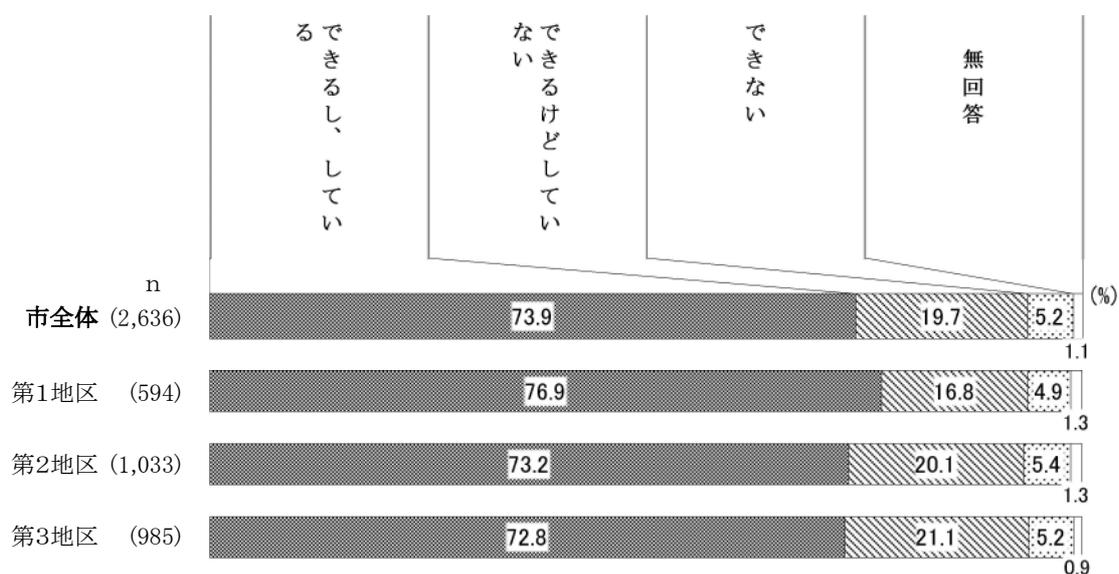


買い物の可否は、市全体では自分で食品・日用品の買物を「できるし、している」人が85.5%である。

地区別では、自分で食品・日用品の買物を「できるし、している」人は、第1地区が85.9%、第2地区が86.2%、第3地区が84.4%となっている。

(6) 食事の用意

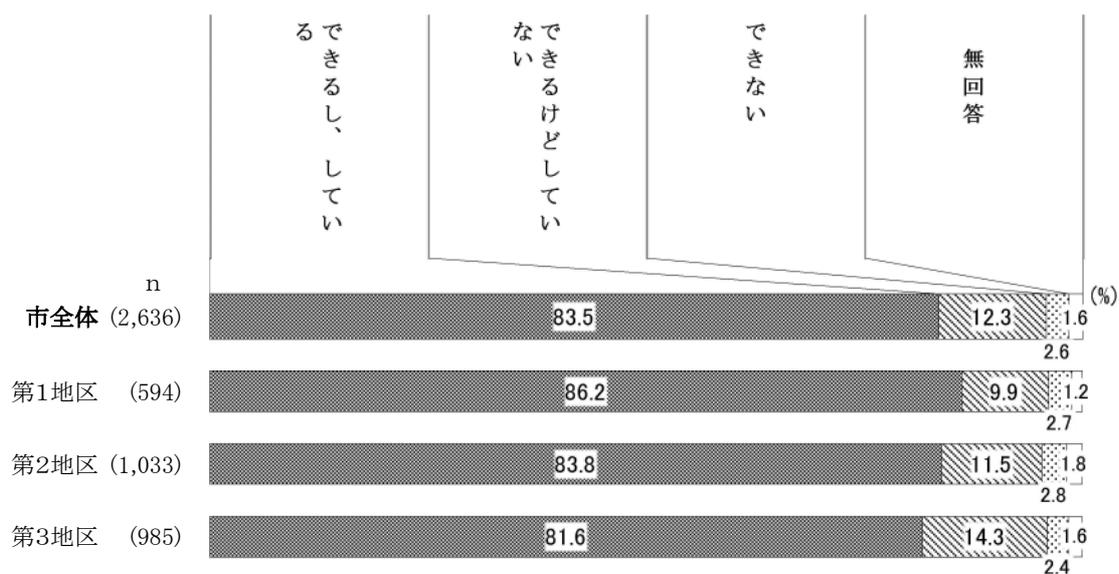
問4 (6) 自分で食事の用意をしていますか



食事の用意は、市全体では自分で食事の用意を「できるし、している」人が73.9%である。地区別では、自分で食事の用意を「できるし、している」人は、第1地区が76.9%、第2地区が73.2%、第3地区が72.8%となっている。

(7) 請求書の支払い

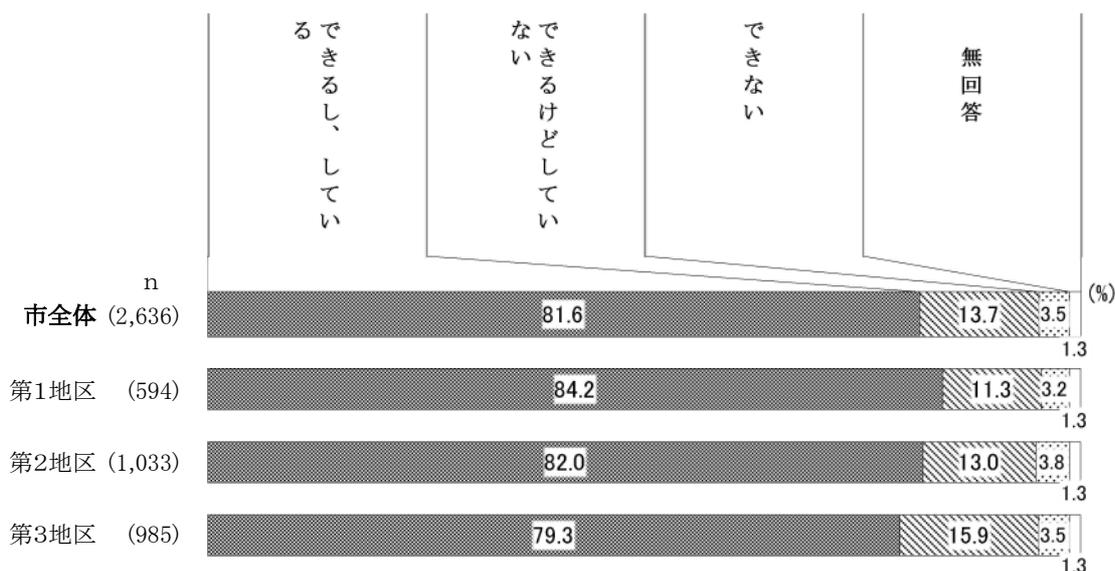
問4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか



請求書の支払いは、市全体では自分で請求書の支払いを「できるし、している」人が83.5%である。地区別では、自分で請求書の支払いを「できるし、している」人は、第1地区が83.8%、第2地区が83.8%、第3地区が81.6%となっている。

(8) 預貯金の出し入れ

問4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

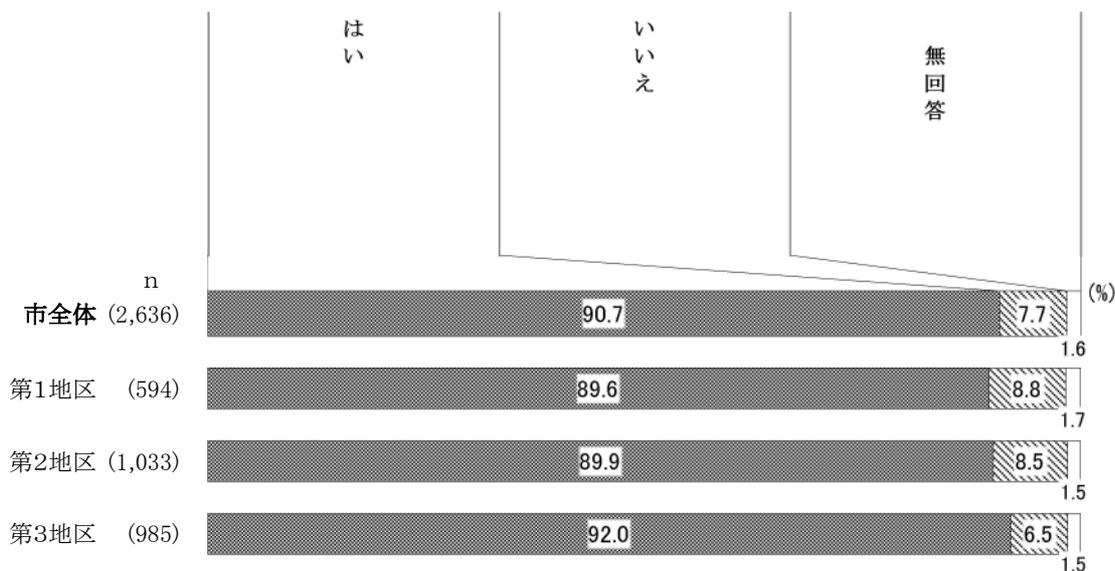


預貯金の出し入れは、市全体では自分で預貯金の出し入れを「できるし、している」人が81.6%である。

地区別では、自分で預貯金の出し入れを「できるし、している」人は、第1地区が84.2%、第2地区82.0%、第3地区が79.3%となっている。

(9) 書類書き

問4 (9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

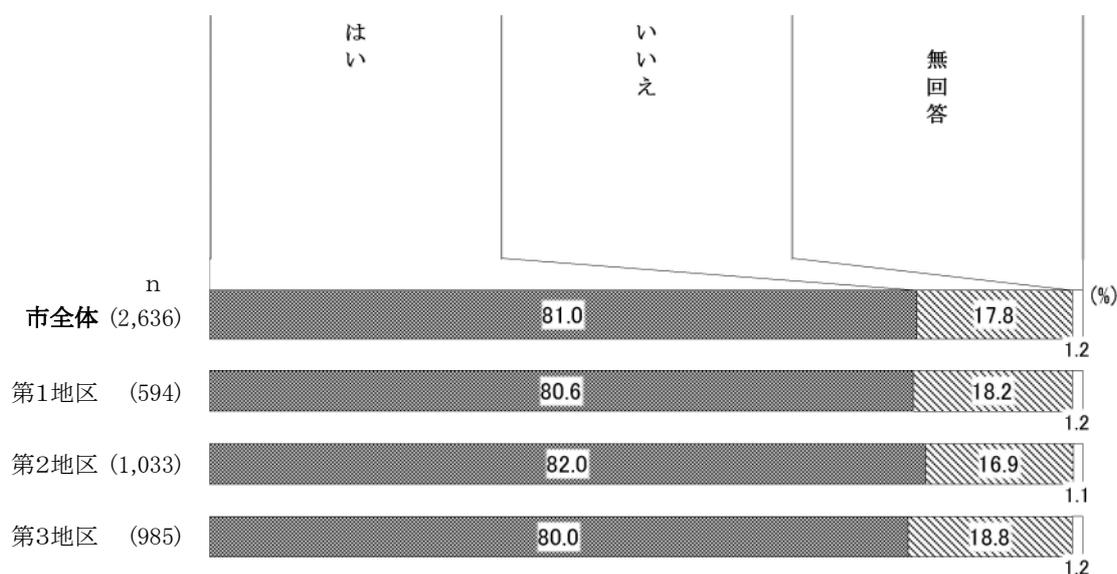


書類書きは、市全体では年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書ける人が90.7%である。

地区別では、年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書ける人は、第1地区が89.6%、第2地区89.9%、第3地区が92.0%となっている。

(10) 新聞

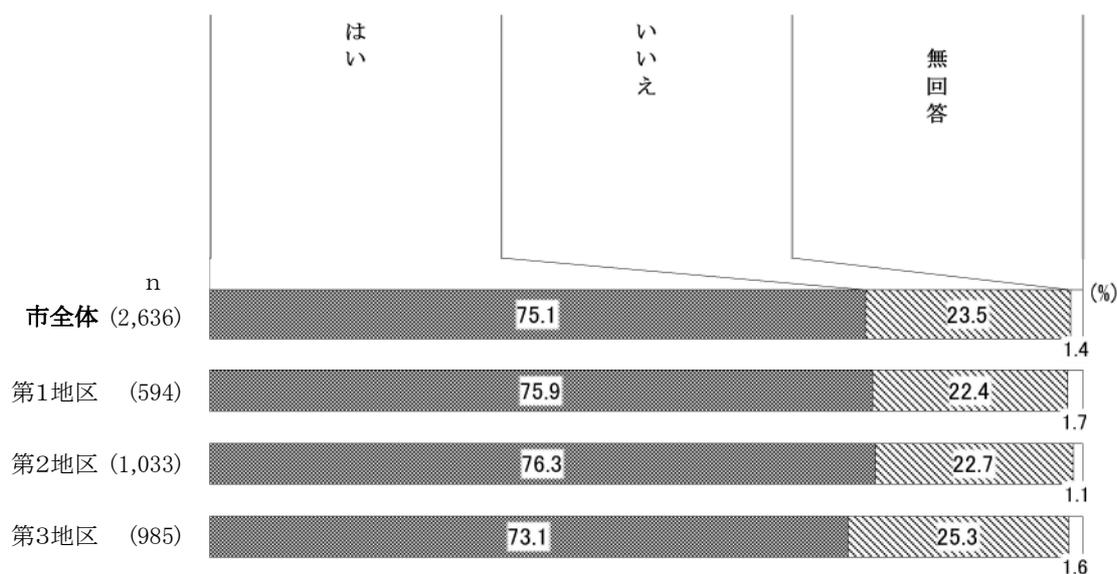
問4 (10) 新聞を読んでいますか



新聞については、市全体では新聞を読んでいる人が81.0%である。
地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(11) 本・雑誌

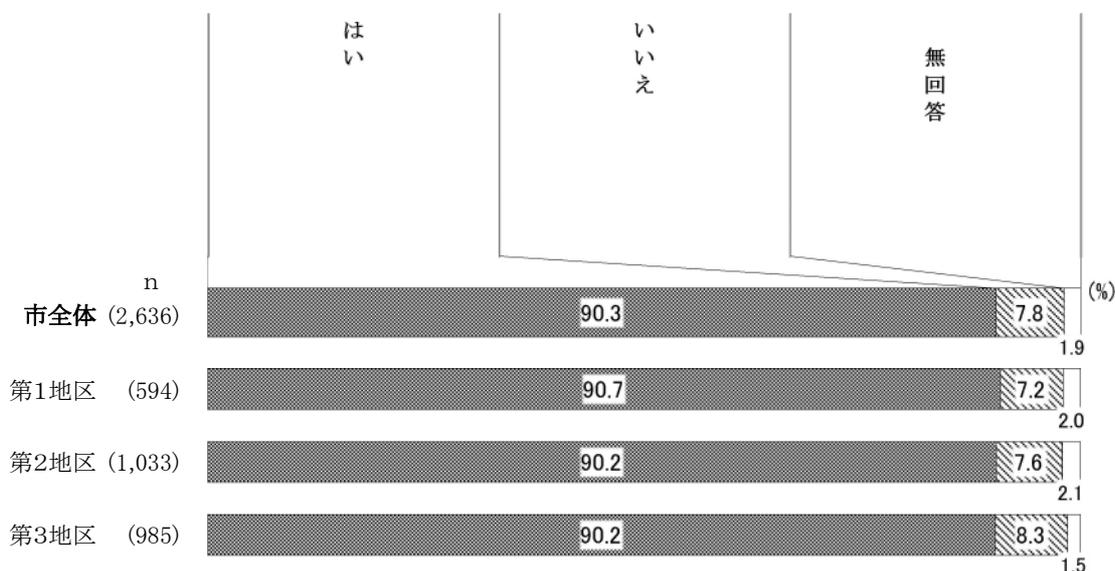
問4 (11) 本や雑誌を読んでいますか



本・雑誌については、市全体では本や雑誌を読んでいる人が75.1%である。
地区別では、本や雑誌を読んでいる人は、第1地区が76.3%、第2地区76.3%、第3地区が73.1%となっている。

(12) 健康についての関心

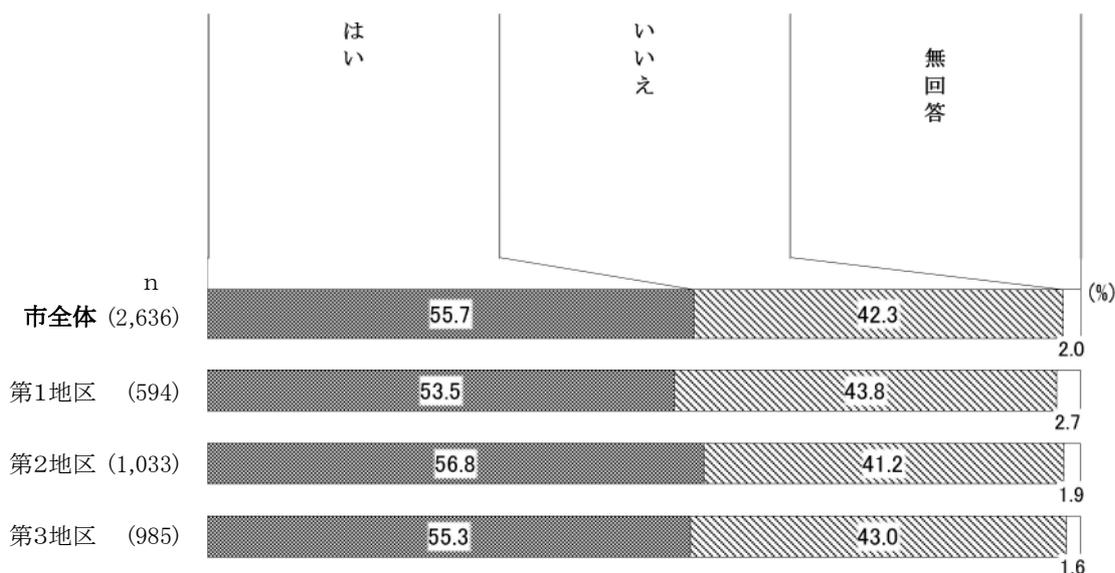
問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか



健康についての関心は、市全体では健康についての記事や番組に関心がある人が90.3%である。地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(13) 訪問

問4 (13) 友人の家を訪ねていますか

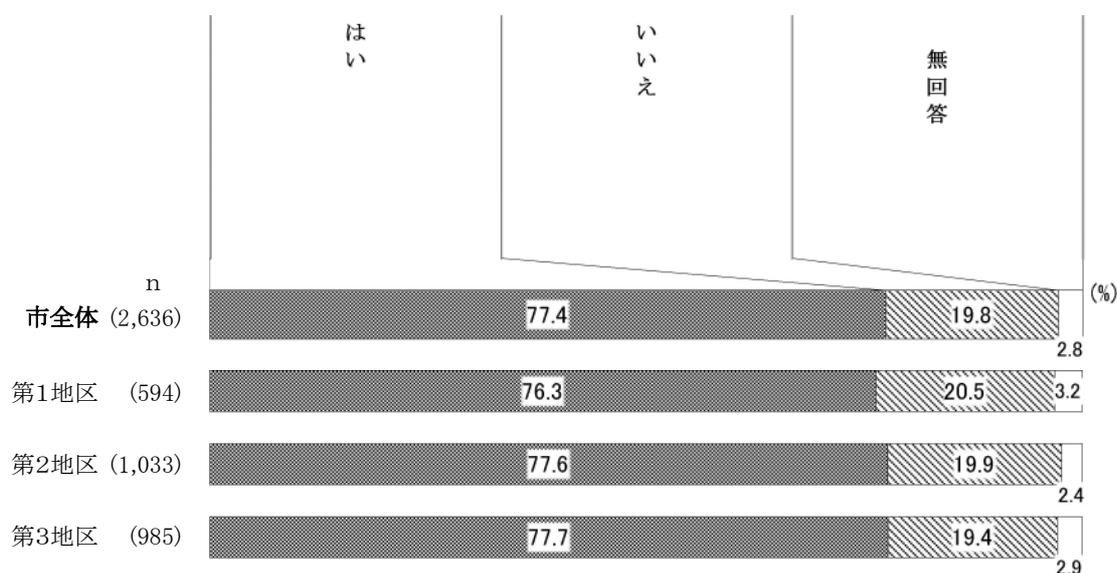


訪問の状況は、市全体では友人の家を訪ねている人が55.7%である。

地区別では、友人の家を訪ねている人は、第1地区が53.5%、第2地区が56.8%、第3地区が55.3%となっている。

(14) 相談

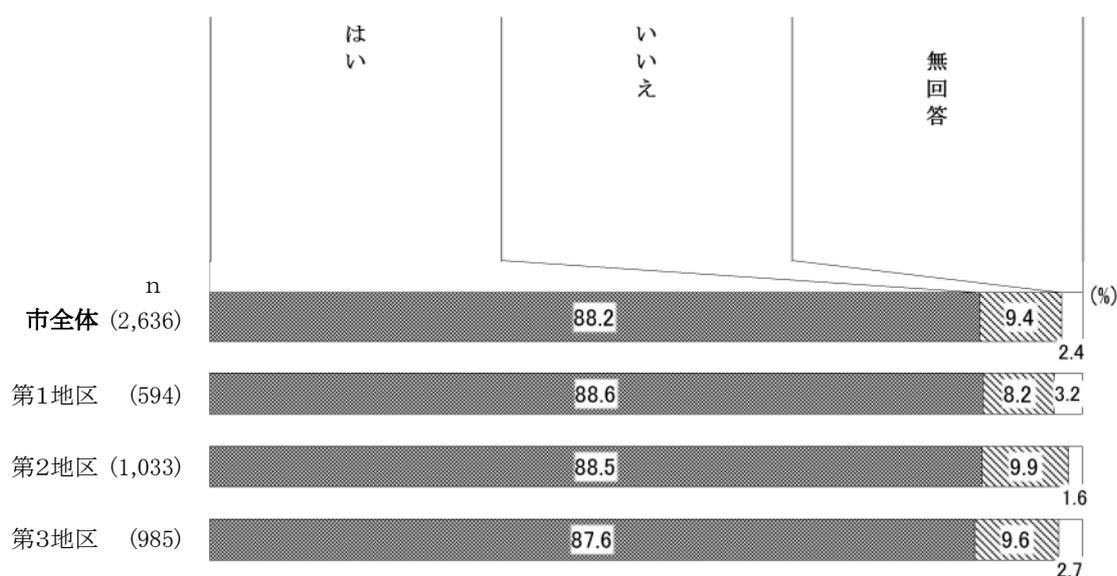
問4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか



相談については、市全体では家族や友人の相談にのっている人が77.4%である。地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(15) お見舞い

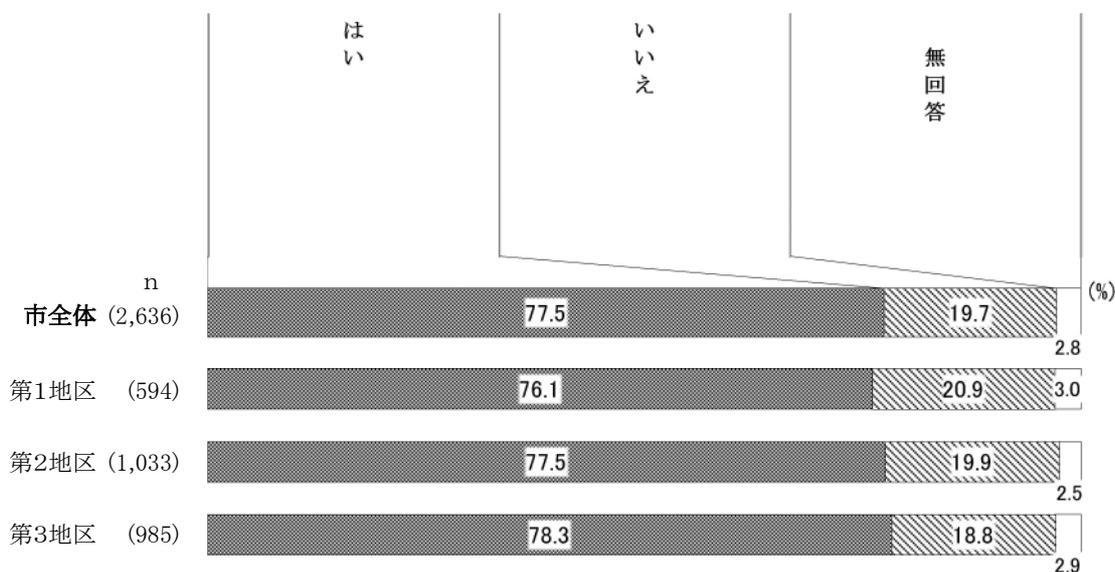
問4 (15) 病人を見舞うことができますか



お見舞いについては、市全体では病人を見舞うことができる人が88.2%である。地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(16) 話しかけ

問4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

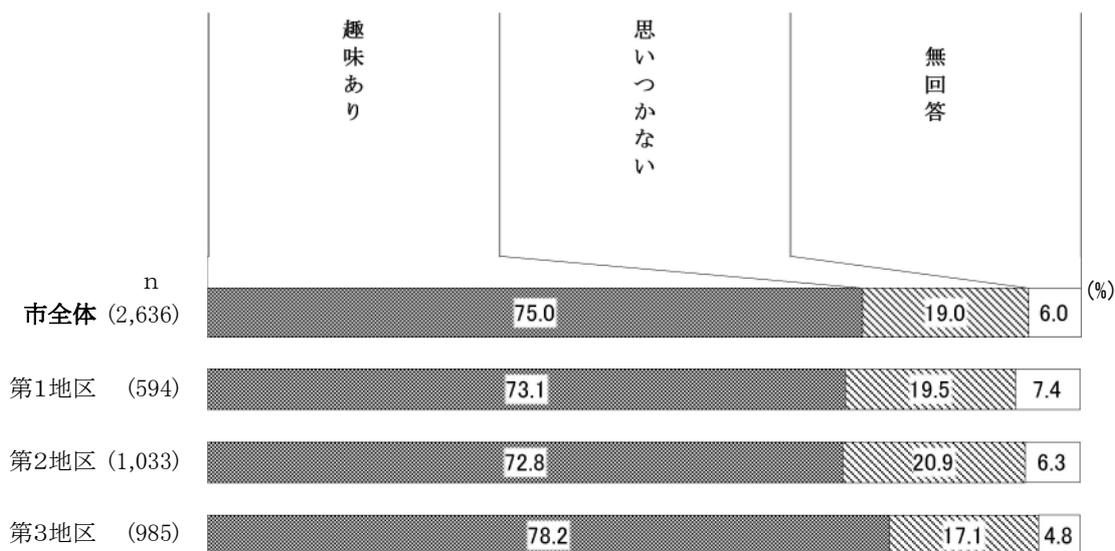


話しかけの状況は、市全体では若い人に自分から話しかけることがある人が77.5%である。

地区別では、若い人に自分から話しかけることがある人は、第1地区が76.1%、第2地区が77.5%、第3地区が78.3%となっている。

(17) 趣味

問4 (17) 趣味はありますか

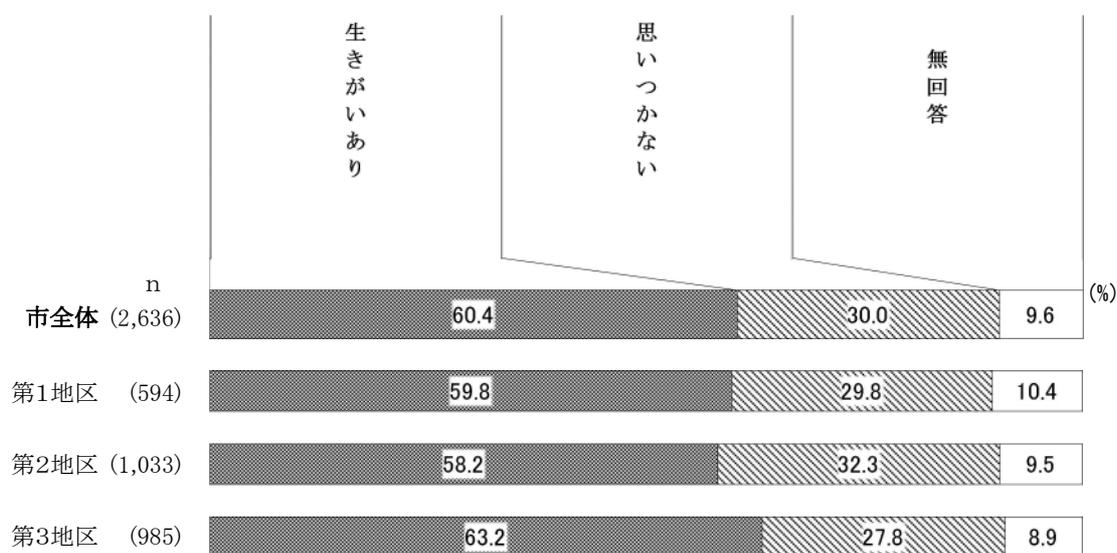


趣味の状況は、市全体では「趣味あり」が75.0%である。

地区別では、「趣味あり」は、第1地区が73.1%、第2地区が72.8%、第3地区が78.2%となっている。

(18) 生きがい

問4 (18) 生きがいはありますか



生きがいの状況は、市全体では「生きがいあり」が60.4%である。

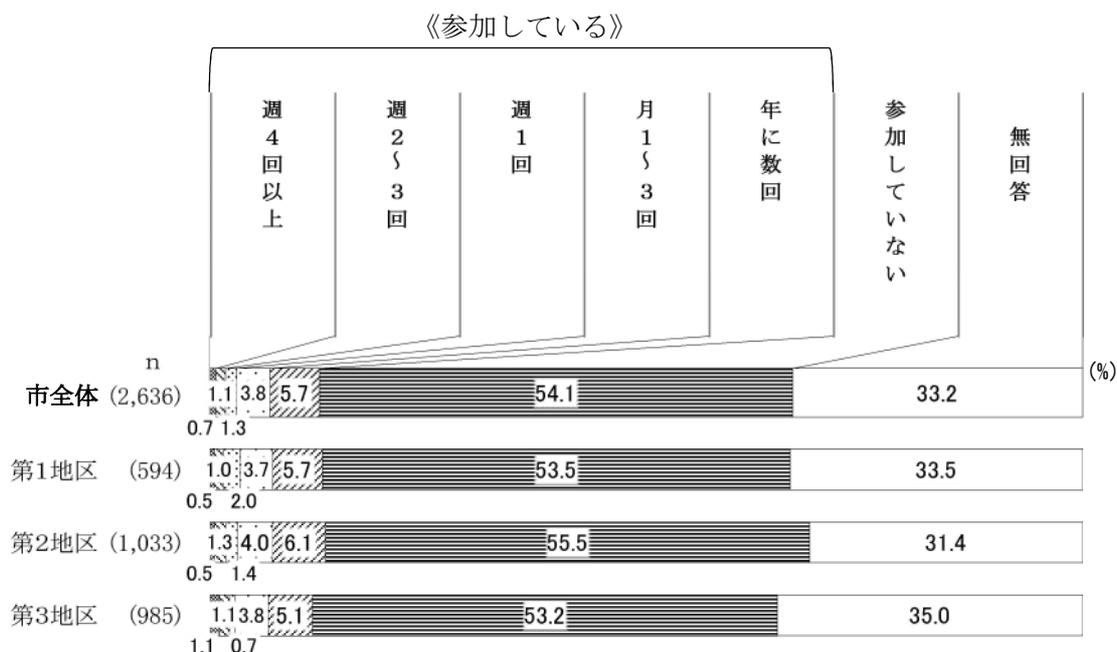
地区別では、「生きがいあり」は、第1地区が59.8%、第2地区が58.2%、第3地区が63.2%となっている。

5. 地域での活動について

(1) 会・グループ等の参加頻度

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※① - ⑦それぞれに回答してください

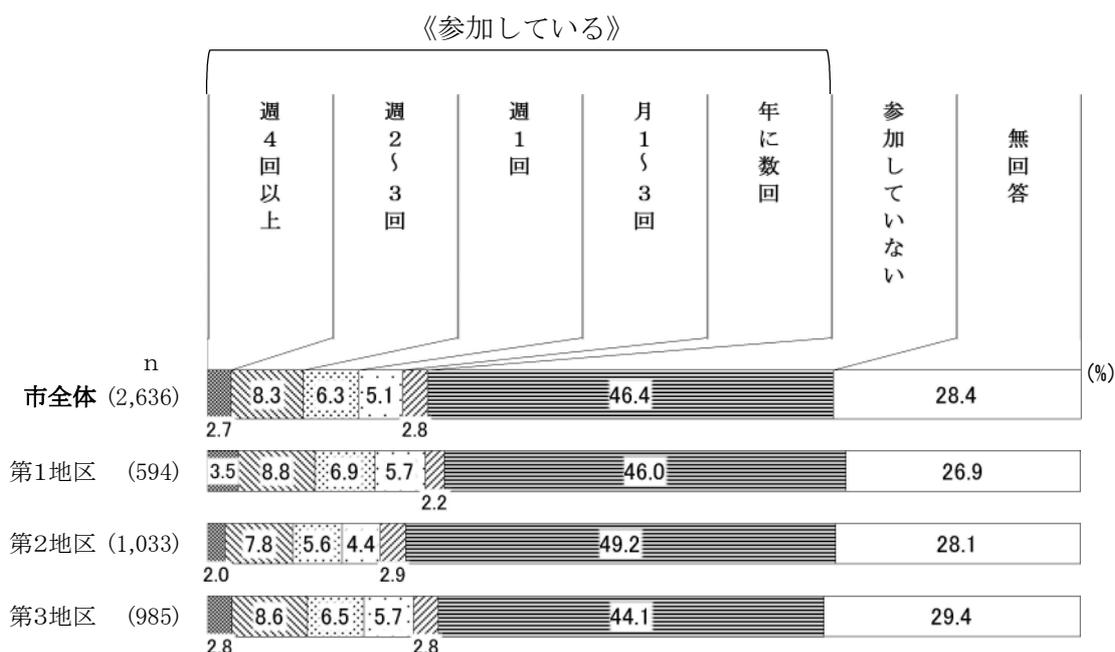
① ボランティアのグループ



ボランティアのグループの参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は12.6%である。

地区別では、《参加している》人は、第1地区が12.9%、第2地区では13.3%、第3地区では11.8%となっている。

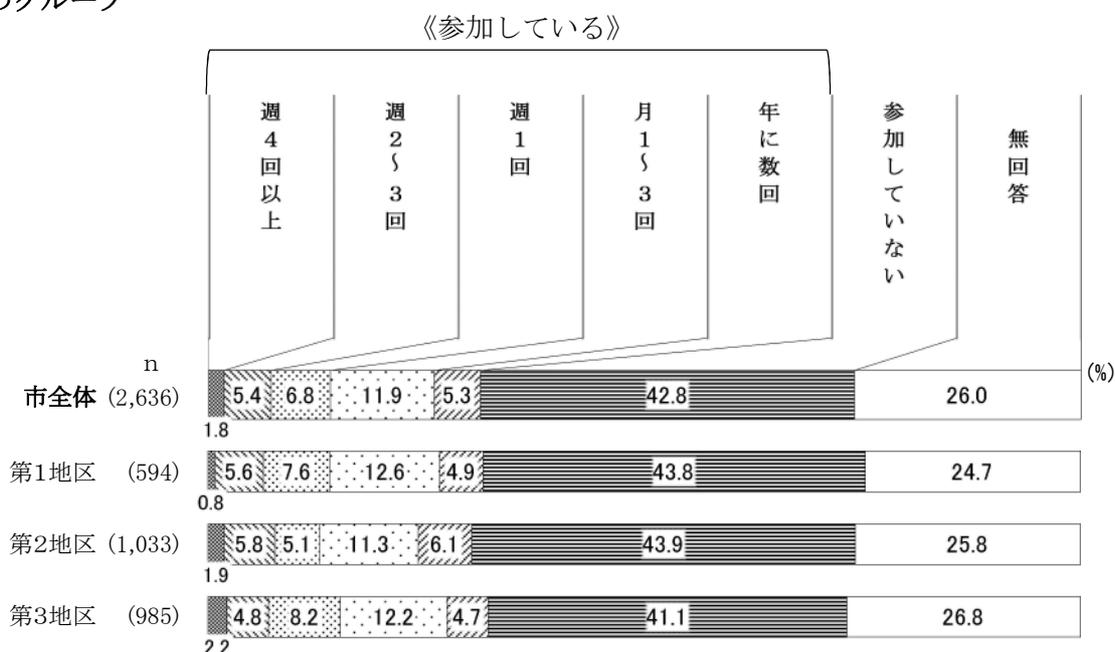
②スポーツ関係のグループやクラブ



スポーツ関係のグループやクラブの参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は25.2%である。

地区別では、《参加している》人は、第1地区が27.1%、第2地区では22.7%、第3地区では26.4%となっている。

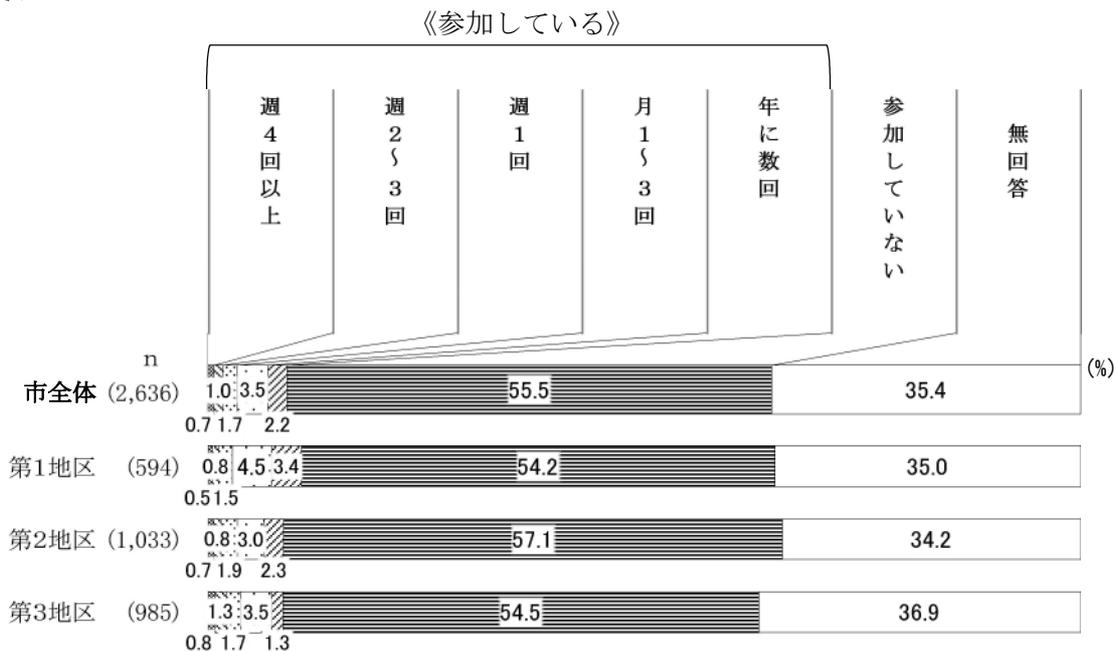
③趣味関係のグループ



趣味関係のグループの参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は31.2%である。

地区別では、《参加している》人は、第1地区が31.5%、第2地区では30.2%、第3地区では32.1%となっている。

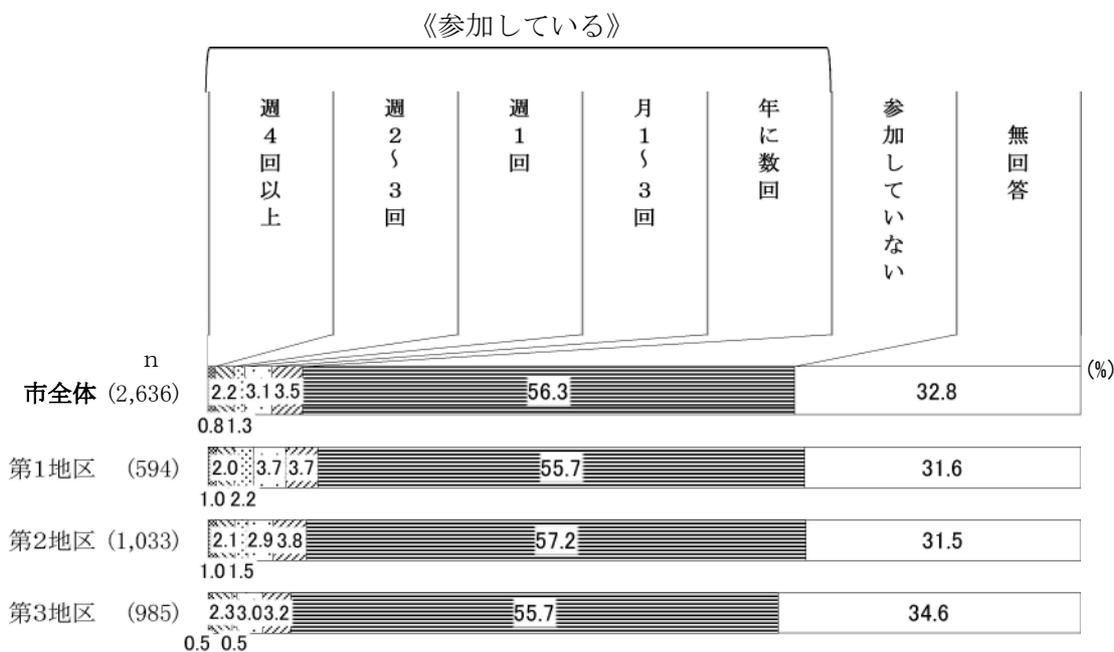
④学習・教養サークル



スポーツ関係のグループやクラブの参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は9.1%である。

地区別では、《参加している》人は、第1地区が10.7%、第2地区では8.7%、第3地区では8.6%となっている。

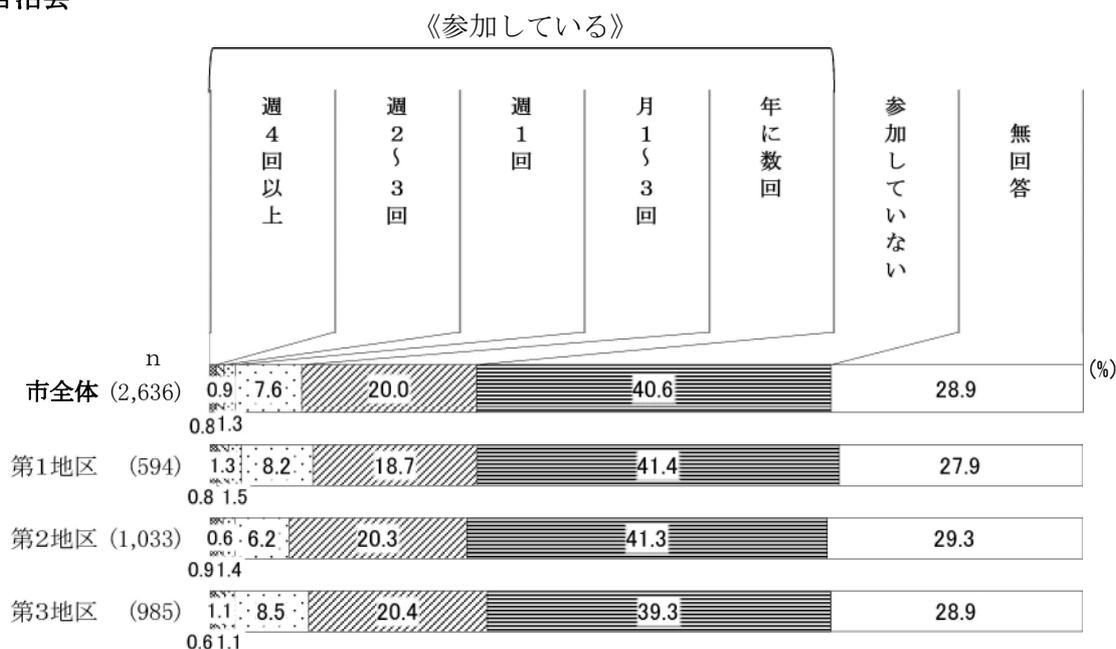
⑤高齢者クラブ



高齢者クラブの参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は10.9%である。

地区別では、《参加している》人は、第1地区が12.6%、第2地区では11.3%、第3地区では9.5%となっている。

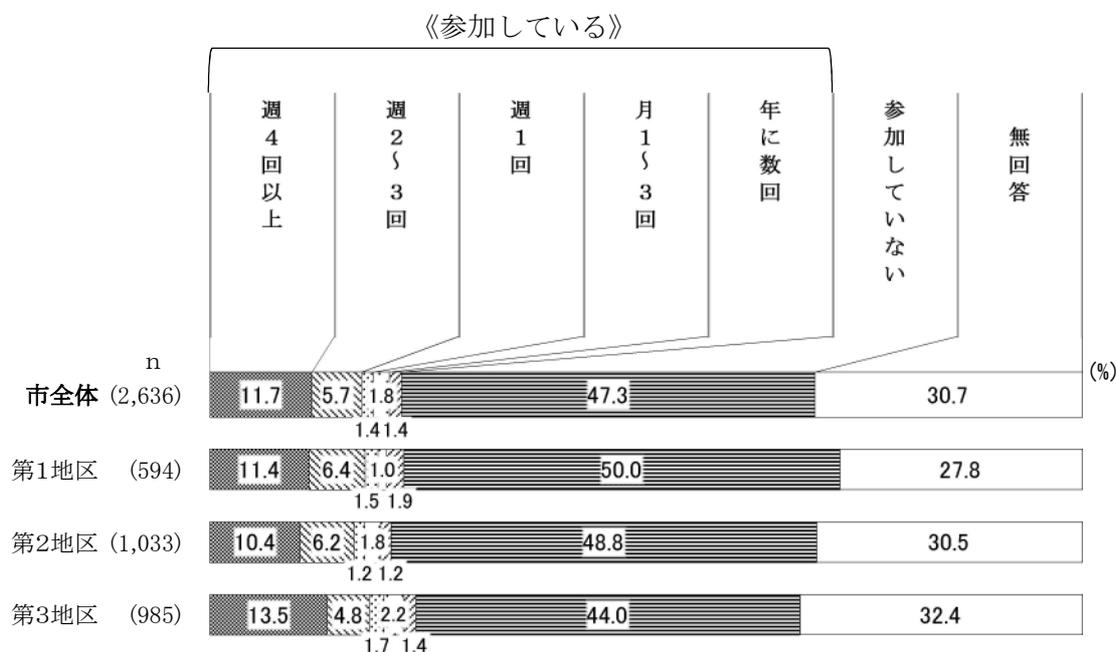
⑥町内会・自治会



町内会・自治会の参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は30.6%である。

地区別では、《参加している》人は、第1地区が30.5%、第2地区では29.4%、第3地区では31.7%となっている。

⑦収入のある仕事

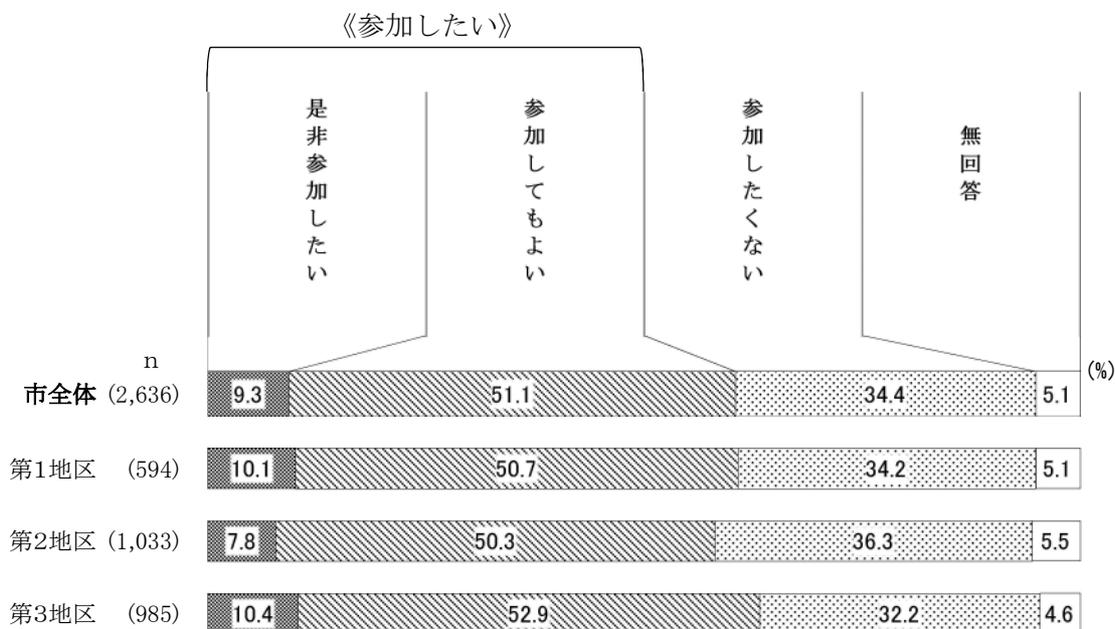


収入のある仕事の参加頻度は、市全体では「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》人は22.0%である。

地区別では、《参加している》人は、第1地区が22.2%、第2地区では20.8%、第3地区では23.6%となっている。

(2) 地域づくりの活動への参加者としての参加

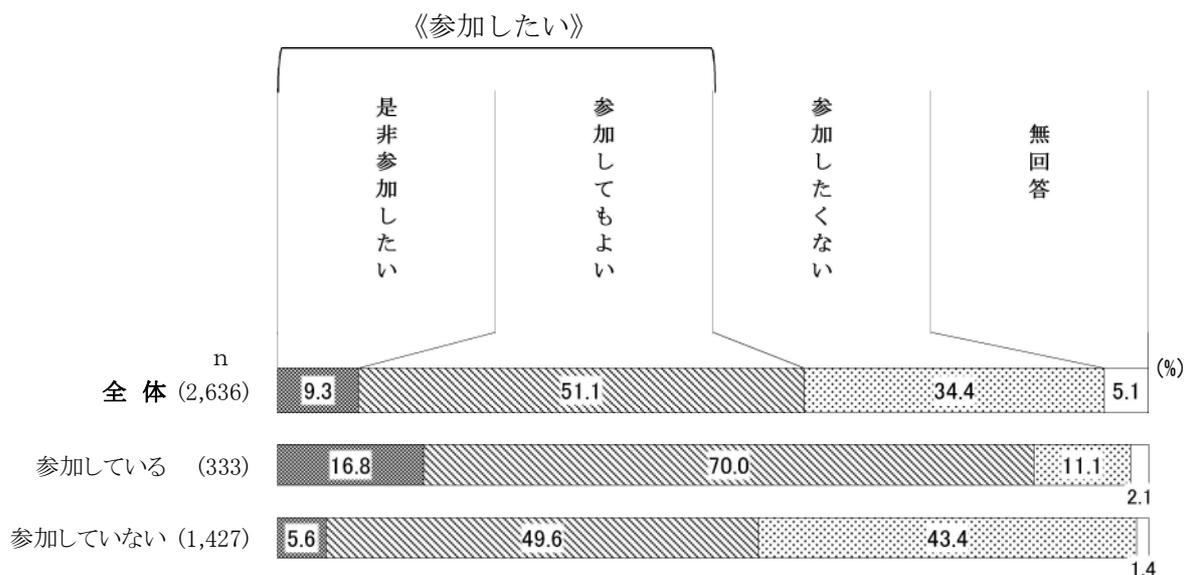
問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



地域づくりの活動への参加者としての参加は、市全体では「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた参加者として《参加したい》人は60.4%である。

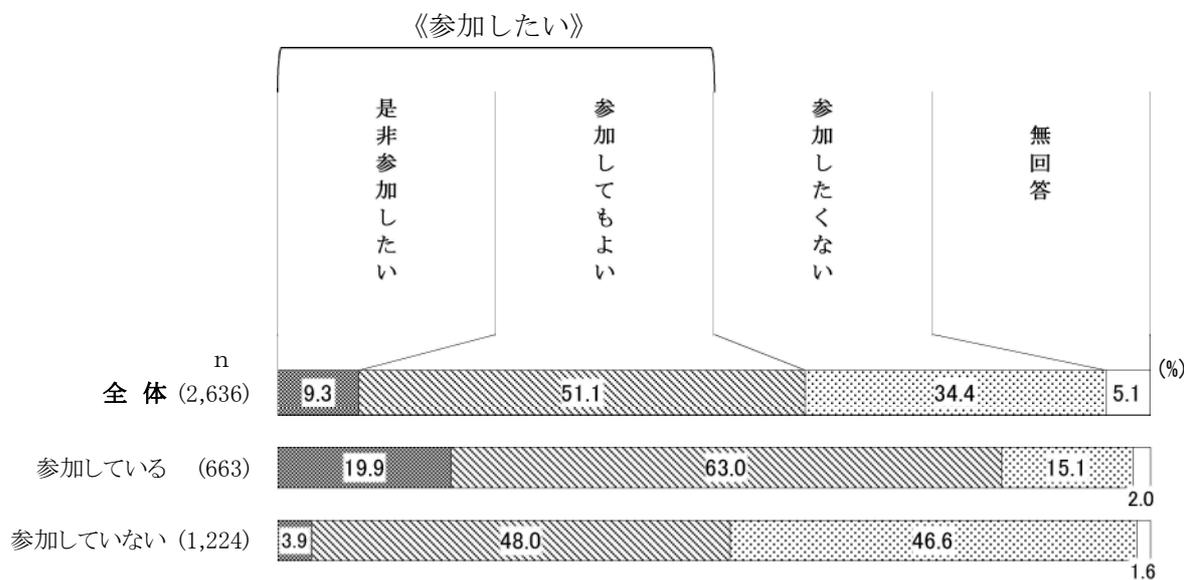
地区別では、参加者として《参加したい》人は、第1地区が60.8%、第2地区では58.1%、第3地区では63.3%となっている。

○ボランティアのグループへの参加有無別



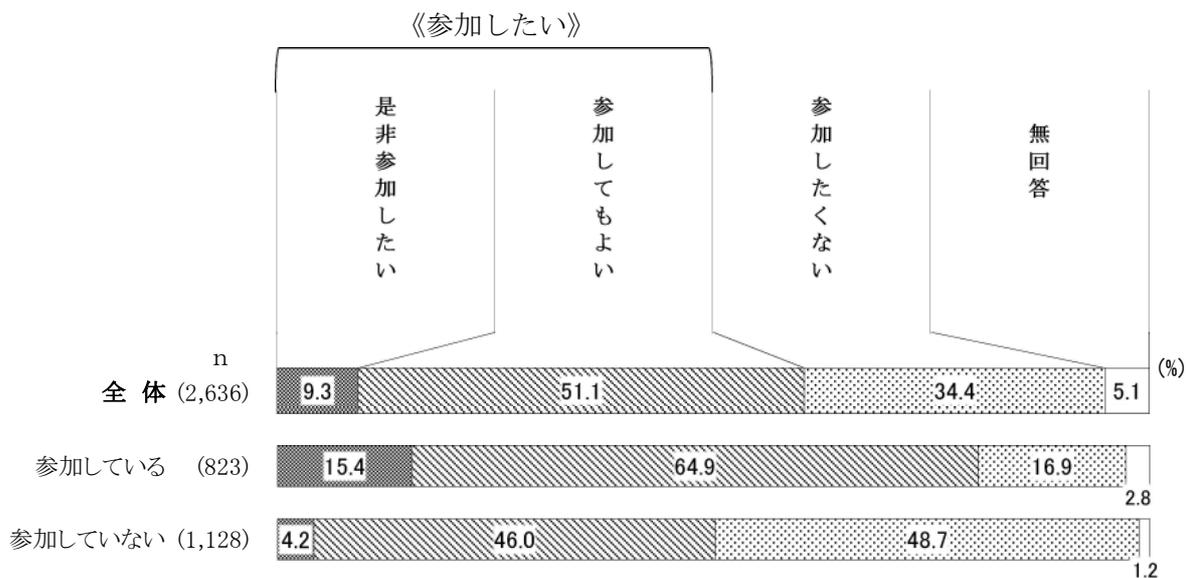
ボランティアのグループへの参加有無別では、《参加したい》人は、ボランティアのグループに参加している人では86.8%、参加していない人では55.2%となっている。

○スポーツ関係のグループやクラブへの参加有無別



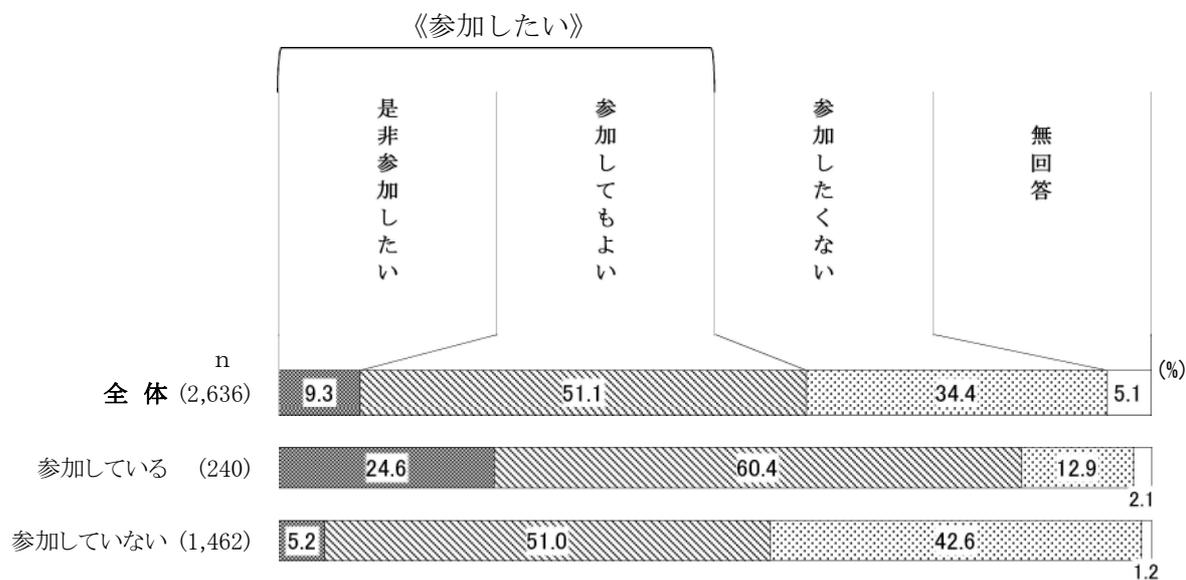
スポーツ関係のグループやクラブへの参加有無別では、《参加したい》人は、スポーツ関係のグループやクラブに参加している人では82.9%、参加していない人では51.9%となっている。

○趣味関係のグループへの参加有無別



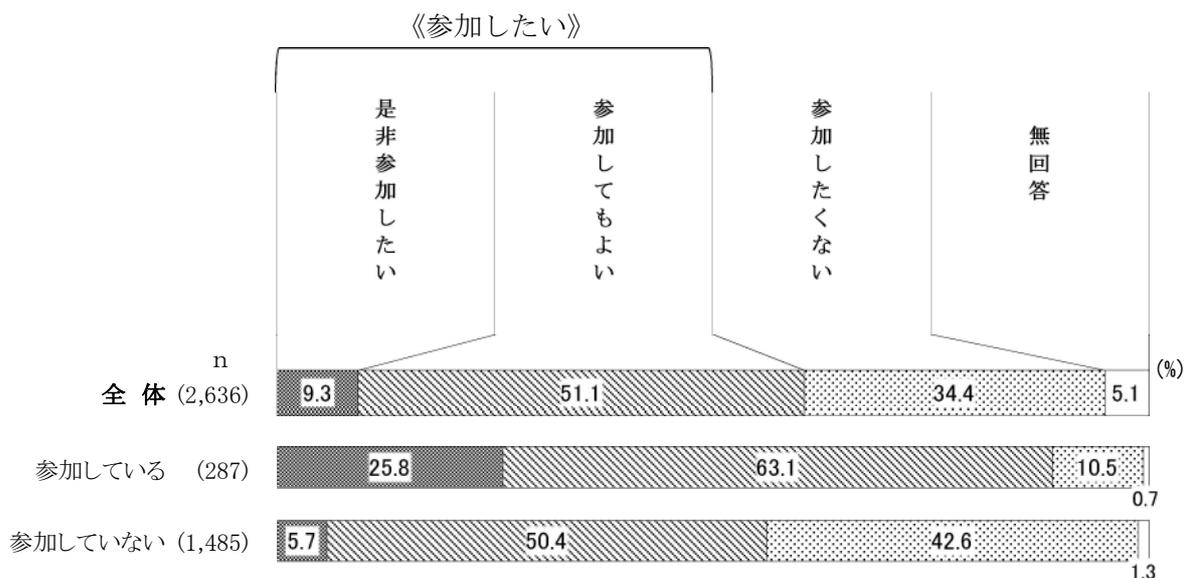
趣味関係のグループへの参加有無別では、《参加したい》人は、趣味関係のグループに参加している人では80.3%、参加していない人では50.2%となっている。

○学習・教養サークルへの参加有無別



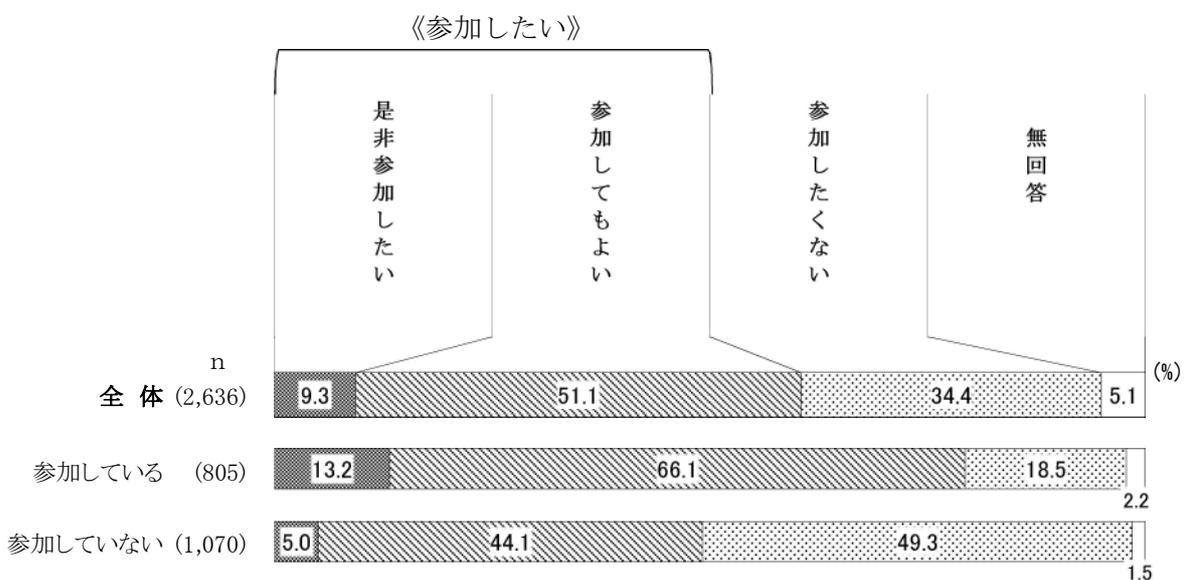
学習・教養サークルへの参加有無別では、《参加したい》人は、学習・教養サークルに参加している人では85.0%、参加していない人では56.2%となっている。

○高齢者クラブへの参加有無別



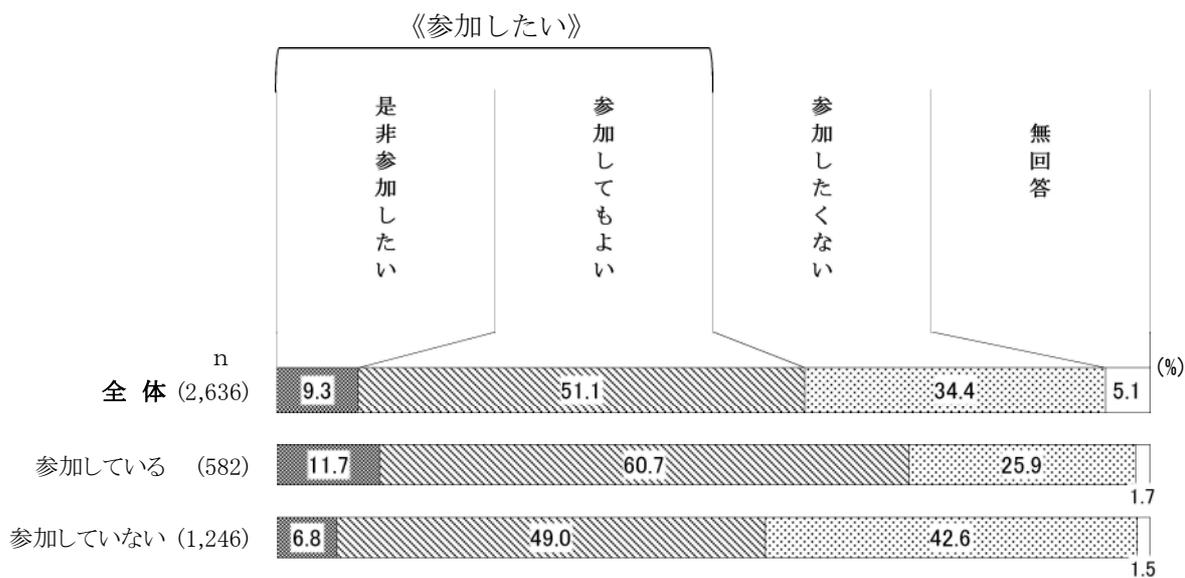
高齢者クラブへの参加有無別では、《参加したい》人は、高齢者クラブに参加している人では88.9%、参加していない人では56.1%となっている。

○町内会・自治会への参加有無別



町内会・自治会への参加有無別では、《参加したい》人は、町内会・自治会に参加している人では79.3%、参加していない人では49.1%となっている。

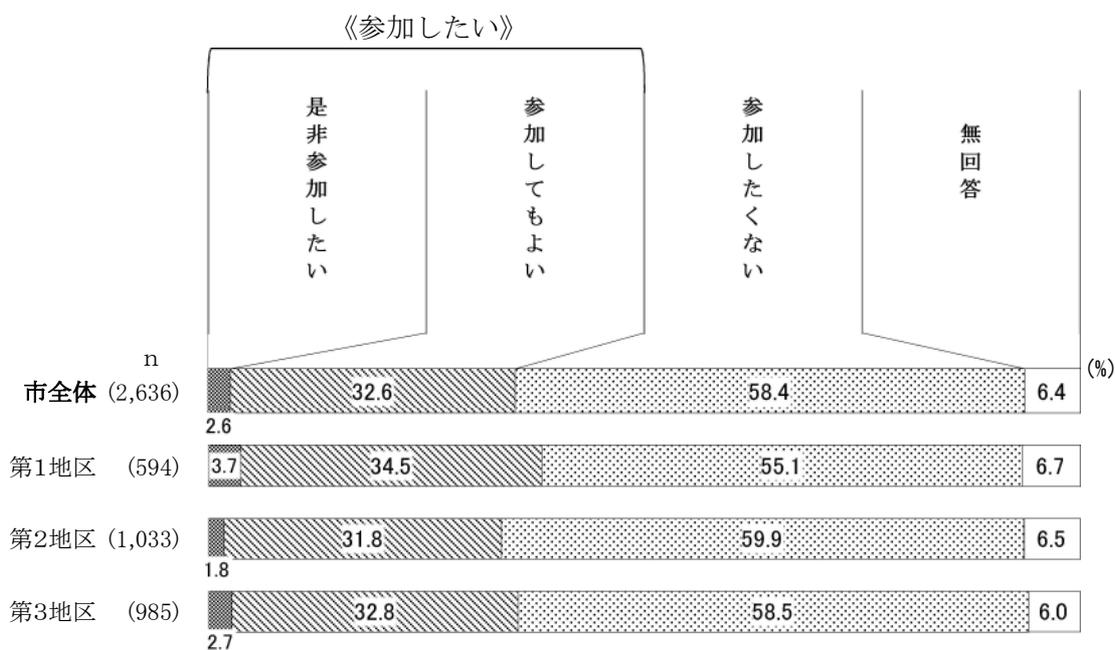
○収入のある仕事への参加有無別



収入のある仕事への参加有無別では、《参加したい》人は、収入のある仕事をしている人では72.4%、参加していない人では55.8%となっている。

(3) 地域づくりの活動への企画・運営としての参加

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか



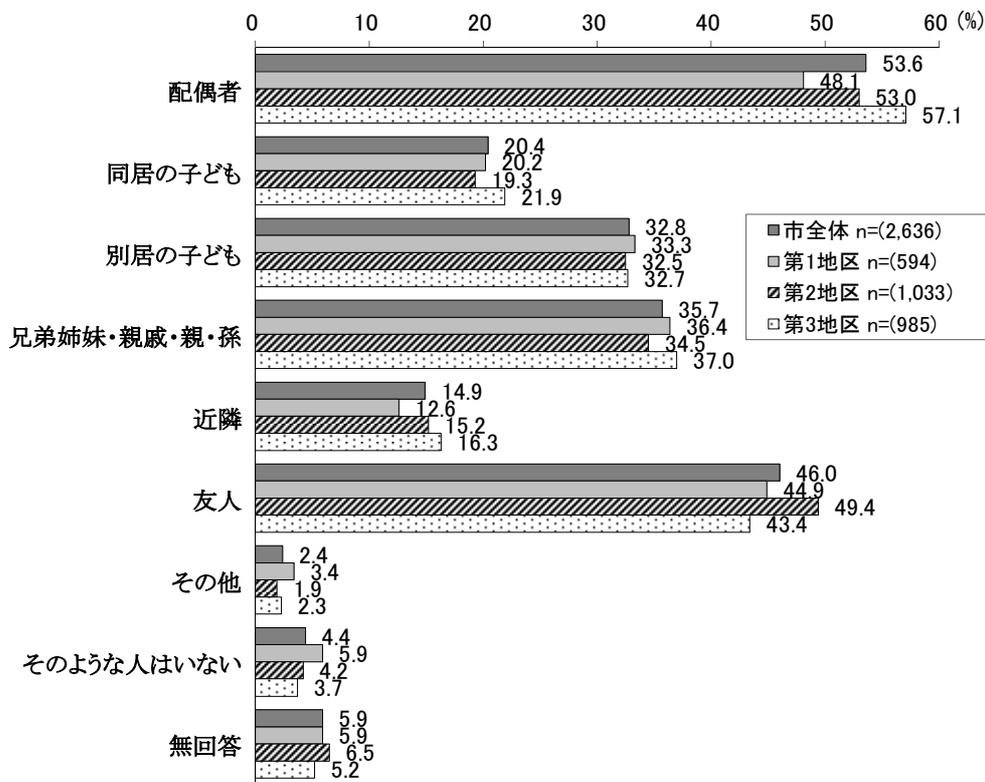
地域づくりの活動への企画・運営としての参加は、市全体では「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた企画・運営として《参加したい》人は35.2%である。

地区別では、企画・運営として《参加したい》人は、第1地区が38.2%、第2地区では33.6%、第3地区では35.5%となっている。

6. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

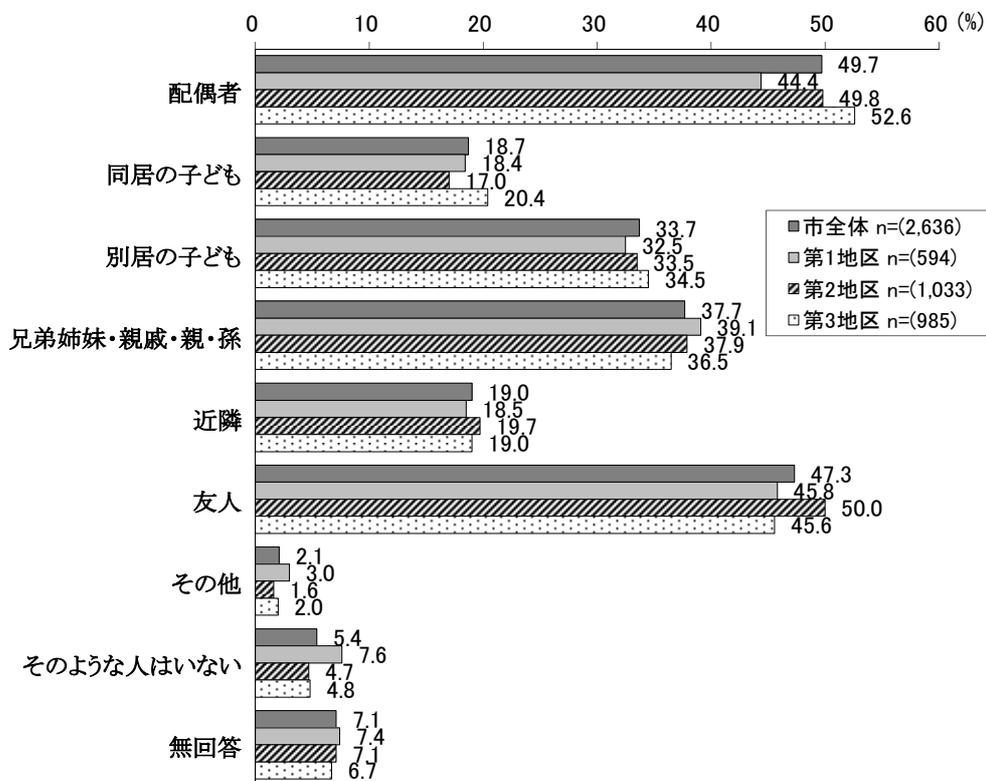


心配事や愚痴を聞いてくれる人は、市全体では「配偶者」が53.6%と最も多い。

地区別では、どの地区も「配偶者」が最も多く、第1地区が48.1%、第2地区が53.0%、第3地区が57.1%となっている。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

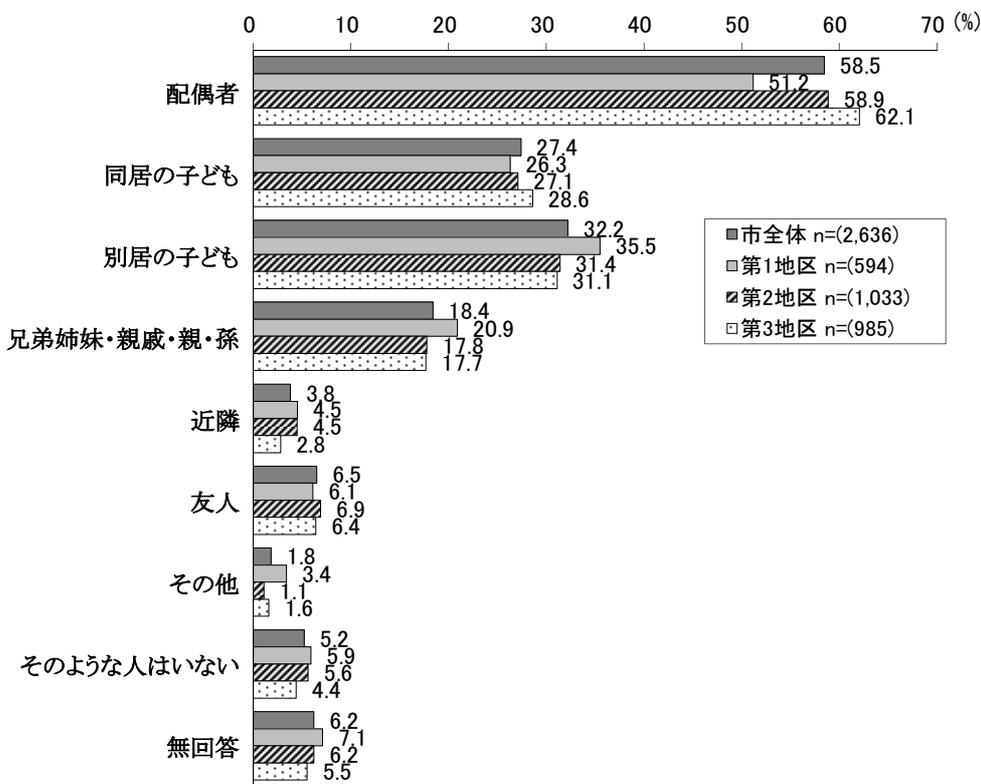
問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)



心配事や愚痴を聞いてあげる人は、市全体では「配偶者」が49.7%で最も多い。
 地区別では、第1地区と第2地区は「友人」がそれぞれ45.8%、50.0%で最も多く、第3地区は「配偶者」(52.6%)が最も多い。

(3) 看病や世話をしてくれる人

問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (いくつでも)

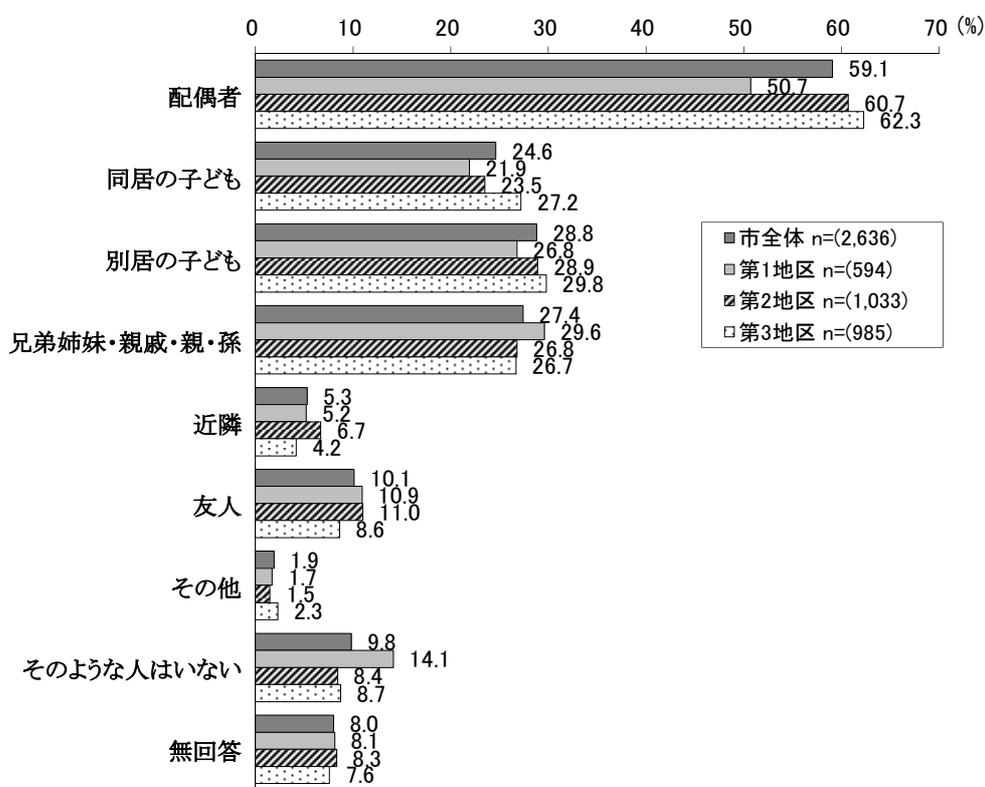


看病や世話をしてくれる人は、市全体では「配偶者」が58.5%で最も多い。

地区別では、どの地区も「配偶者」が最も多く、第1地区が51.2%、第2地区が58.9%、第3地区が62.1%となっている。

(4) 看病や世話をしあける人

問6 (4) 反対に、看病や世話をしあける人 (いくつでも)

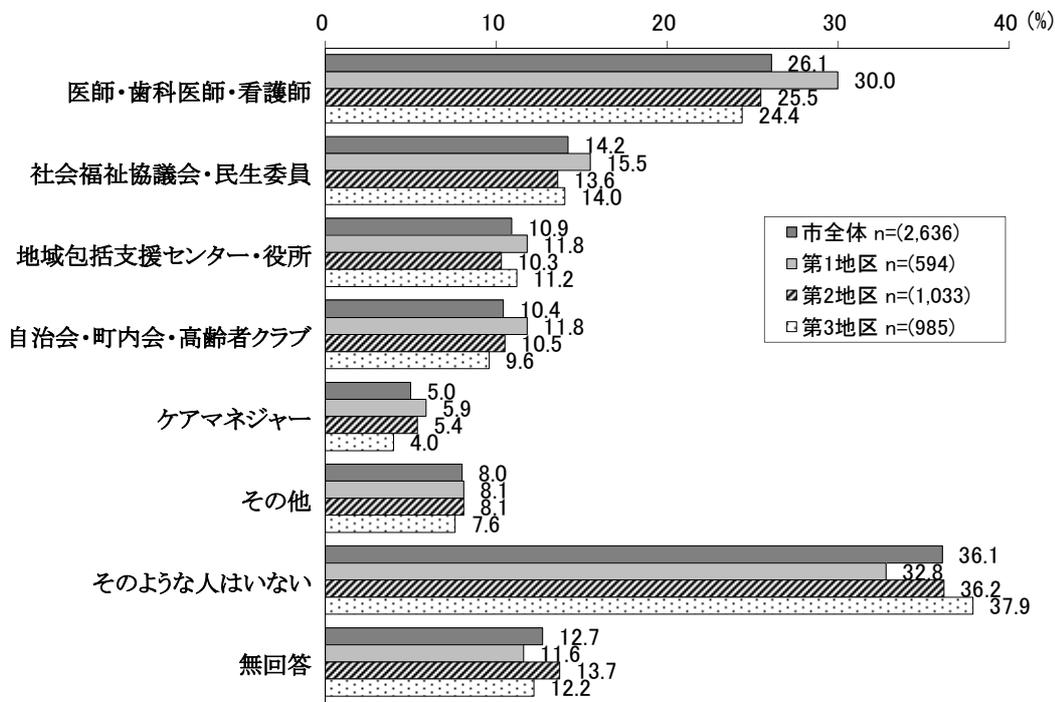


看病や世話をしあける人は、市全体では「配偶者」が59.1%で最も多い。

地区別では、どの地区も「配偶者」が最も多く、第1地区が50.7%、第2地区が60.7%、第3地区が62.3%となっている。

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

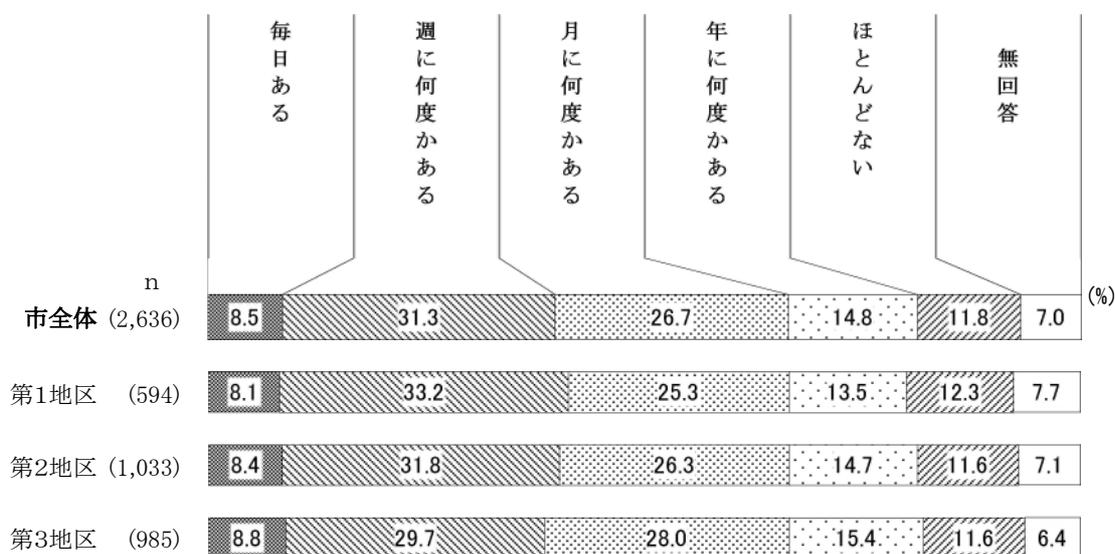


何かあったときに相談する相手は、市全体では「そのような人はいない」が36.1%で最も多い。

地区別では、どの地区も「そのような人はいない」が最も多く、第1地区が32.8%、第2地区が36.2%、第3地区が37.9%となっている。

(6) 友人・知人と会う頻度

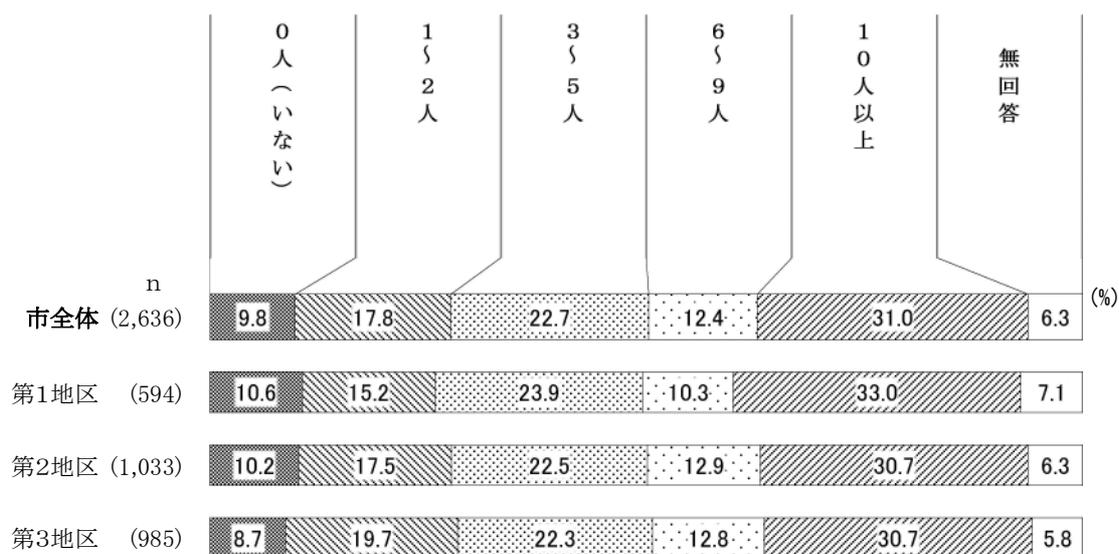
問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。



友人・知人と会う頻度は、市全体では「週に何度かある」が31.3%で最も多い。
 地区別では、「週に何度かある」は、第1地区が33.2%、第2地区が31.8%、第3地区が29.7%となっている。

(7) この1か月間に会った友人・知人

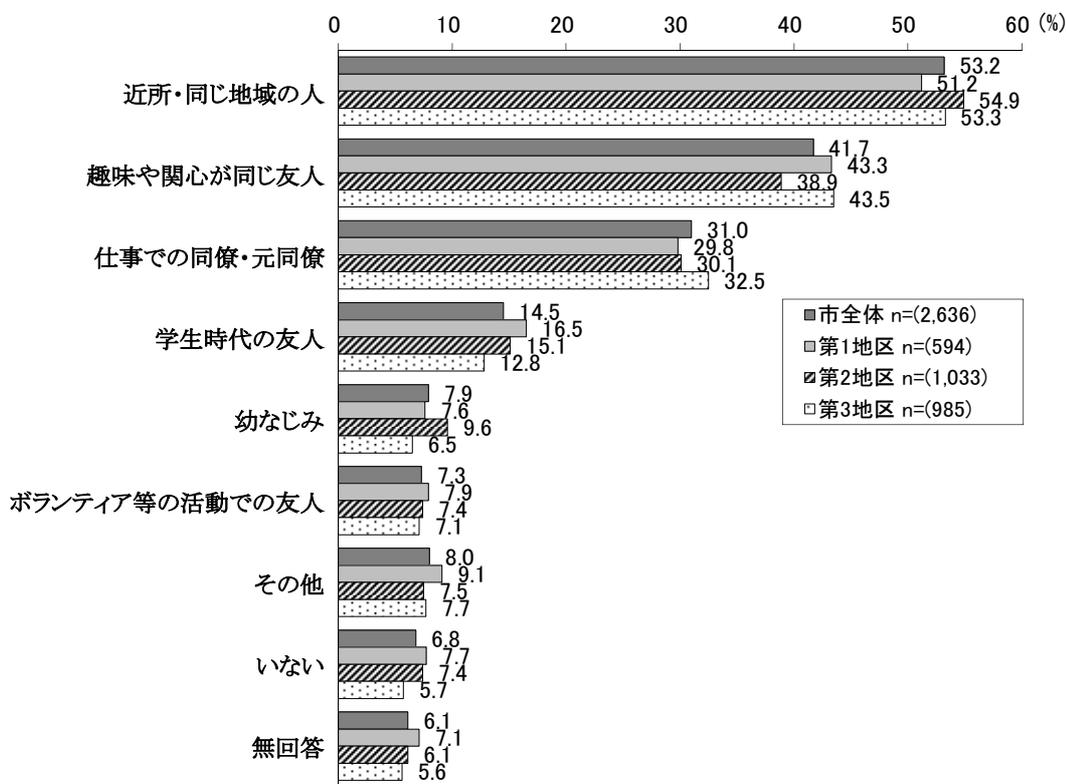
問6 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。



この1か月間に会った友人・知人の数は、市全体では「10人以上」が31.0%で最も多い。
 地区別では、どの地区も「10人以上」が最も多く、第1地区が33.0%、第2地区が30.7%、第3地区が30.7%となっている。

(8) よく会う友人・知人

問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)



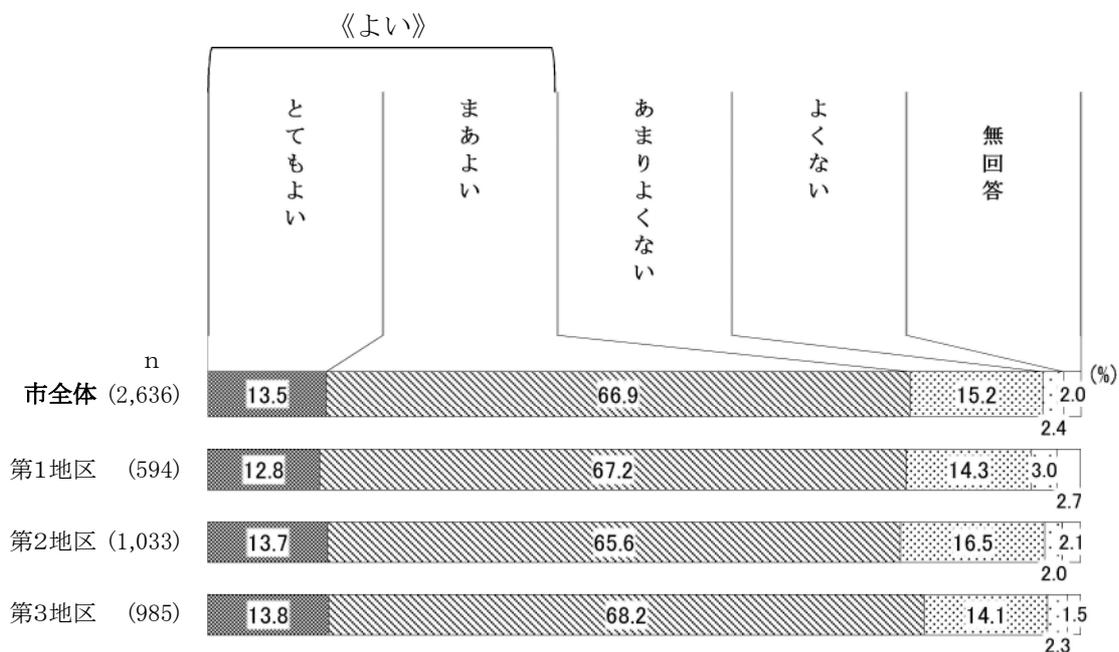
よく会う友人・知人は、市全体では「近所・同じ地域の人」が53.2%で最も多い。

地区別では、どの地区も「近所・同じ地域の人」が最も多く、第1地区が51.2%、第2地区が54.9%、第3地区が53.3%となっている。

7. 健康について

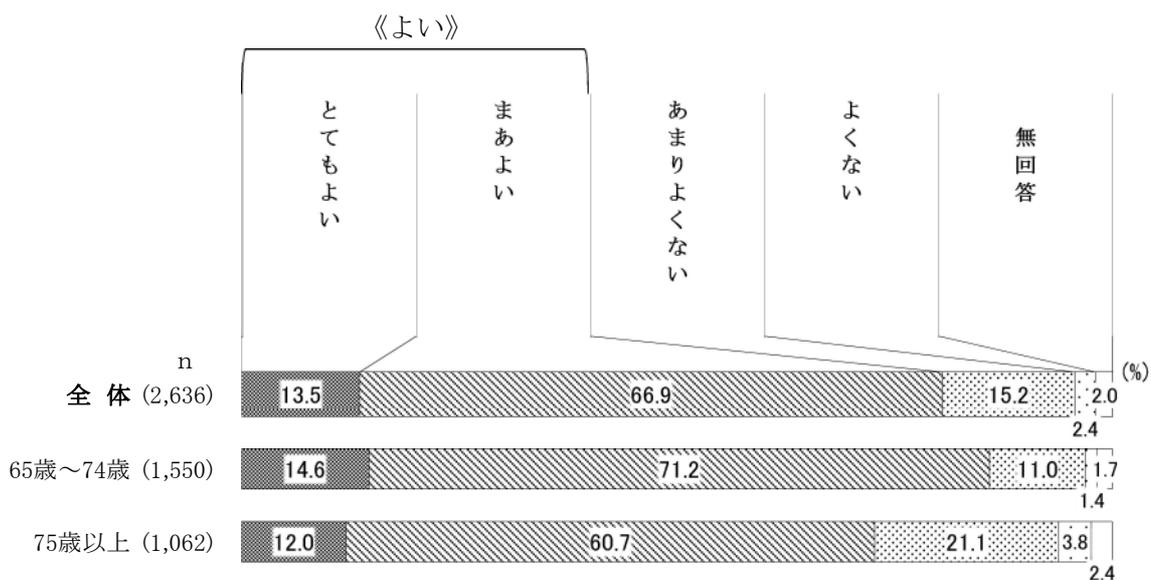
(1) 現在の健康状態

問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか



現在の健康状態は、市全体では「とてもよい」「まあよい」を合わせた《よい》は80.4%である。地区別では、《よい》は、第1地区が80.0%、第2地区では79.3%、第3地区では82.0%となっている。

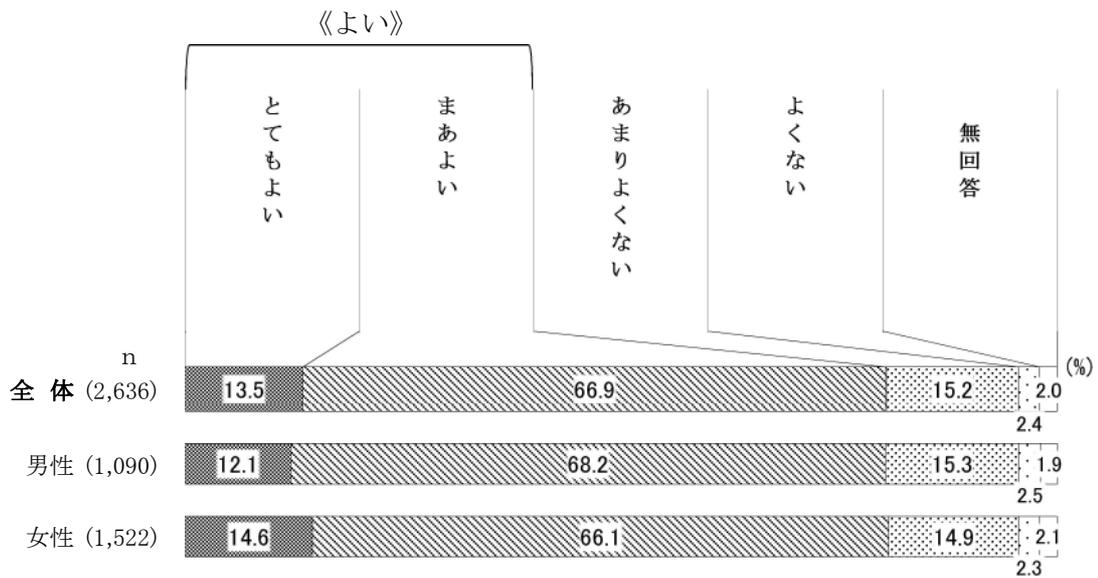
○年齢別



年齢別では、《よい》は、65歳～74歳では85.8%、75歳以上では72.9%となっている。

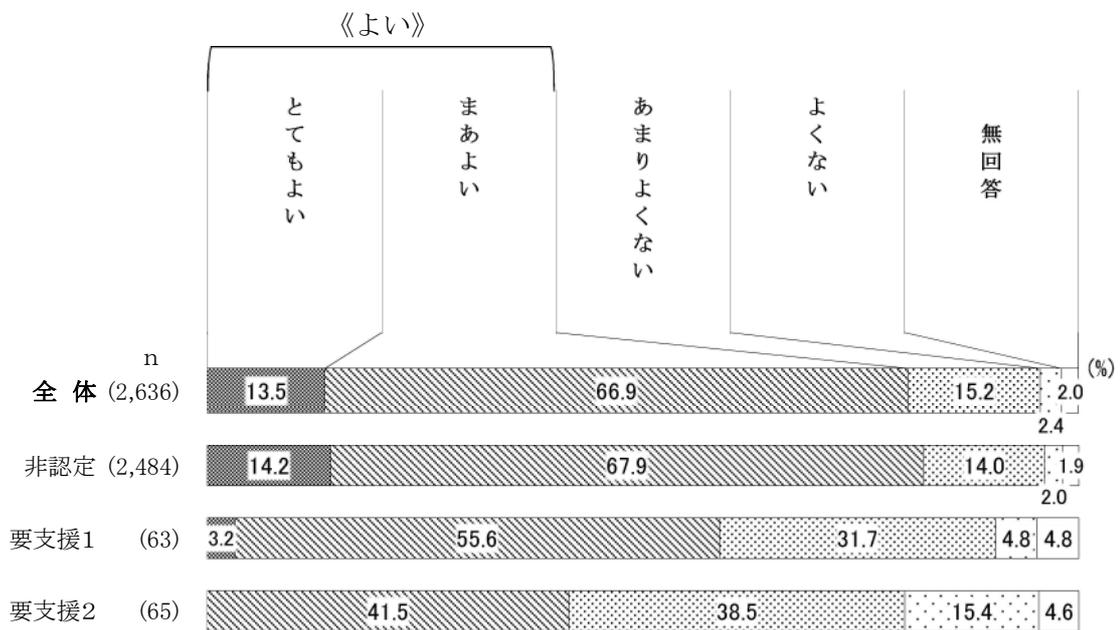
第2章 調査結果の詳細

○男女別



男女別では、《よい》は、男性では80.3%、女性では80.7%となっており、大きな差はみられなかった。

○介護認定別

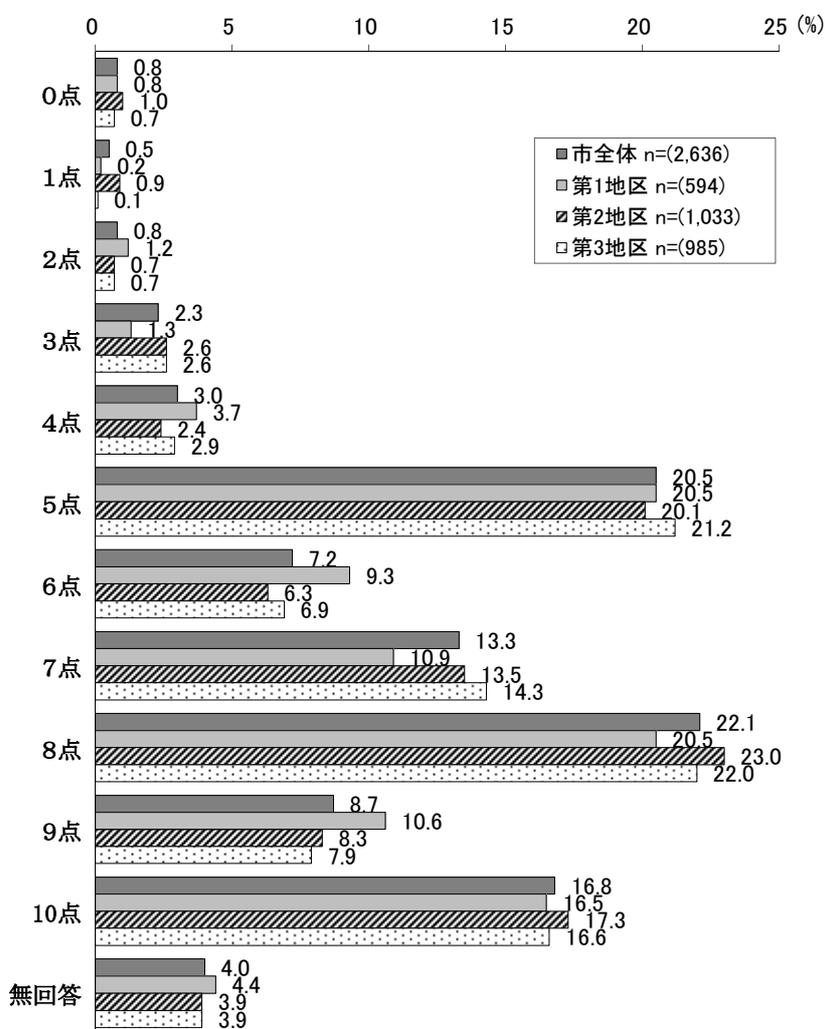


介護認定別では、《よい》は、非認定では82.1%、要支援1では58.8%、要支援2では41.5%となっている。

(2) 幸福度

問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

平均点	
市全体	7.11
第1地区	7.12
第2地区	7.12
第3地区	7.10

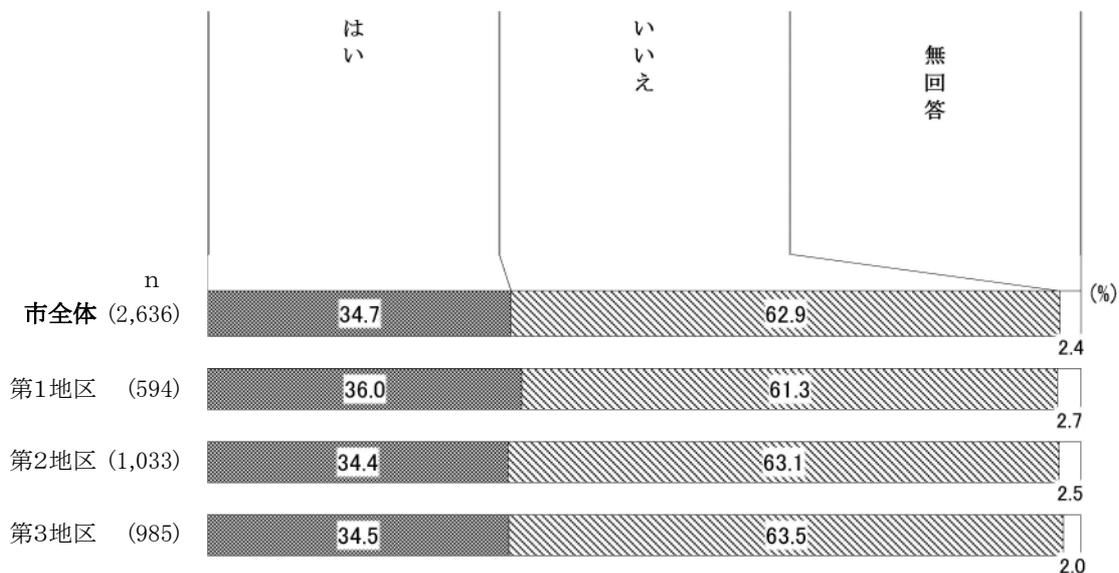


幸福度は、市全体では「8点」が22.1%で最も多く、次いで「5点」(20.5%)となっている。地区別では、「8点」は、第1地区が20.5%、第2地区が23.0%、第3地区が22.0%となっている。「5点」は、第1地区が「8点」と同様に20.5%、第2地区は20.1%、第3地区が21.2%となっている。

平均点をみると、市全体では7.11、地区別では、第1地区と第2地区でともに7.12、第3地区で7.10となっている。

(3) ゆうつな気持ち

問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

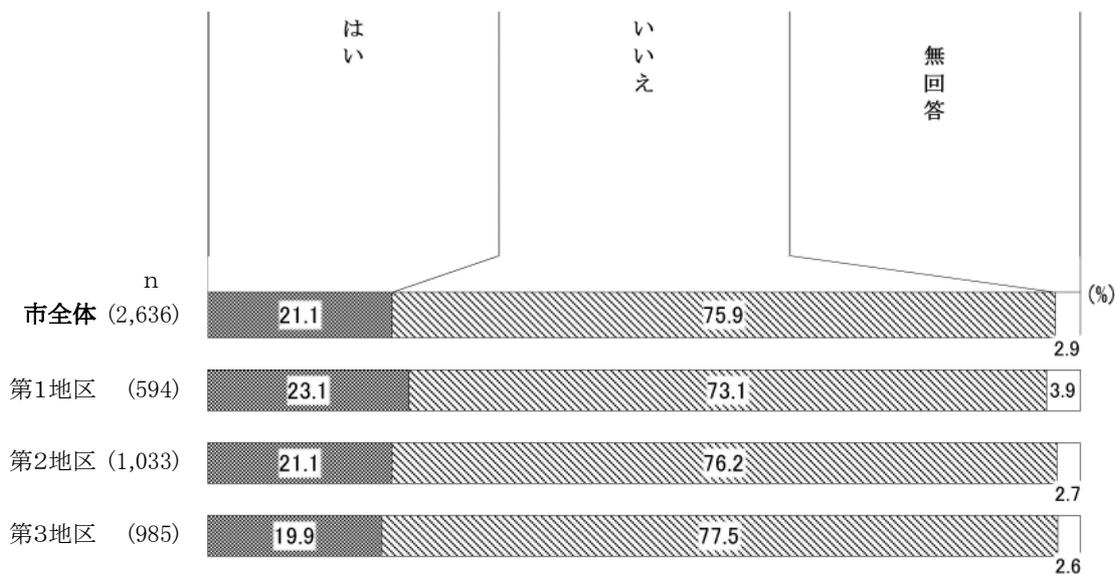


ゆううつな気持ちについては、市全体ではこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった人が34.7%である。

地区別では、どの地区も同じような割合で、大きな差はみられなかった。

(4) 興味の低下

問7 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

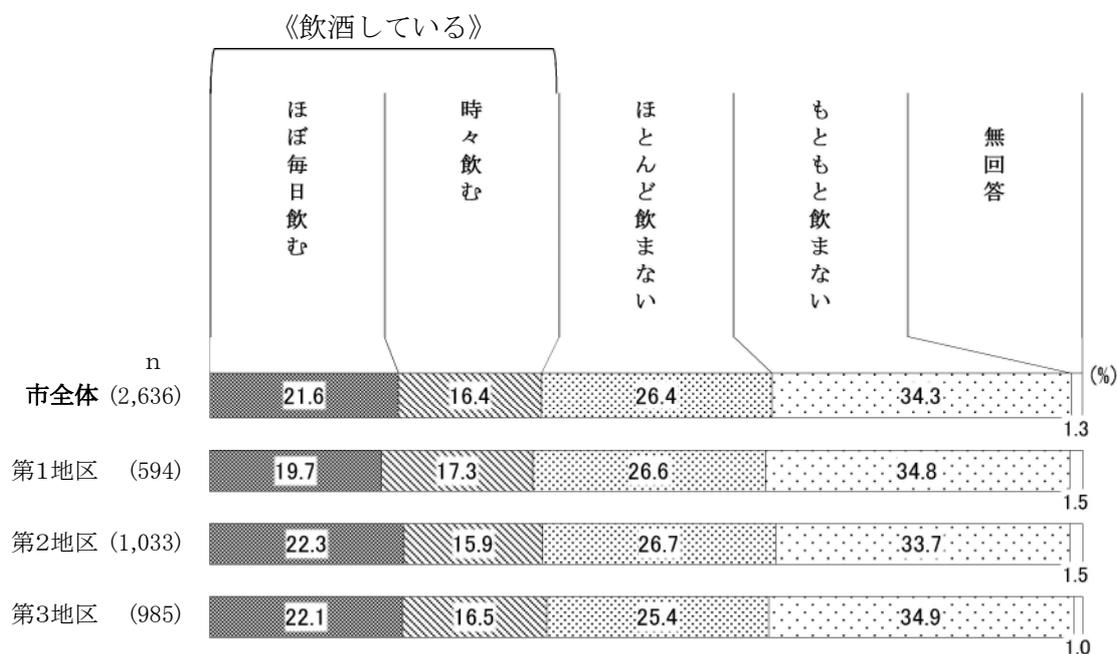


興味の低下については、市全体ではこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった人が21.1%である。

地区別では、この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった人は、第1地区が23.1%、第2地区が21.1%、第3地区が19.9%となっている。

(5) 飲酒

問7 (5) お酒は飲みますか

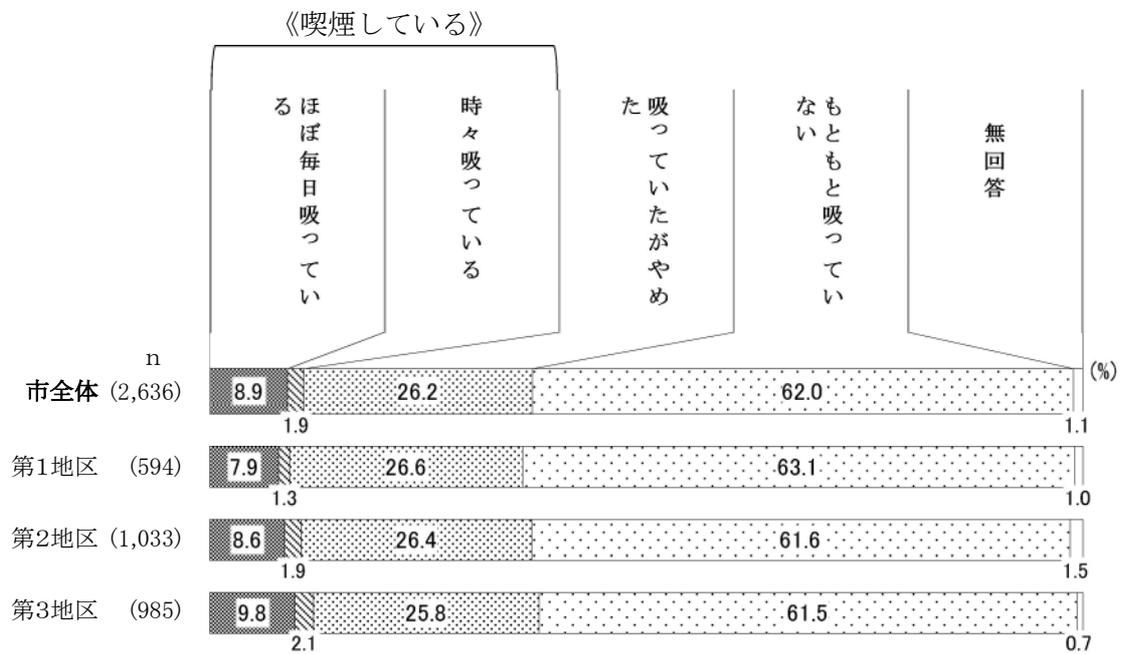


飲酒については、市全体では「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」を合わせた《飲酒している》人は38.0%である。

地区別では、《飲酒している》人は、第1地区が37.0%、第2地区では38.2%、第3地区では38.6%となっている。

(6) 喫煙

問7 (6) タバコは吸っていますか

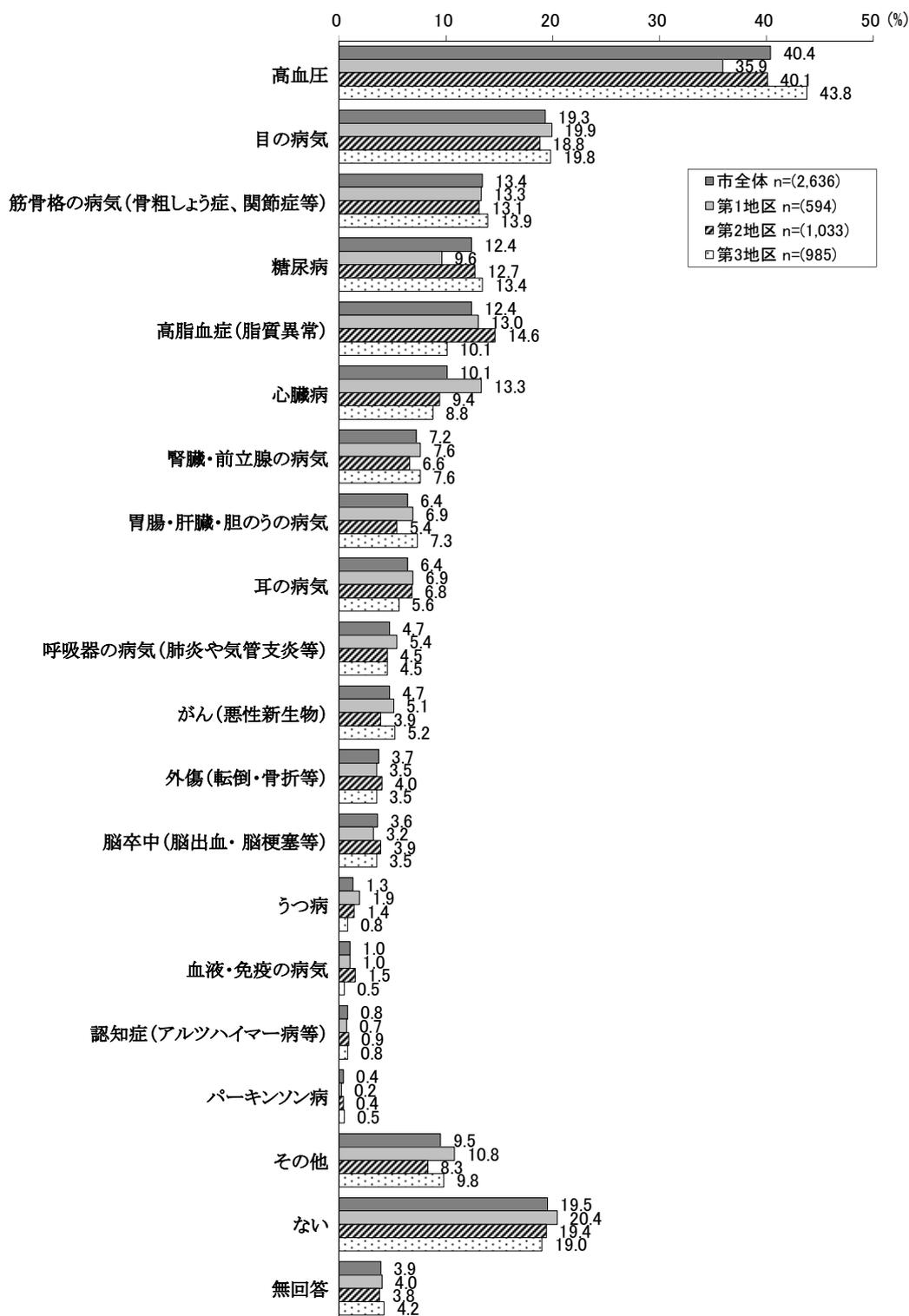


喫煙については、市全体では「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」を合わせた《喫煙している》人は10.8%である。

地区別では、《喫煙している》人は、第1地区が9.2%、第2地区では10.5%、第3地区では11.9%となっている。

(7) 治療中の病気

問7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)



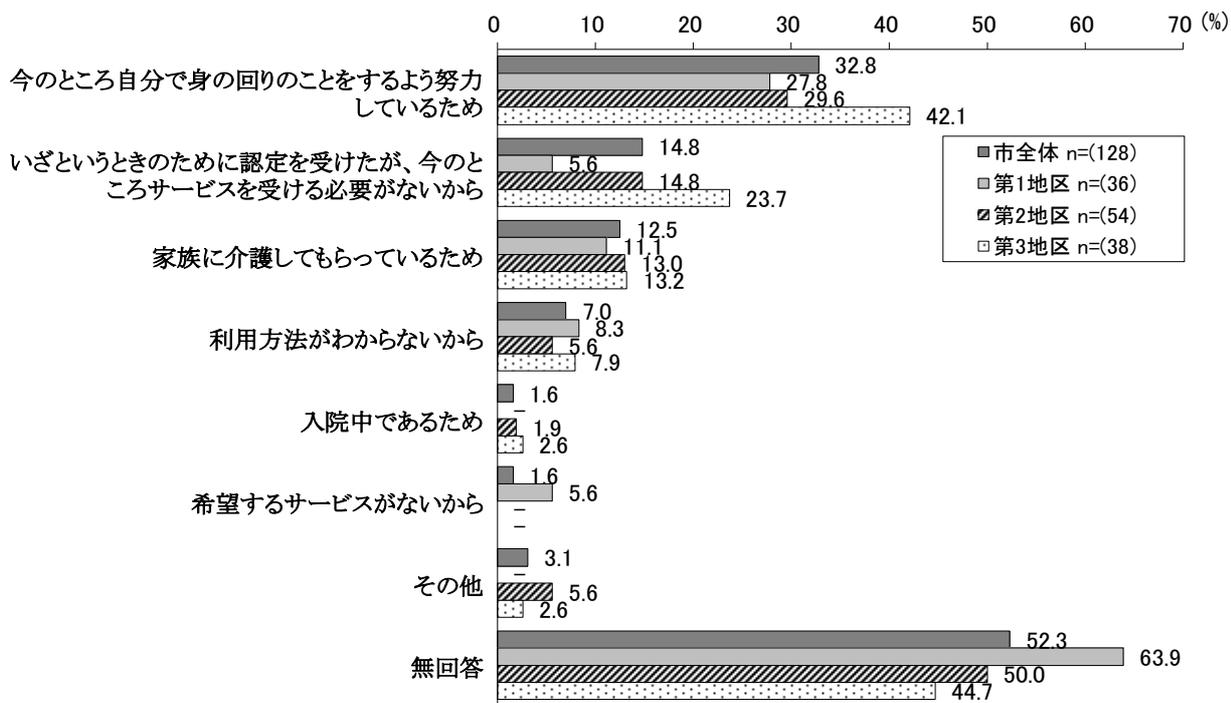
治療中の病気は、市全体では「高血圧」が40.4%で最も多い。

地区別では、どの地区も「高血圧」が最も多く、第1地区が35.9%、第2地区が40.1%、第3地区が43.8%となっている。

8. 高齢者福祉サービスなどについて

(1) 介護認定者の介護保険サービスを利用していない理由

問8 (1) 介護の認定（要支援1・2）を受けた人で、介護保険のサービスを利用していない方にお尋ねします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

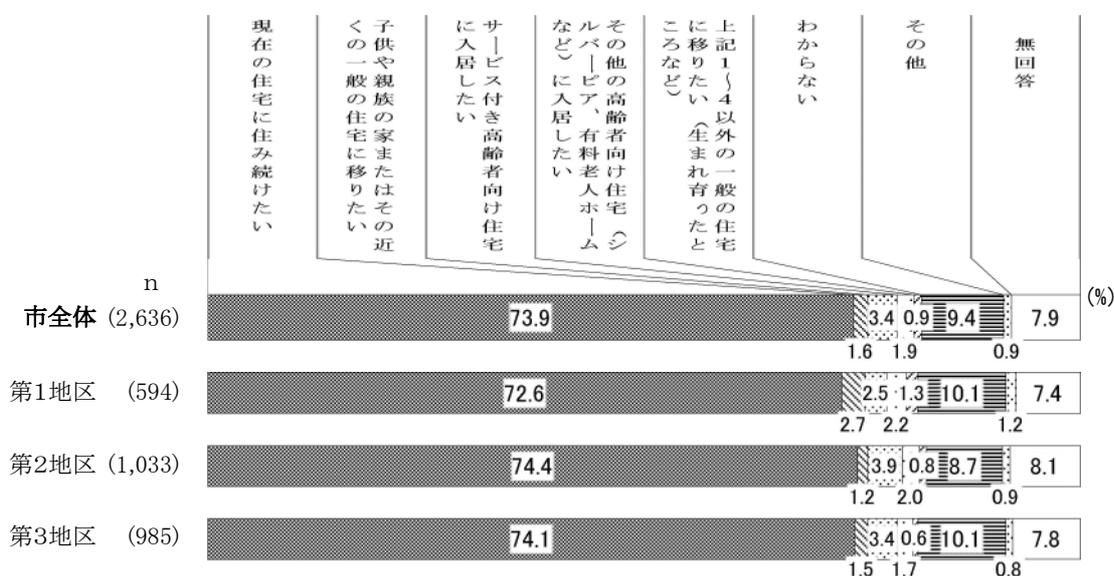


介護の認定を受けた人で介護保険サービスを利用していない理由は、市全体では「今のところ自分で身の回りのことをするよう努力しているため」が32.8%で最も多い。

地区別では、どの地区も「今のところ自分で身の回りのことをするよう努力しているため」が最も多く、第1地区が27.8%、第2地区が29.6%、第3地区が42.1%となっている。

(2) 介護が必要にならないうちの高齢期の住まいの希望

問8 (2) あなたは、介護が必要にならないうちの高齢期の住まいについて、どのようにしたいと思いますか。(〇は1つ)



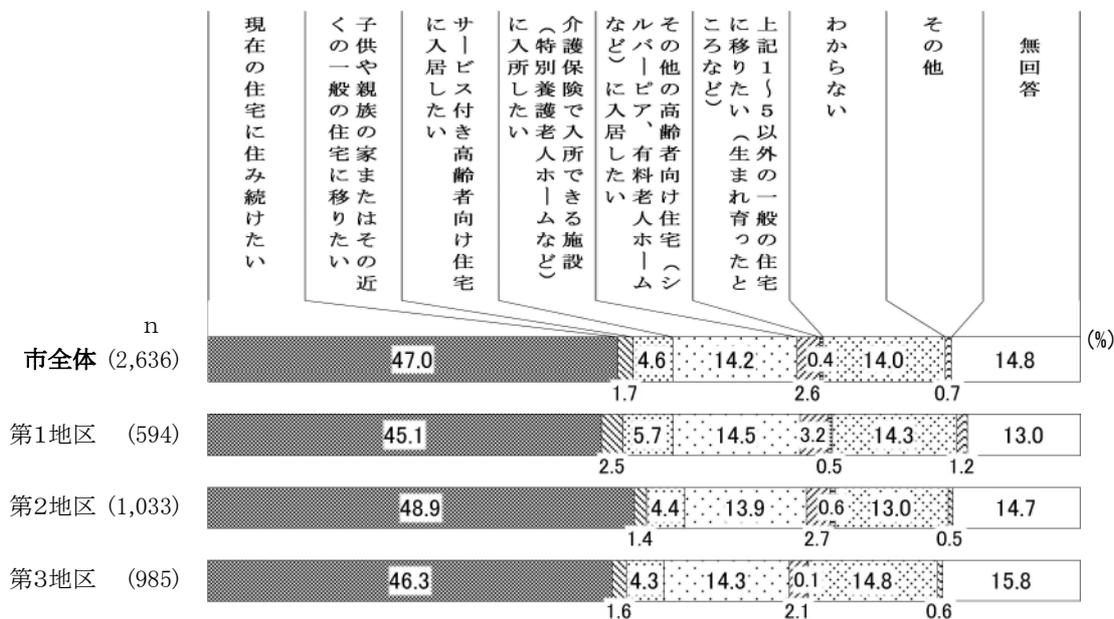
介護が必要にならないうちの高齢期の住まいの希望は、市全体では「現在の住宅に住み続けたい」が73.9%で最も多い。

地区別では、どの地区も「現在の住宅に住み続けたい」が最も多く、第1地区が72.6%、第2地区が74.4%、第3地区が74.1%となっている。

(3) 介護が必要になったときの高齢期の住まいの希望

問8 (3) あなたは、介護が必要になったときの高齢期の住まいについて、どのようにしたい
 と思いますか。(〇は1つ)

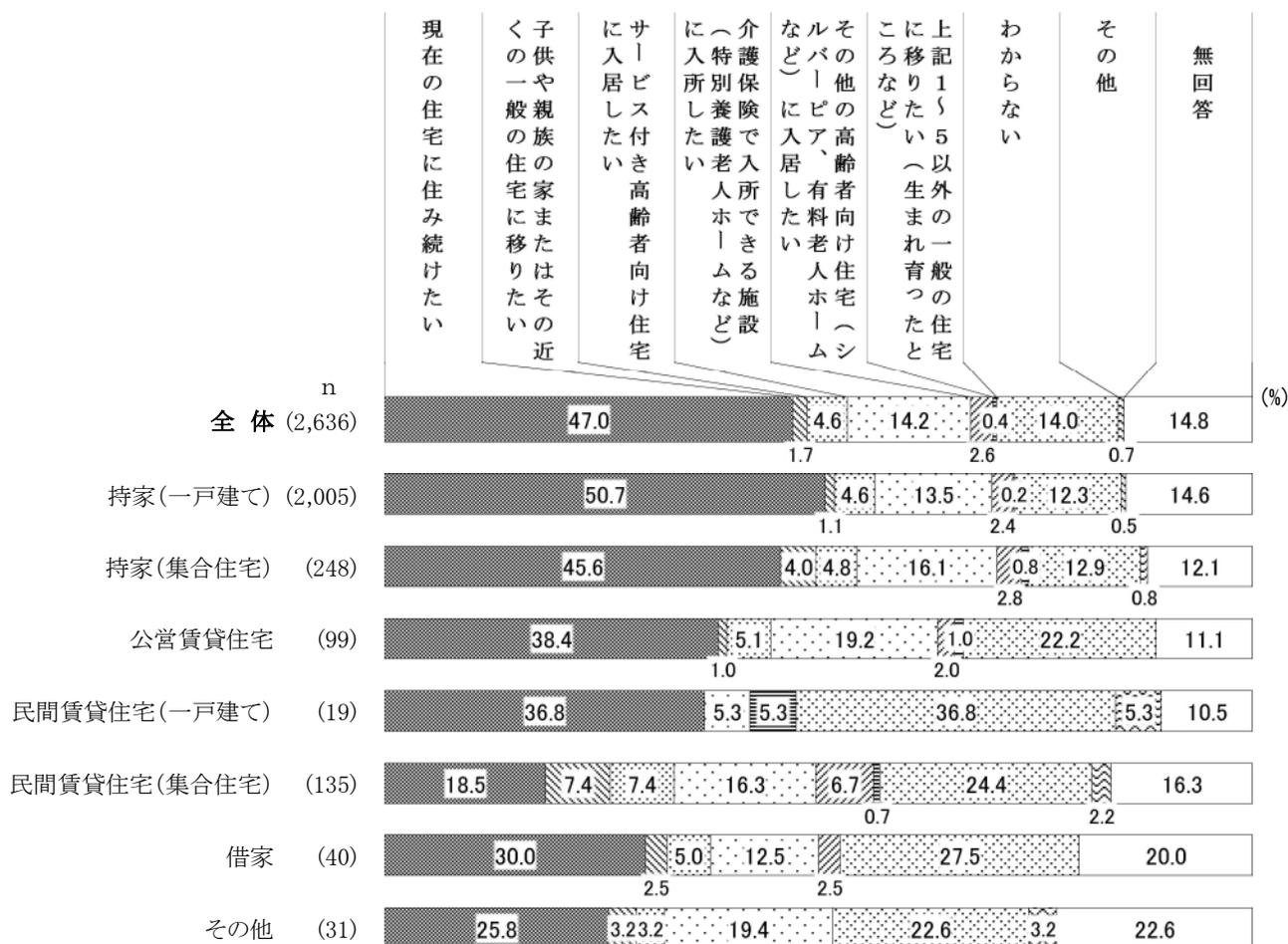
※現在、介護を受けている方は、今後の希望をお答えください。



介護が必要にならないうちの高齢期の住まいの希望は、市全体では「現在の住宅に住み続けたい」が47.0%で最も多い。

地区別では、どの地区も「現在の住宅に住み続けたい」が最も多く、第1地区が45.1%、第2地区が48.9%、第3地区が46.3%となっている。

○住居形態別



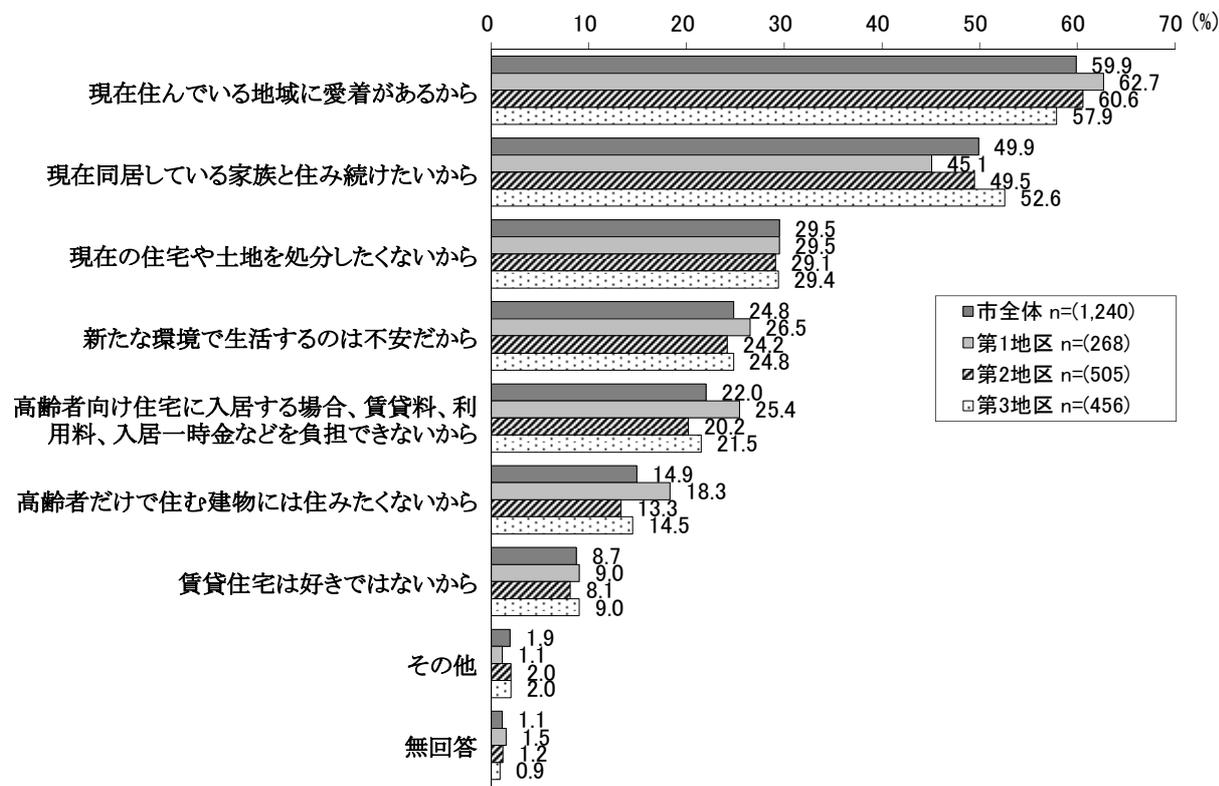
住居形態別では、「現在の住宅に住み続けたい」は、持家ほど多く、持家（一戸建て）では50.7%、持家（集合住宅）では45.6%、公営賃貸住宅では38.4%、民間賃貸住宅（一戸建て）では36.8%、民間賃貸住宅(集合住宅)では18.5%、借家では30.0%となっている。

(3-1) 現在の住宅に住み続けたい理由

上の設問で「1」を選んだ方にお聞きします。

問8 (3-1) あなたが現在の住宅に住み続けたい理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)



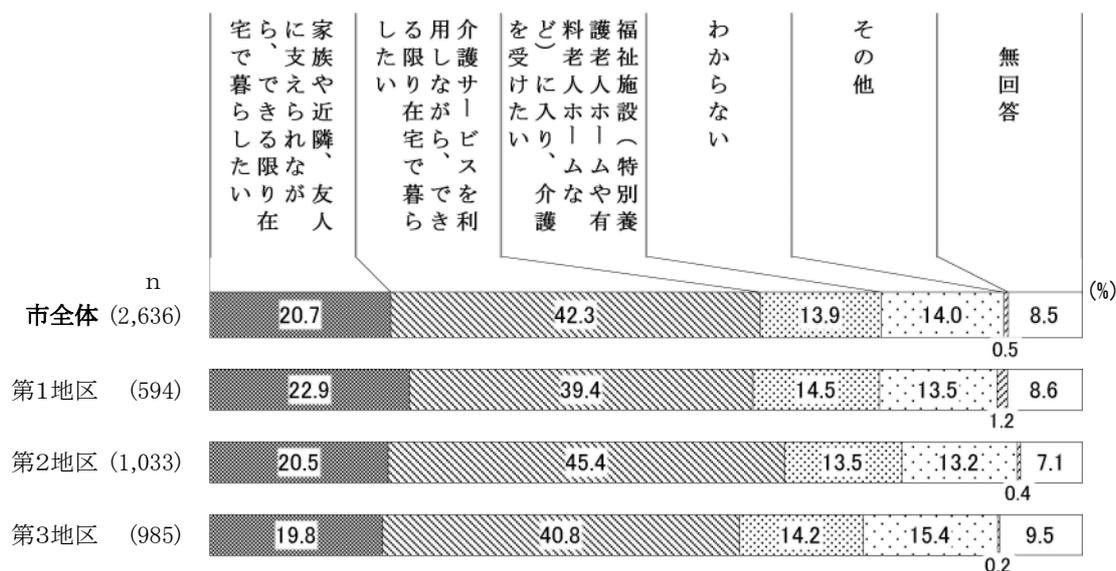
現在の住宅に住み続けたい理由は、市全体では「現在住んでいる地域に愛着があるから」が59.9%で最も多い。

地区別では、どの地区も「現在住んでいる地域に愛着があるから」が最も多く、第1地区が62.7%、第2地区が60.6%、第3地区が57.9%となっている。

(4) 介護についての希望

問8 (4) 介護について、あなたはどのような希望をお持ちですか。

介護を受けている方は、今後の介護の希望をお答えください。現在、介護を必要としていない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください。(〇は1つ)

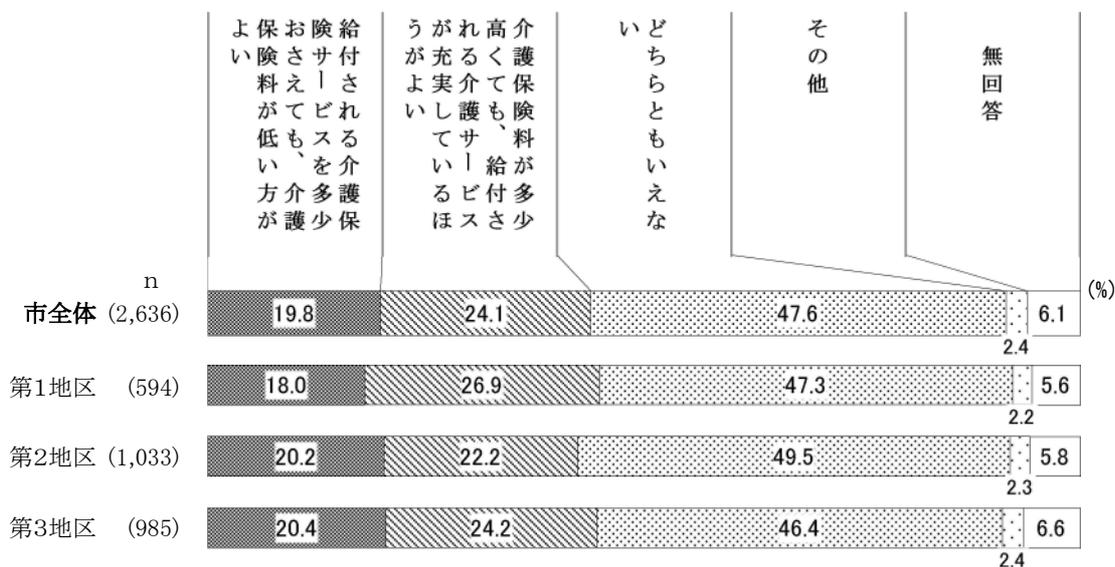


介護についての希望は、市全体では「介護サービスを利用しながら、出来る限り在宅で暮らしたい」が42.3%である。

地区別では、どの地区も「介護サービスを利用しながら、出来る限り在宅で暮らしたい」が最も多く、第1地区が39.4%、第2地区が45.4%、第3地区が40.8%となっている。

(5) 保険料と介護サービスのあり方についての考え

問8 (5) 青梅市では、65歳以上の方からいただいている介護保険料の基準月額が4,800円(平成27年度～平成29年度)です。この保険料と介護サービスのあり方について、あなたのお考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

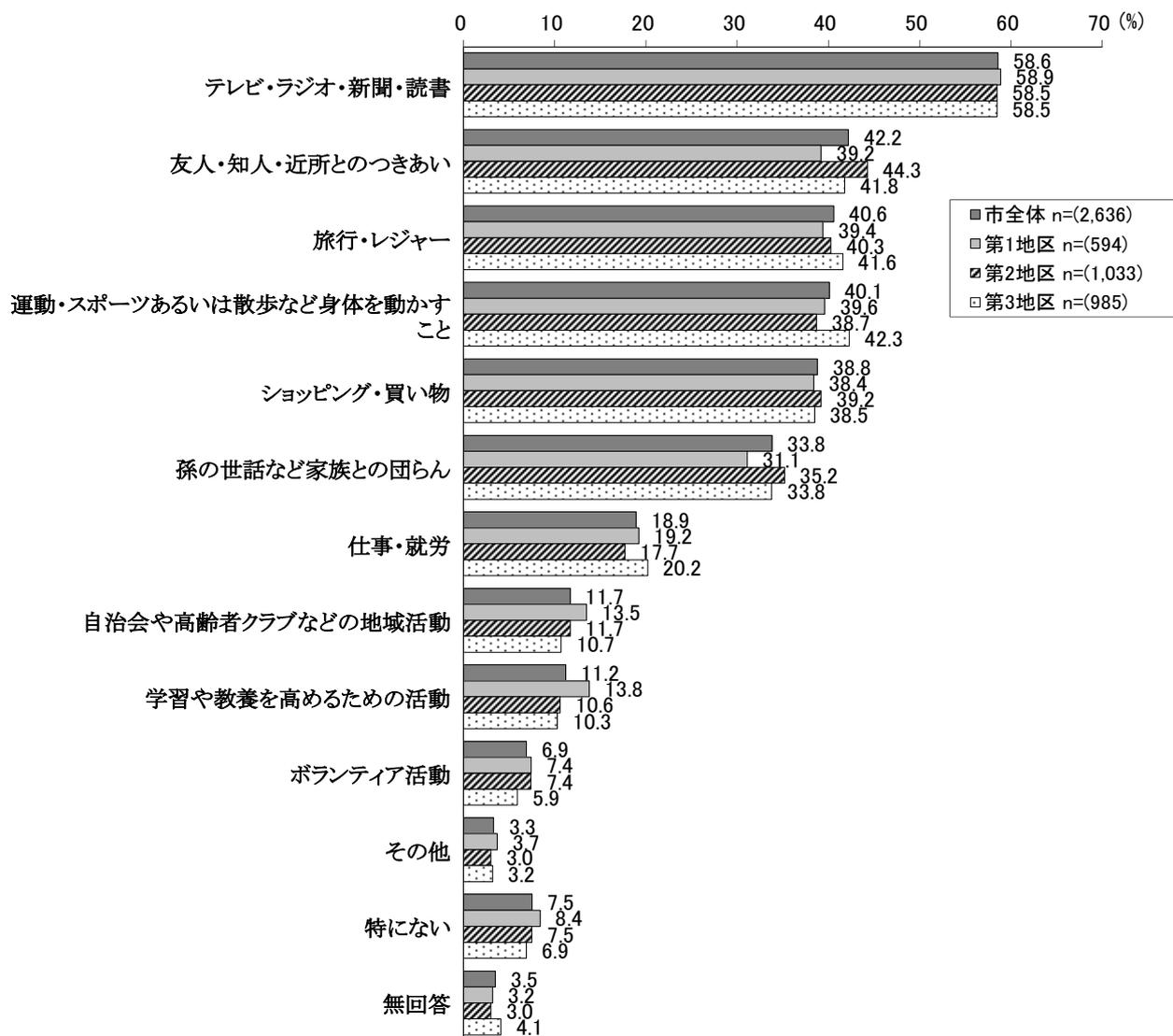


保険料と介護サービスのあり方についての考えは、市全体では「どちらともいえない」が47.6%で最も多い。

地区別では、どの地区も「どちらともいえない」が最も多く、第1地区が47.3%、第2地区が49.5%、第3地区が46.4%となっている。

(6) 充実感や生きがいを感じること

問8 (6) あなたは、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

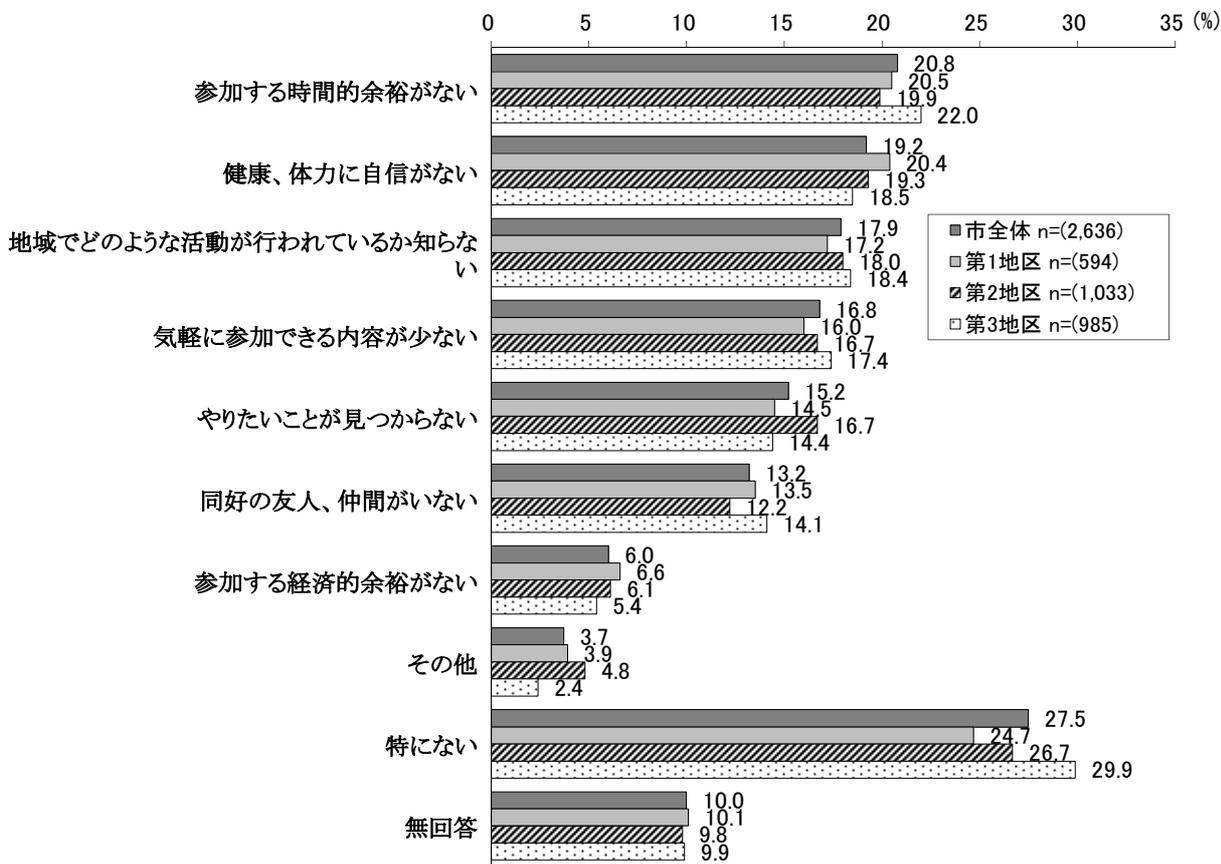


充実感や生きがいは、市全体では「テレビ・ラジオ・新聞・読書」が58.6%で最も多い。

地区別では、どの地区も「テレビ・ラジオ・新聞・読書」が最も多く、第1地区が58.9%、第2地区が58.5%、第3地区が58.%となっている。

(7) 地域の活動に参加する上での問題点

問8 (7) あなたが、地域の活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。(〇は3つまで)

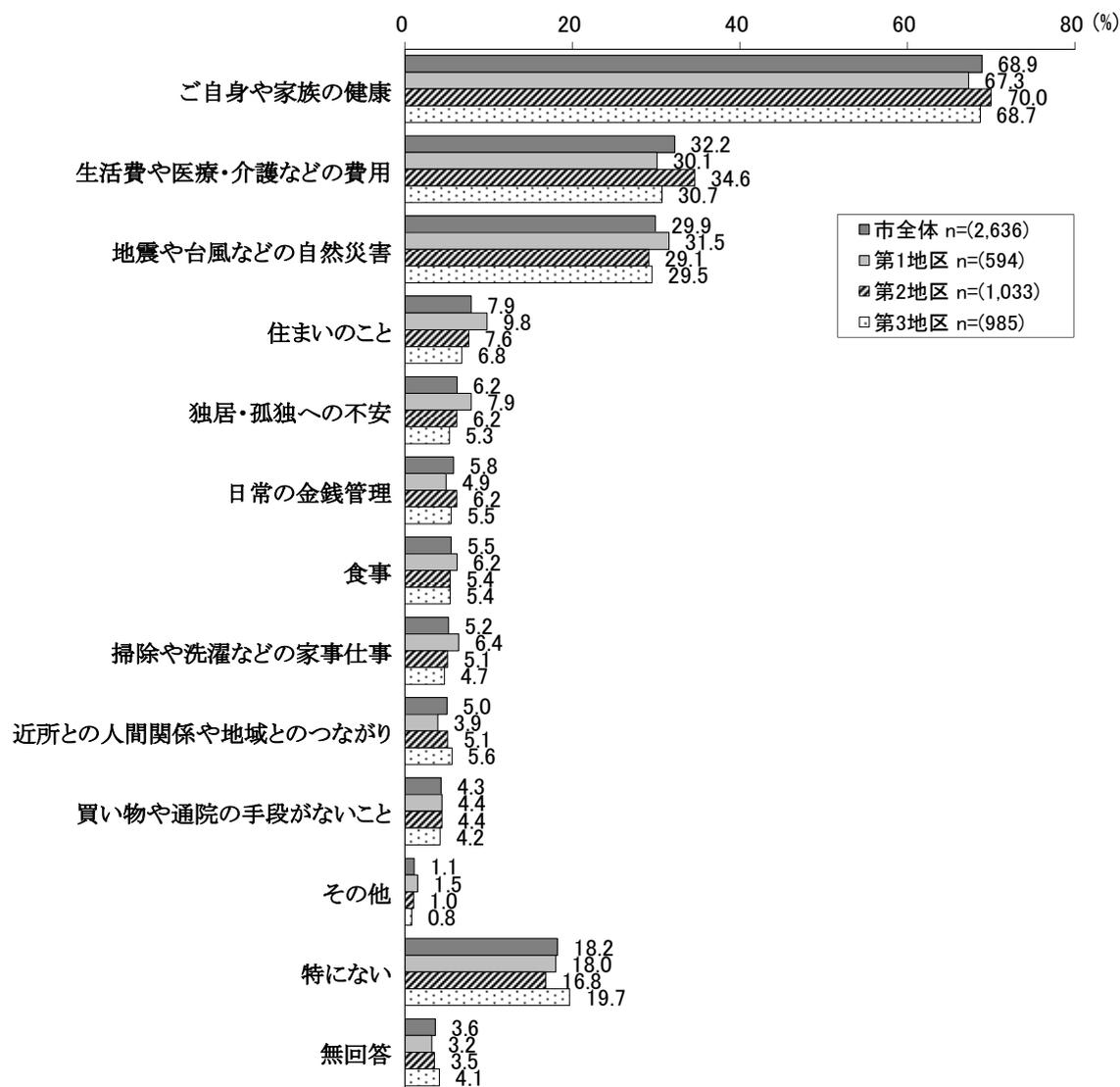


地域の活動に参加する上での問題点として感じているものは、市全体では「参加する時間的余裕がない」が20.8%で最も多い。一方、「特にない」は27.5%である。

地区別では、どの地区も「参加する時間的余裕がない」が最も多く、第1地区が20.5%、第2地区が19.9%、第3地区が22.0%となっている。

(8) 日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすること

問8 (8) あなたは、日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすることがありますか。
(○は3つまで)

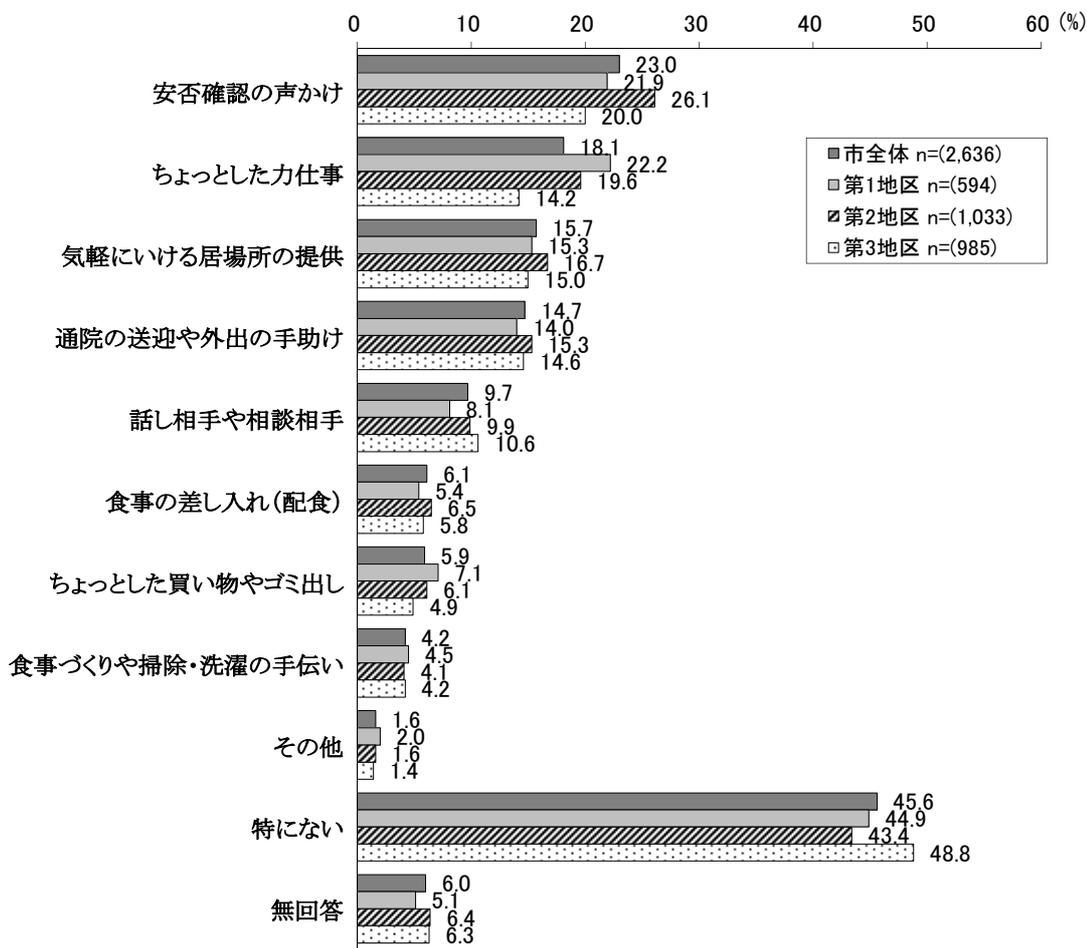


日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすることは、市全体では「ご自身や家族の健康」が68.9%で最も多い。

地区別では、どの地区も「ご自身や家族の健康」が最も多く、第1地区が67.3%、第2地区が70.0%、第3地区が68.7%となっている。

(9) 現在の住居で生活を続けていく上であれば助かると思うこと

問8 (9) 現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域でどのような手助けがあれば助かると思いますか。(〇は3つまで)



介現在の住居で生活を続けていく上であれば助かると思うことは、市全体では「安否確認の声かけ」が23.0%で最も多い。一方、「特にない」は45.6%である。

地区別では、第1地区は「ちょっとした力仕事」(22.2%)、第2地区は「安否確認の声かけ」(26.1%)、第3地区は「安否確認の声かけ」(20.0%)が最も多い。

○年齢別、家族構成別、健康状態別

(件、%)

		調査数	安否確認の声かけ	ちよつとした力仕事	気軽にいける居場所の提供	通院の送迎や外出の手助け	話し相手や相談相手	食事の差し入れ（配食）	ちよつとした買い物やゴミ出し	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	特にない	その他	無回答
全体		2,636	23.0	18.1	15.7	14.7	9.7	6.1	5.9	4.2	45.6	1.6	6.0
年齢別	65歳～74歳	1,550	21.0	15.8	15.9	11.9	9.2	5.7	4.9	3.5	50.6	1.7	4.6
	75歳以上	1,062	25.5	21.6	15.4	18.8	10.5	6.4	7.3	5.3	38.7	1.6	8.1
家族構成別	1人暮らし	422	28.2	31.5	19.4	12.6	11.6	7.6	6.6	5.7	34.6	1.9	4.7
	夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	1,000	25.1	17.1	16.6	16.1	8.6	6.1	6.0	3.2	44.4	1.8	6.2
	夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	134	23.9	14.2	14.2	14.9	13.4	3.7	6.0	9.7	47.0	0.7	3.7
	息子・娘との2世帯	618	18.6	15.2	15.7	14.9	10.0	6.0	4.9	4.4	50.8	1.8	6.6
	その他	374	19.3	12.3	11.0	13.6	7.5	5.3	5.6	2.9	54.0	0.8	4.8
健康状態別	とてもよい	356	22.5	13.8	13.2	8.7	7.6	4.2	4.2	1.4	55.3	2.0	5.3
	まあよい	1,763	22.9	17.6	15.4	13.0	9.5	5.5	5.6	3.7	47.7	1.6	5.4
	あまりよくない	400	26.8	23.8	20.3	25.0	13.0	10.0	7.5	9.0	30.0	1.8	6.5
	よくない	63	15.9	17.5	7.9	28.6	12.7	11.1	15.9	9.5	38.1	-	6.3

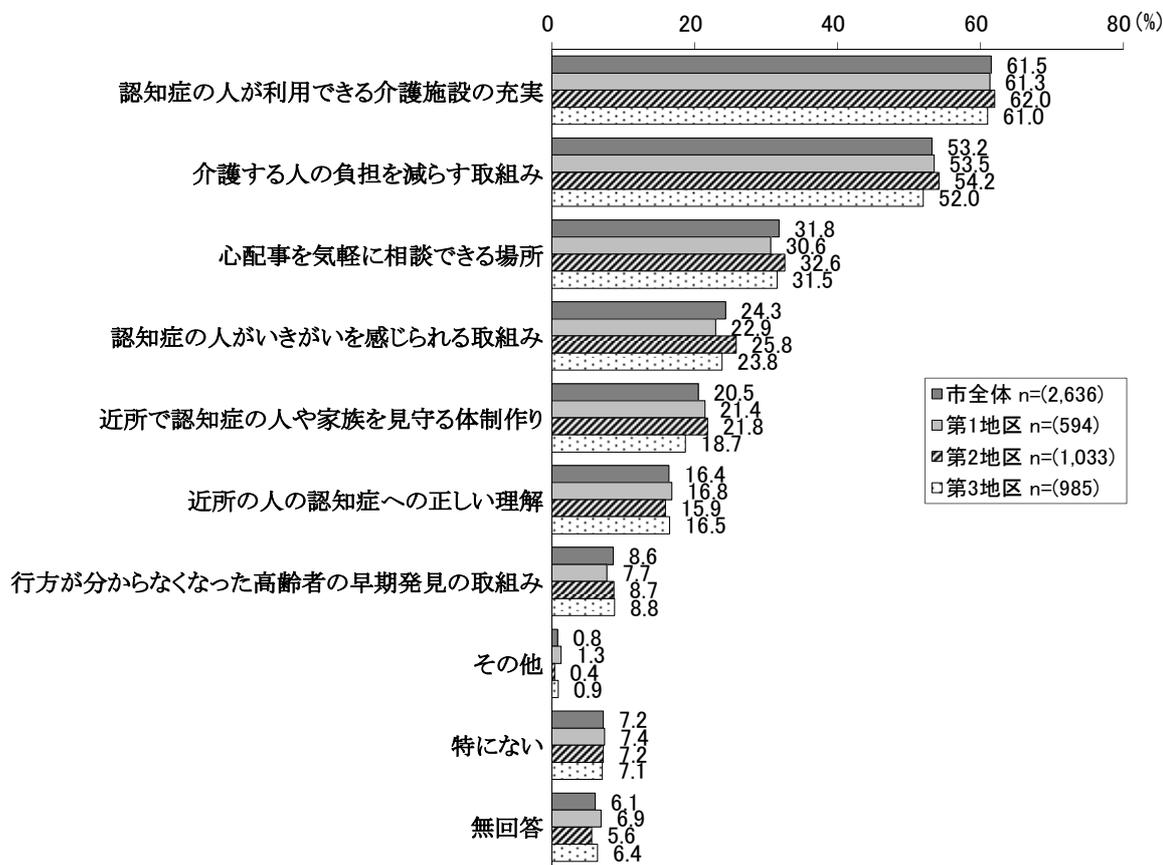
年齢別では、「特にない」は、65歳～74歳で50.6%、75歳以上で38.7%となっている。

家族構成別では、「安否確認の声かけ」は、1人暮らしでは28.2%、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では25.1%、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では23.9%、息子・娘との2世帯では18.6%となっている。また、「特にない」は、1人暮らしでは34.6%、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では44.4%、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では47.0%、息子・娘との2世帯では50.8%となっている。

健康状態別では、「特にない」は、健康状態がとてもよい人では55.3%、まあよい人では47.7%、あまりよくない人では30.0%、よくない人では38.1%となっている。

(10) 自身や家族が認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なもの

問8 (10) あなた自身や家族が認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために、必要なものは何だと思われますか。(〇は3つまで)



自身や家族が認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なものは、市全体では「認知症の人が利用できる介護施設の充実」が61.5%で最も多い。

地区別では、どの地区も「認知症の人が利用できる介護施設の充実」が最も多く、第1地区が61.3%、第2地区が62.0%、第3地区が61.0%となっている。

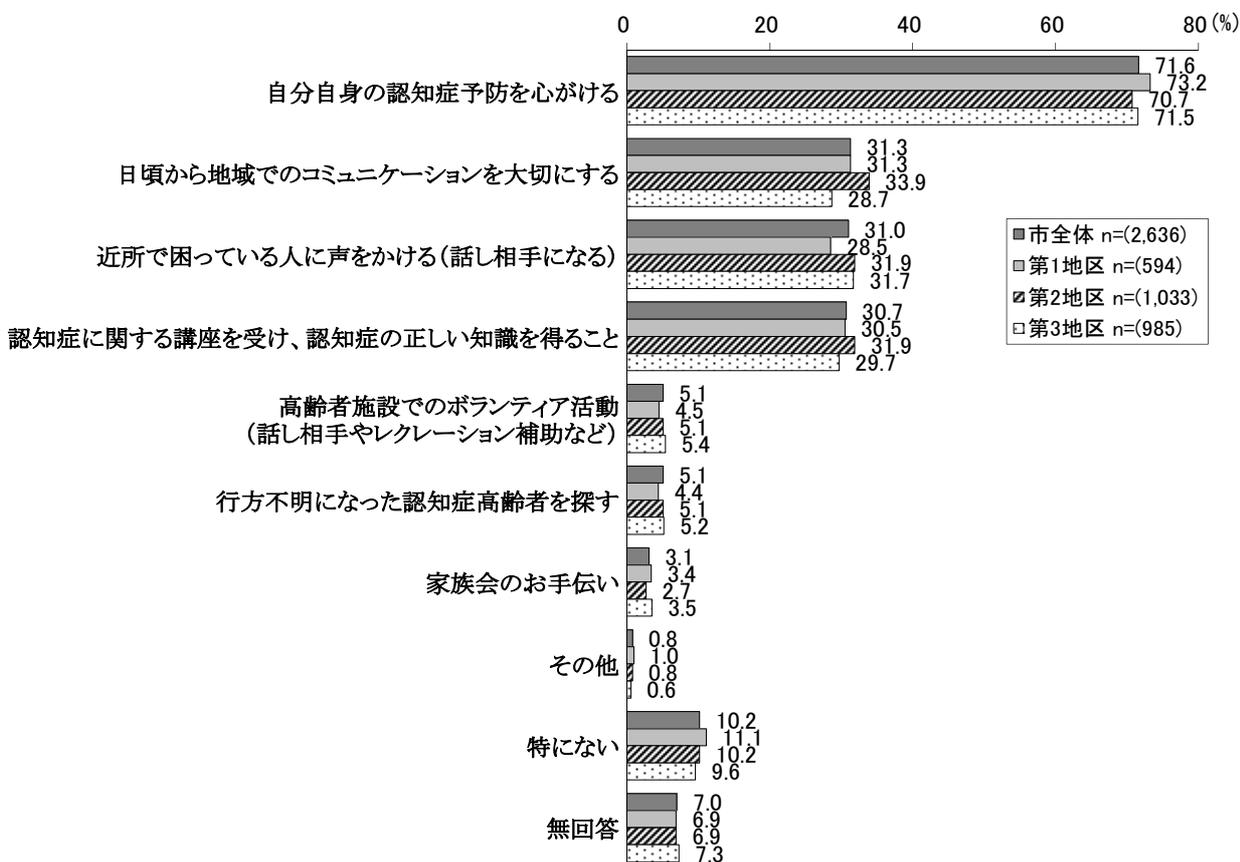
○家族構成別

		(件、%)											
		調査数	認知症の 人 が 利用 でき る 介 護 施 設	介 護 す る 人 の 負 担 を 減 ら す 取 組 み	心 配 事 を 気 軽 に 相 談 で き る 場 所	認 知 症 の 人 が い き が い を 感 じ ら れ る 取 組 み	近 所 で 認 知 症 の 人 や 家 族 を 見 守 る 体 制 作 り	近 所 の 人 の 認 知 症 へ の 正 し い 理 解	早 期 発 見 の 取 組 み	行 方 が 分 か ら な く な っ た 高 齢 者 の	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体		2,636	61.5	53.2	31.8	24.3	20.5	16.4	8.6	7.2	0.8	6.1	
家族 構 成 別	1人暮らし	422	54.3	39.3	33.9	24.6	17.5	17.3	6.4	11.8	1.4	8.3	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,000	64.7	56.7	32.4	25.5	23.7	17.1	10.2	5.5	0.2	4.7	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	134	61.9	50.0	32.8	20.1	18.7	14.9	4.5	6.7	1.5	5.2	
	息子・娘との2世帯	618	60.7	57.6	29.0	24.4	20.2	15.4	9.1	7.0	0.5	6.8	
	その他	374	65.2	59.9	32.4	24.1	17.6	14.7	7.2	6.1	1.3	4.0	

家族構成別では、「介護する人の負担を減らす取組み」は、1人暮らしでは39.3%、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では56.7%、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では50.0%、息子・娘との2世帯では57.6%となっている。

(11) 認知症の人やその家族のためにできそうなこと

問8 (11) 認知症の人やその家族のために、地域においてあなたができそうなことは何ですか。(〇は3つまで)

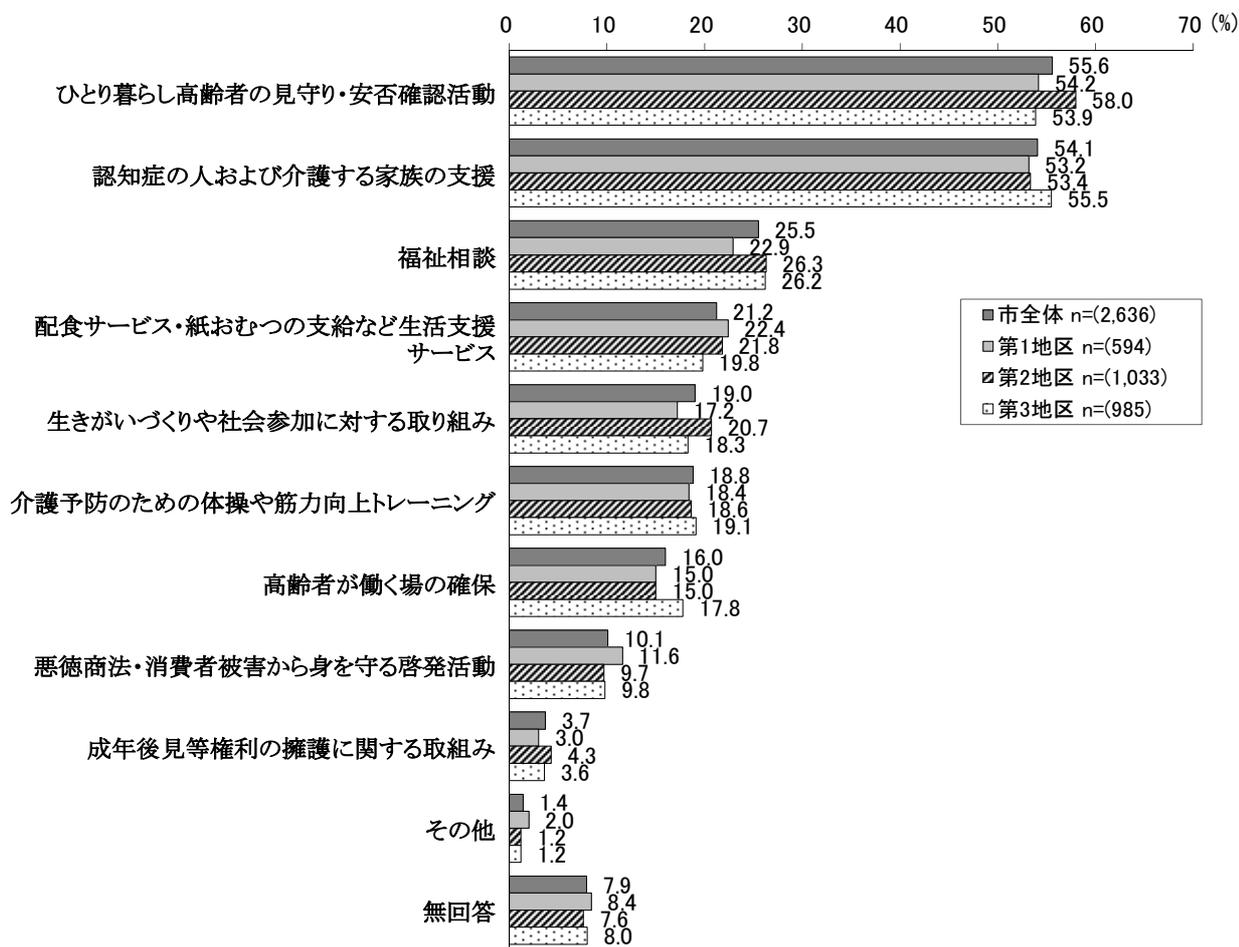


認知症の人やその家族のためにできそうなことは、市全体では「自分自身の認知症予防を心がける」が71.6%で最も多い。

地区別では、どの地区も「自分自身の認知症予防を心がける」が最も多く、第1地区が73.2%、第2地区が70.7%、第3地区が71.5%となっている。

(12) 市が充実させるべきと思う高齢者施策

問8 (12) 市が充実させるべきと思う高齢者施策は次のうちどれですか。(〇は3つまで)



市が充実させるべきと思う高齢者施策は、市全体では「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」が55.6%で最も多い。

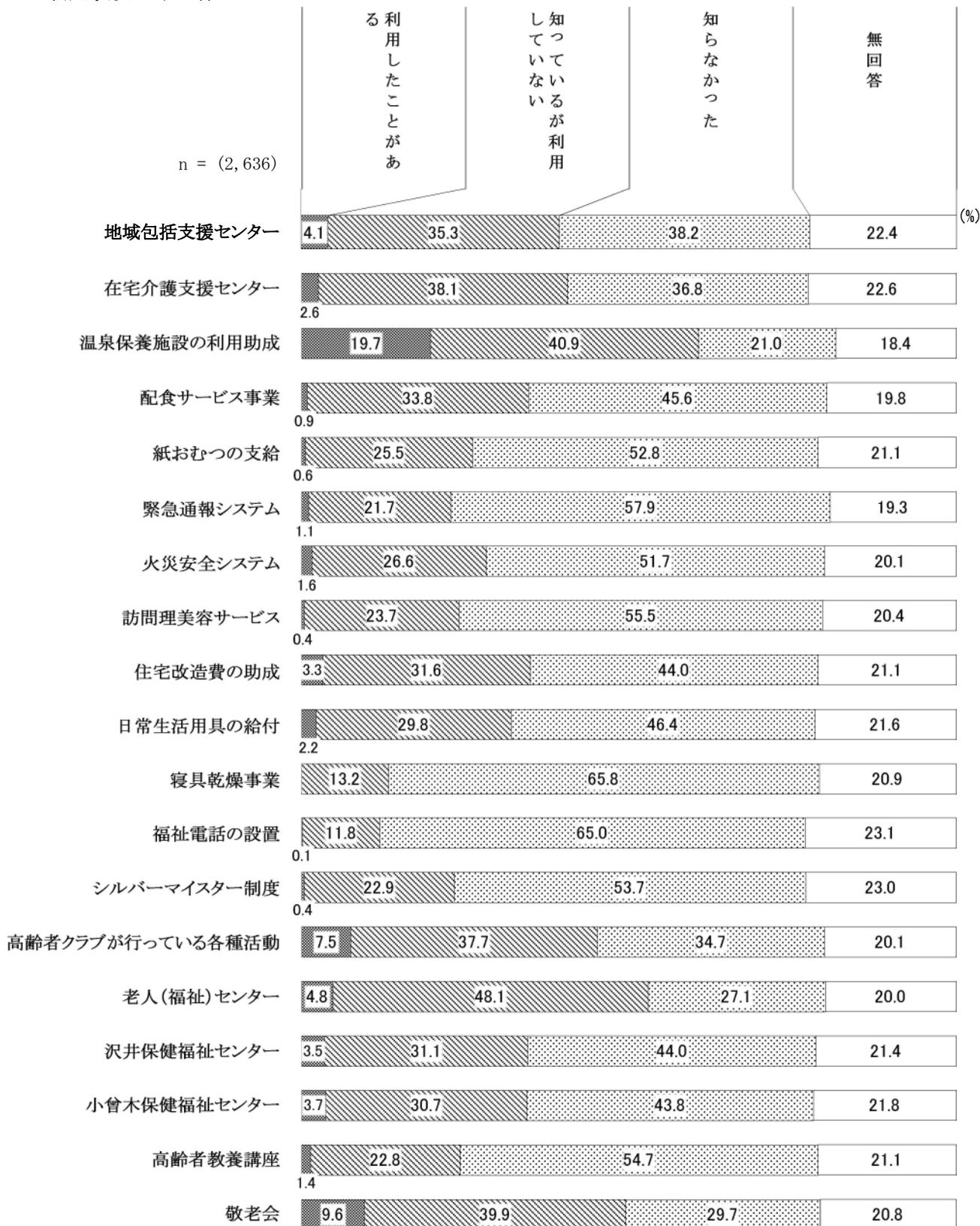
地区別では、第1地区と第2地区は「ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動」がそれぞれ54.2%、58.0%で最も多く、第3地区は「認知症の人および介護する家族の支援」(55.5%)が最も多い。

(13) 事業の利用状況と今後の利用希望

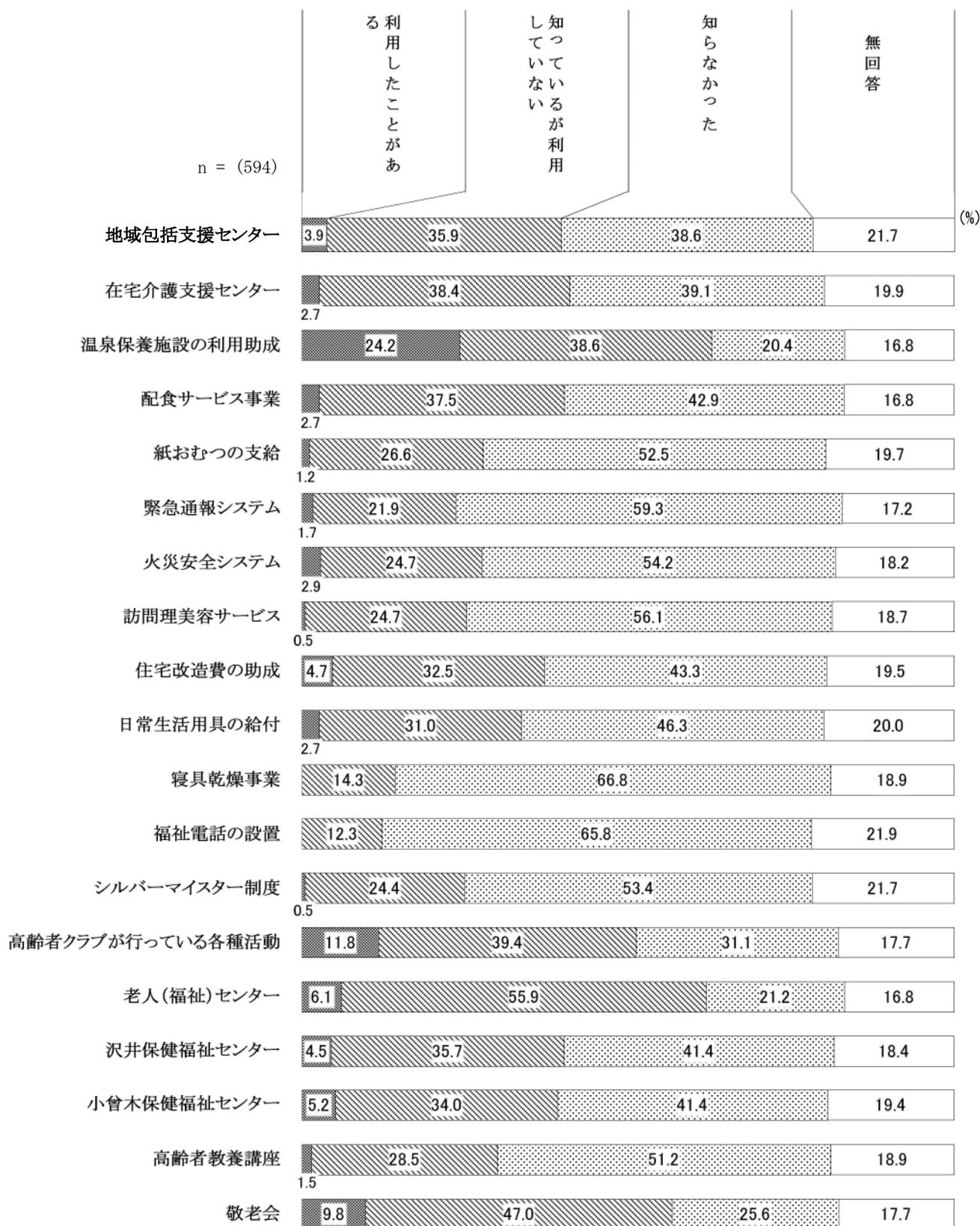
問8 (13) 各事業ごとに、利用状況と今後の利用希望について、該当するものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

○利用状況 市全体

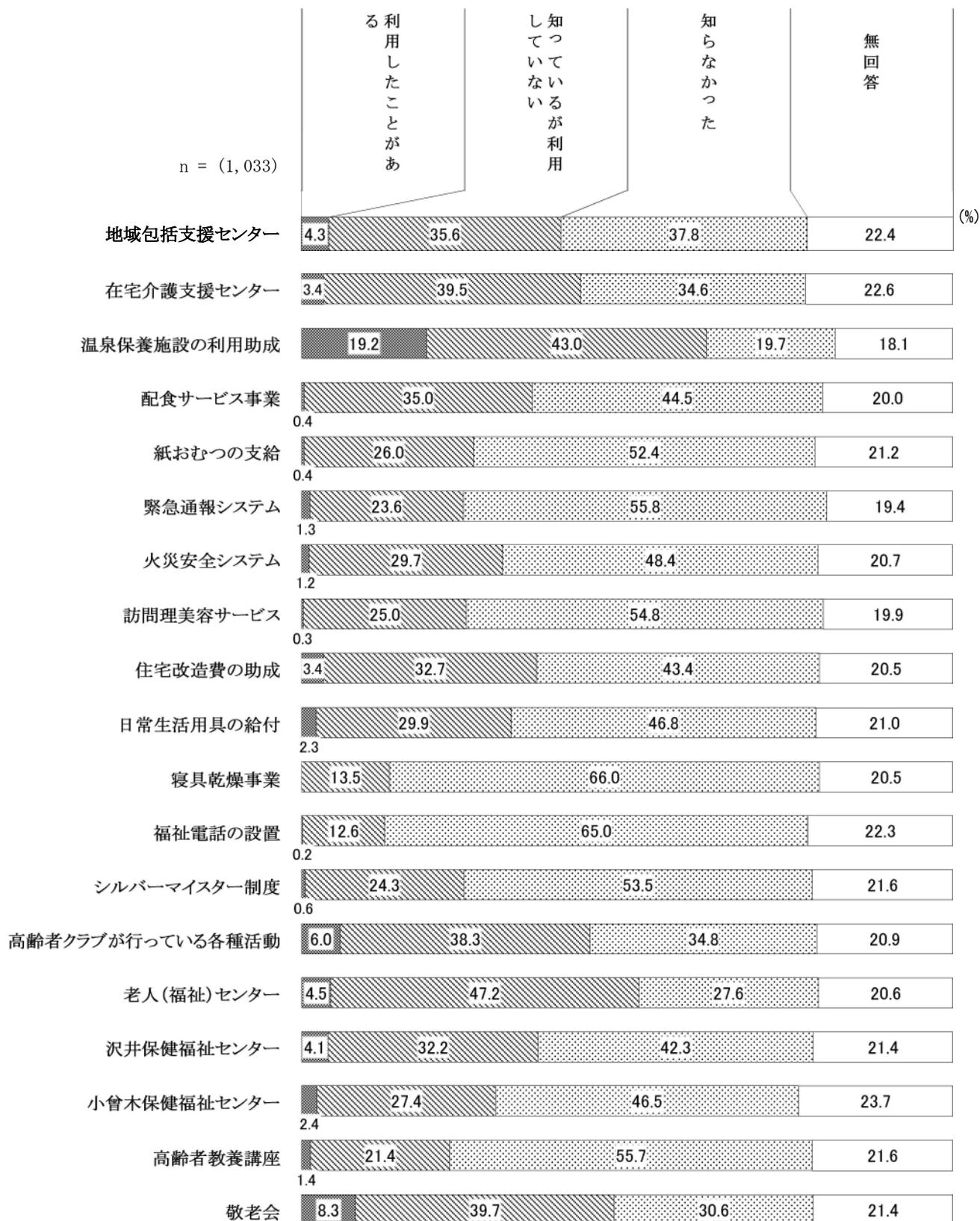
n = (2,636)



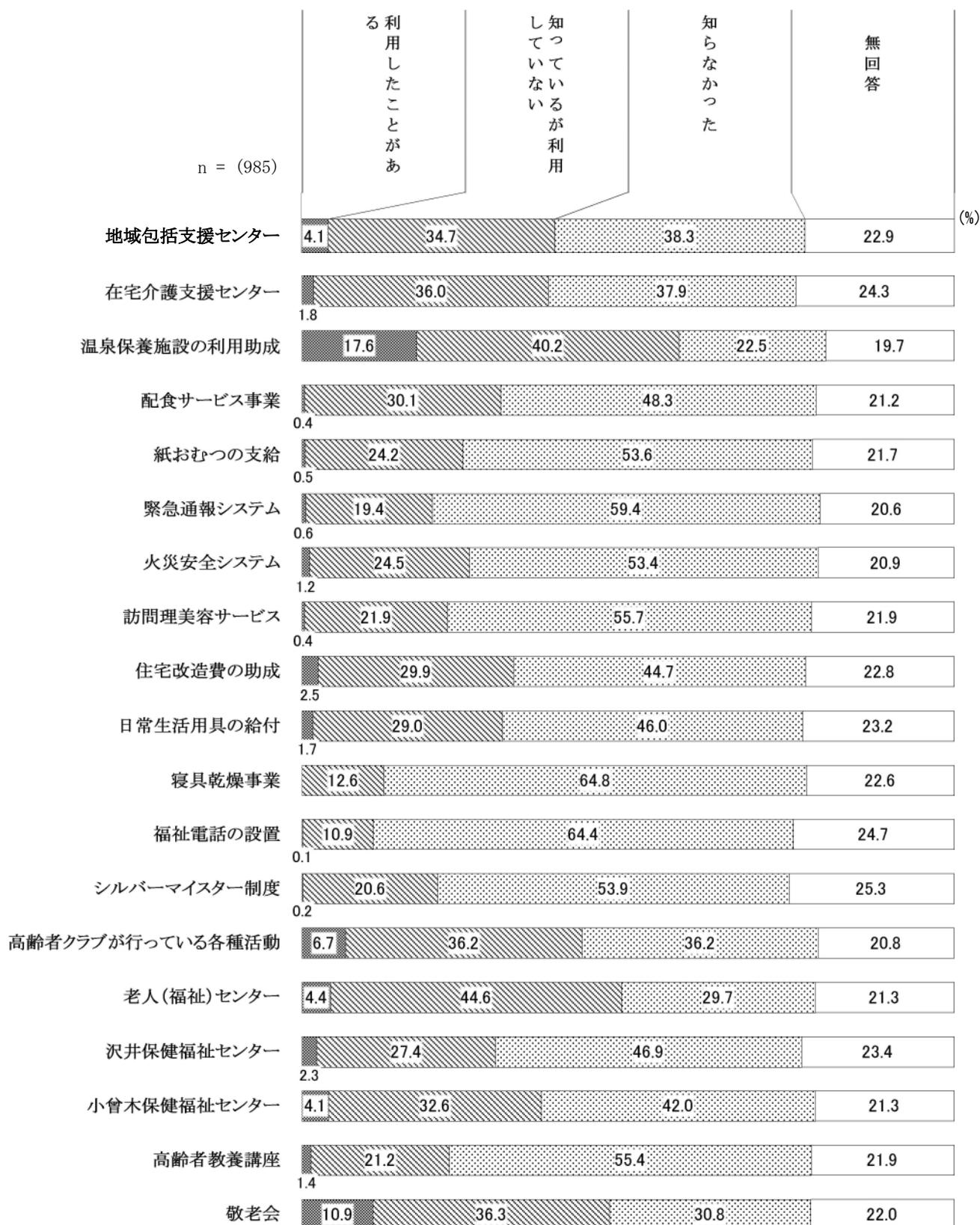
○利用状況 第1地区



○利用状況 第2地区



○利用状況 第3地区



○各事業ごとの利用状況について

市全体では、「利用したことがある」割合は、【温泉保養地の利用助成】が19.7%で最も多く、「知っているが利用していない」割合は、【老人(福祉)センター】が48.1%で最も多い。一方、「知らなかった」割合は、【寝具乾燥事業】が65.8%で最も多い。

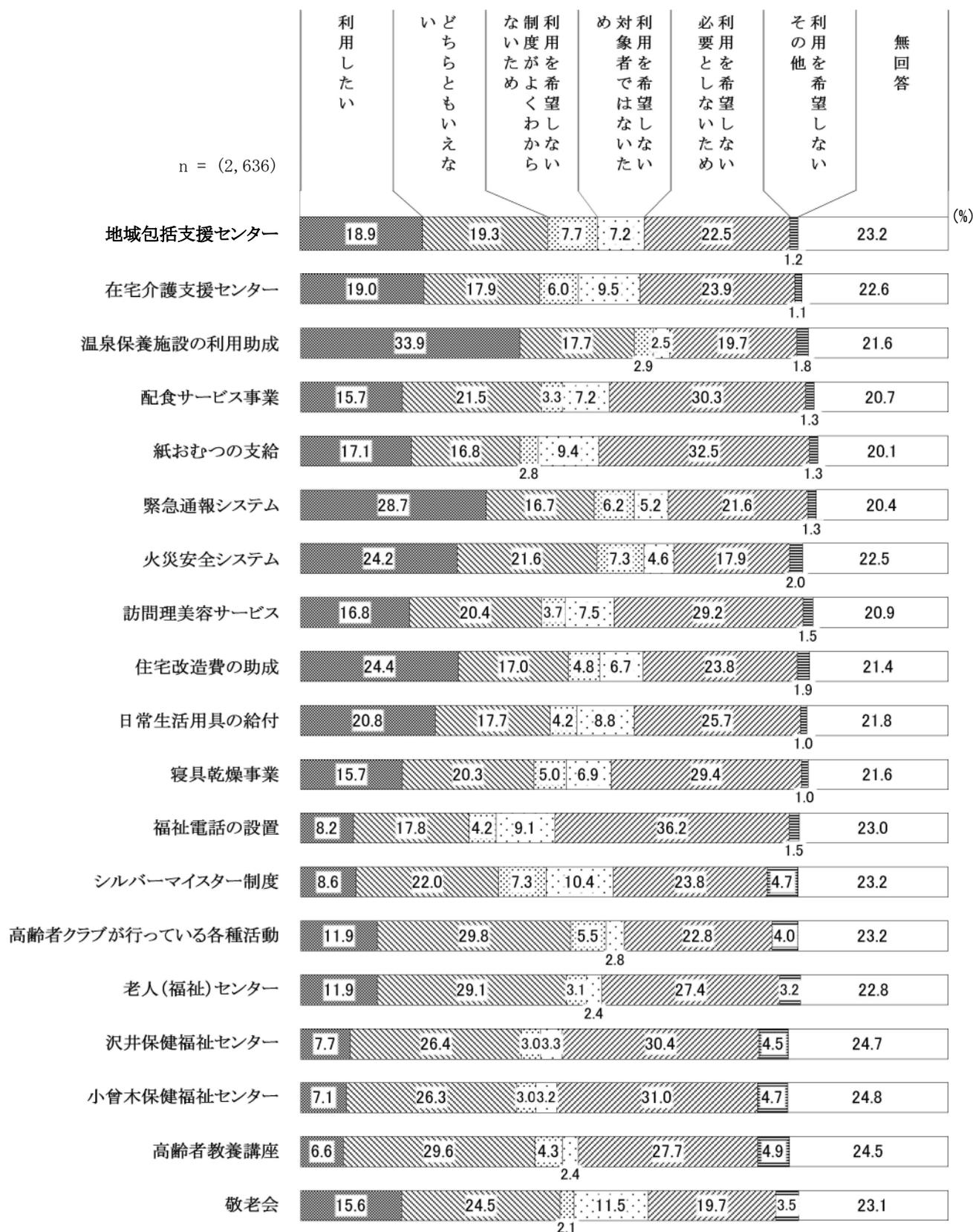
第1地区では、「利用したことがある」割合は、【温泉保養地の利用助成】が24.2%で最も多く、「知っているが利用していない」割合は、【老人(福祉)センター】が55.9%で最も多い。一方、「知らなかった」割合は、【寝具乾燥事業】が66.8%で最も多い。

第2地区では、「利用したことがある」割合は、【温泉保養地の利用助成】が19.2%で最も多く、「知っているが利用していない」割合は、【老人(福祉)センター】が47.2%で最も多い。一方、「知らなかった」割合は、【寝具乾燥事業】が66.0%で最も多い。

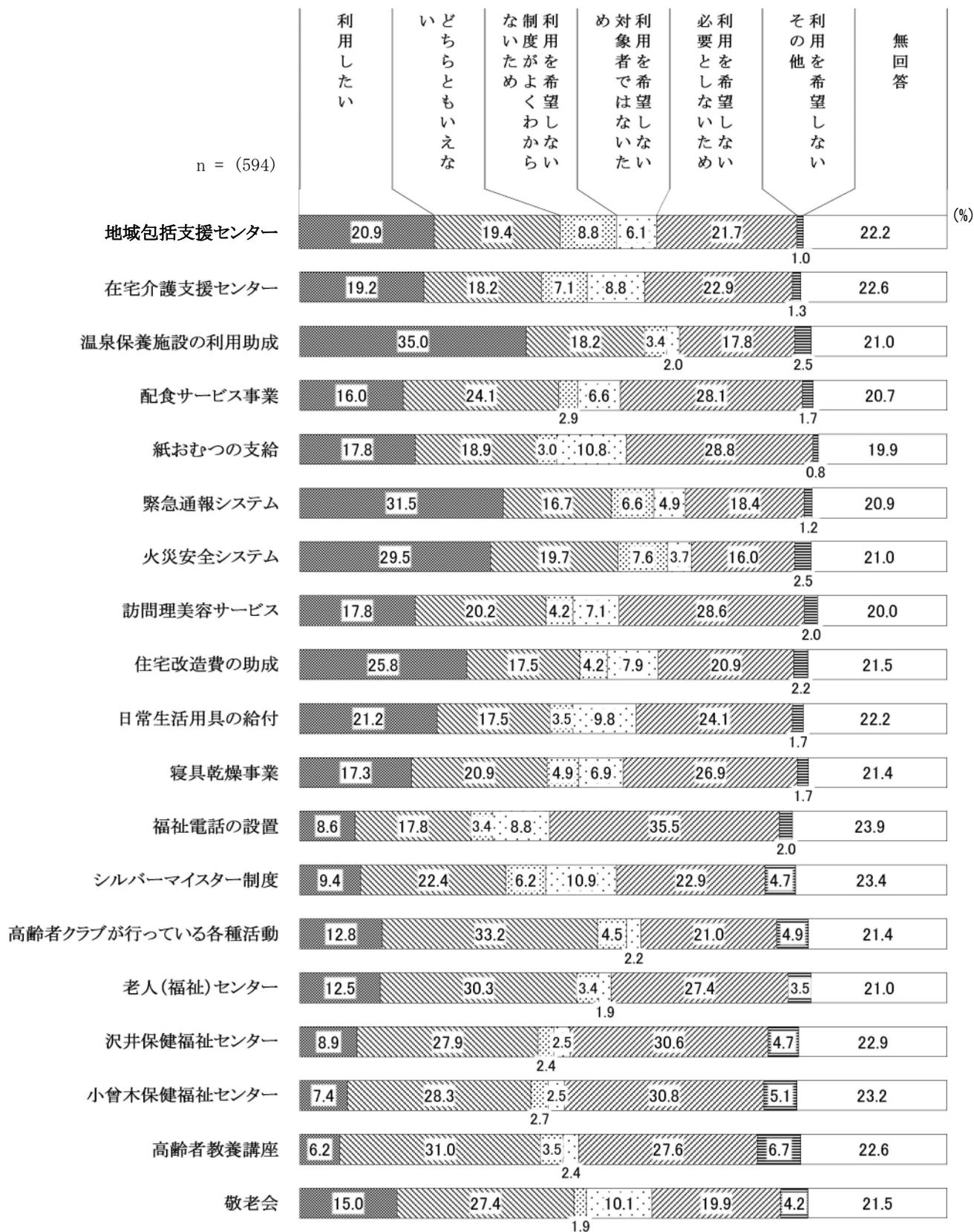
第3地区では、「利用したことがある」割合は、【温泉保養地の利用助成】が17.6%で最も多く、「知っているが利用していない」割合は、【老人(福祉)センター】が44.6%で最も多い。一方、「知らなかった」割合は、【寝具乾燥事業】が64.8%で最も多い。

○利用希望 市全体

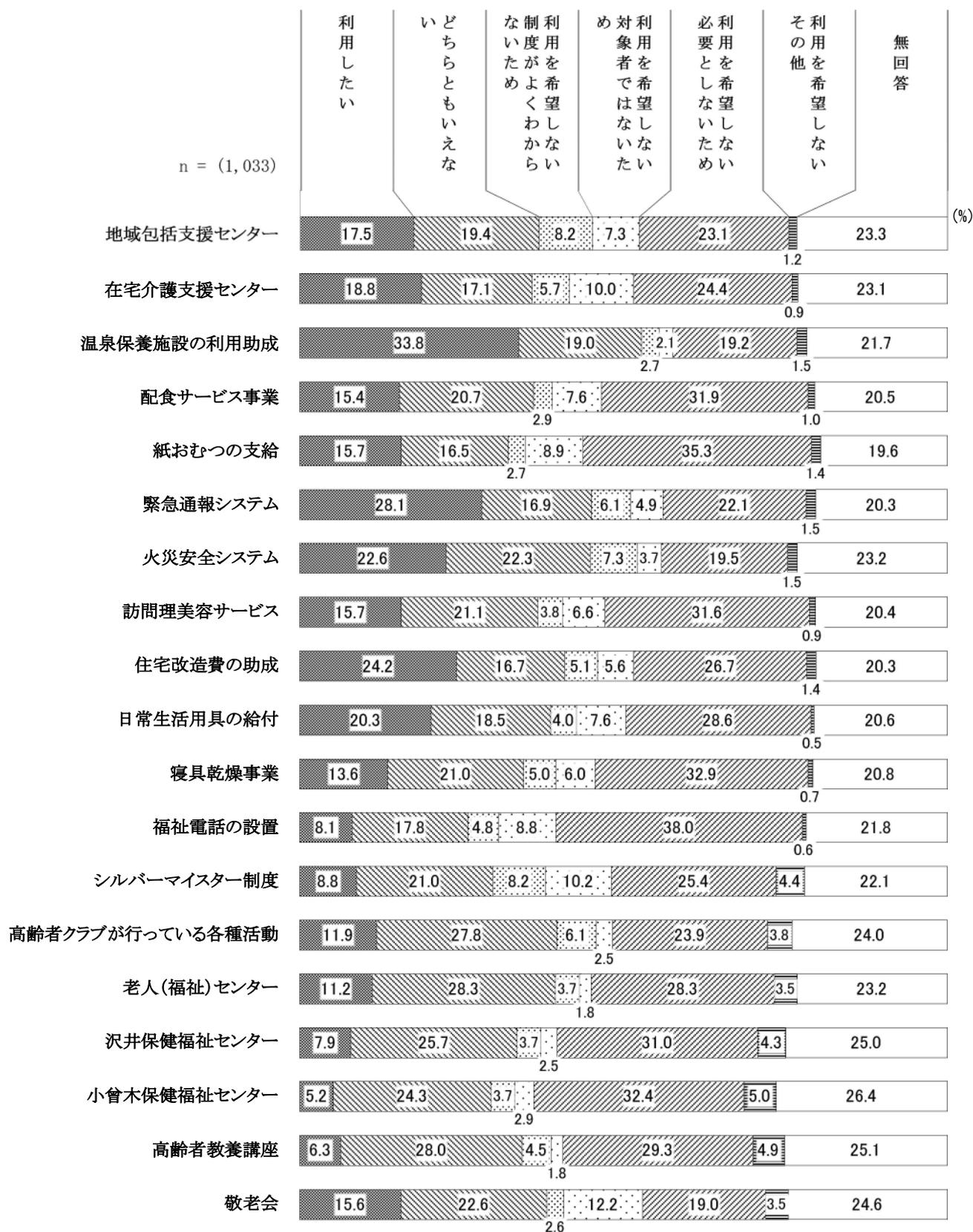
n = (2,636)



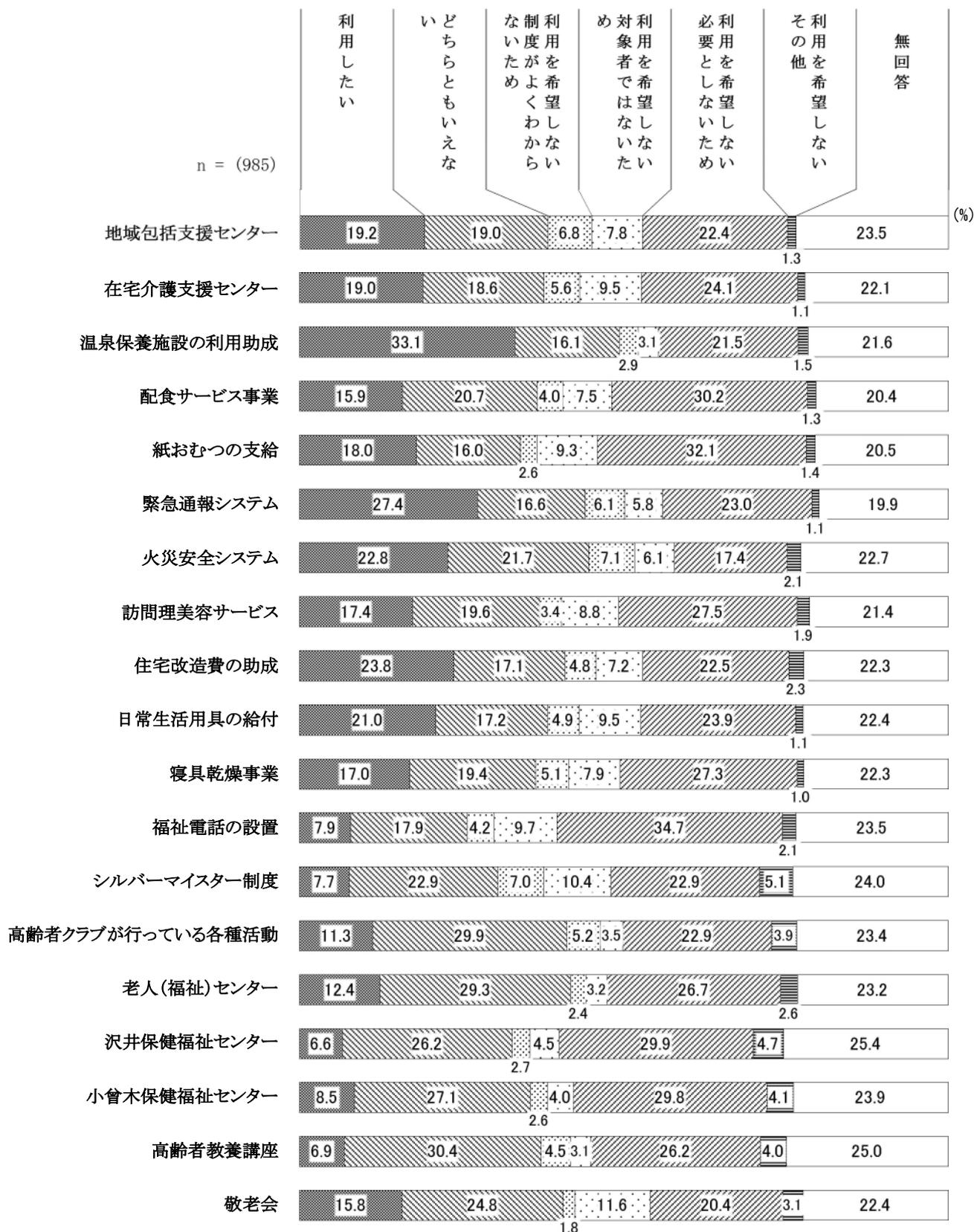
○利用希望 第1地区



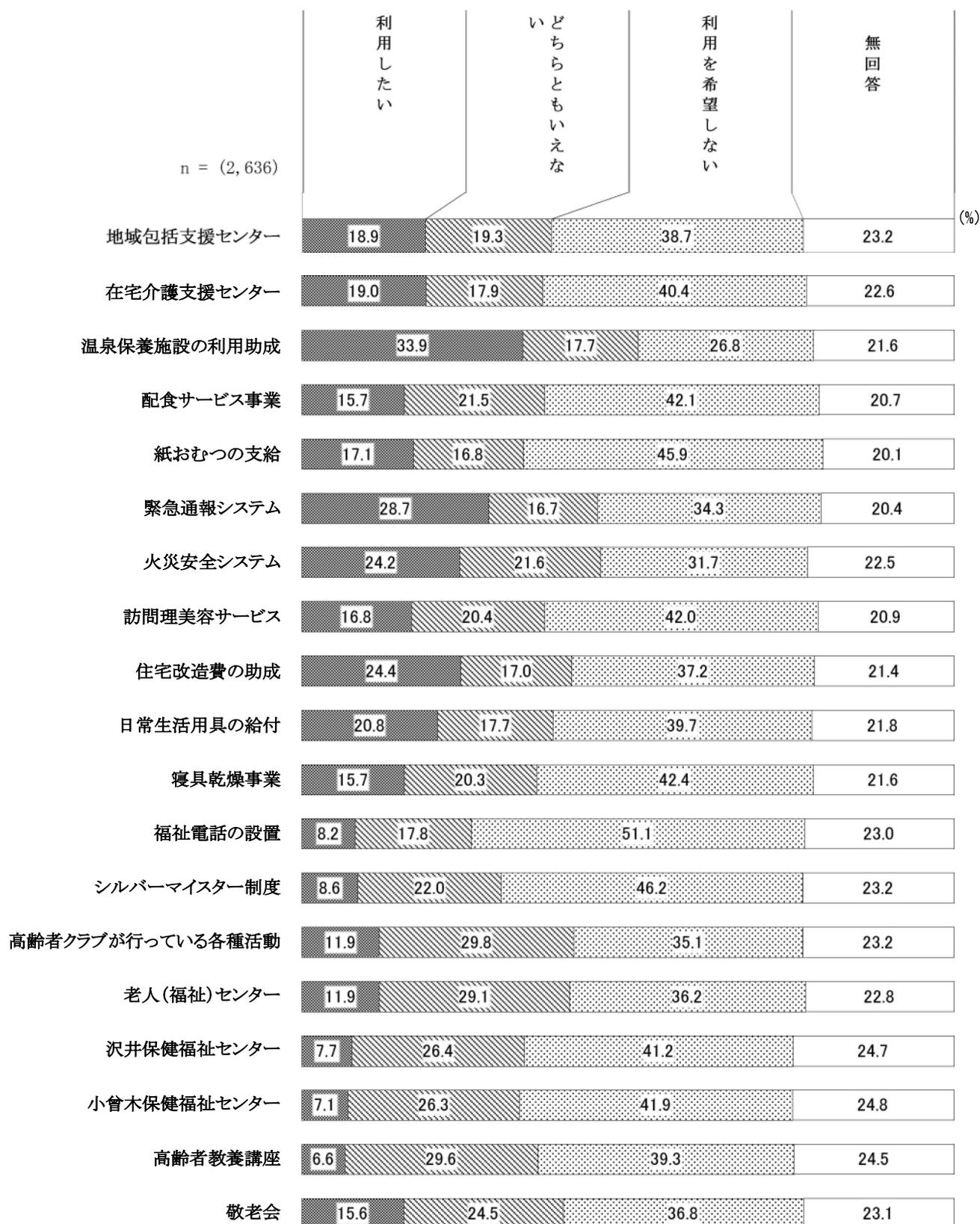
○利用希望 第2地区



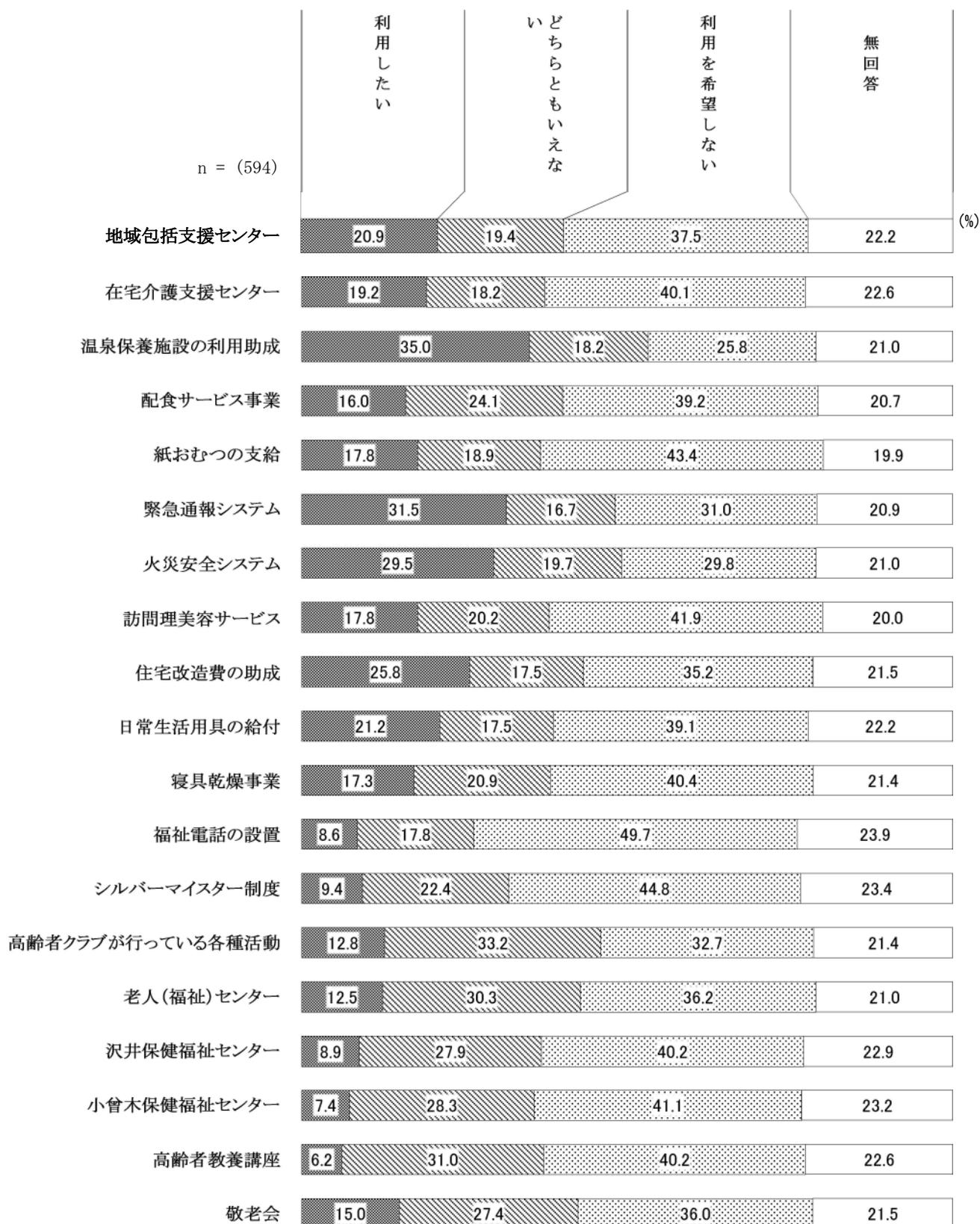
○利用希望 第3地区



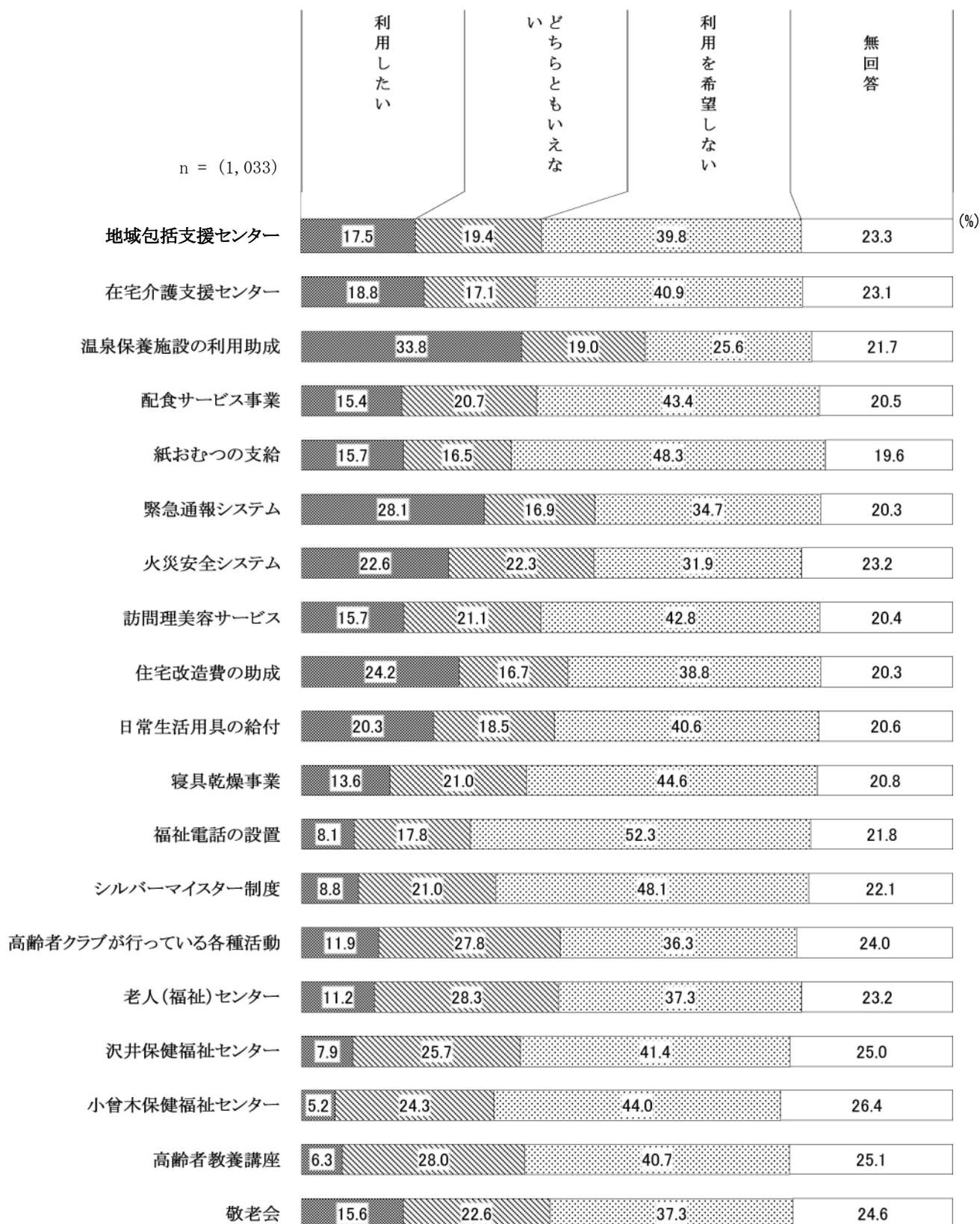
○利用希望（「利用しない」理由を統合した集計） 市全体



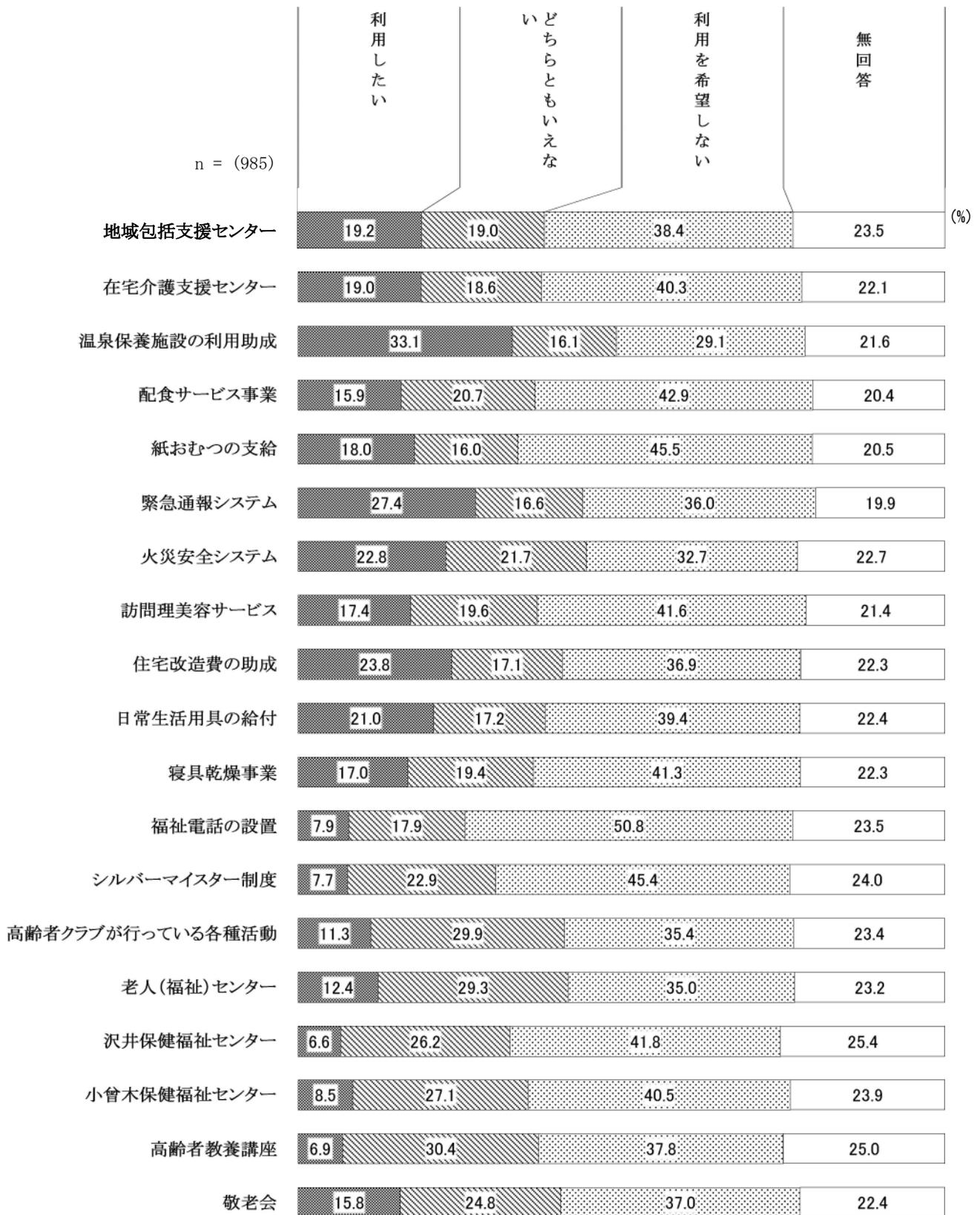
○利用希望（「利用しない」理由を統合した集計） 第1地区



○利用希望（「利用しない」理由を統合した集計） 第2地区



○利用希望（「利用しない」理由を統合した集計） 第3地区



○各事業ごとの利用希望について

市全体では、「利用したい」割合は、【温泉保養地の利用助成】が33.9%で最も多く、次いで【緊急通報システム】(28.7%)、【住宅改造費の助成】(24.4%)、【火災安全システム】(24.2%)、【日常生活用具の給付】(20.8%)の順となっている。

第1地区では、「利用したい」割合は、【温泉保養地の利用助成】が35.0%で最も多く、次いで【緊急通報システム】(31.5%)、【火災安全システム】(29.5%)、【住宅改造費の助成】(25.8%)、【日常生活用具の給付】(21.2%)の順となっている。

第2地区では、「利用したい」割合は、【温泉保養地の利用助成】が33.8%で最も多く、次いで【緊急通報システム】(28.1%)、【住宅改造費の助成】(24.2%)、【火災安全システム】(22.6%)、【日常生活用具の給付】(20.3%)の順となっている。

第3地区では、「利用したい」割合は、【温泉保養地の利用助成】が33.1%で最も多く、次いで【緊急通報システム】(27.4%)、【住宅改造費の助成】(23.8%)、【火災安全システム】(22.8%)、【日常生活用具の給付】(21.0%)の順となっている。

(14) 自由意見

問8 (14) 今後の青梅市の高齢者施策についてのご意見等があれば、ご自由にご記入ください。

青梅市の高齢者施策について自由に意見等を募ると147人の方から意見が寄せられた。

記入内容	件数
高齢者施策について	25
交通機関の充実について	23
アンケートについて	20
サービスについて	16
健康・医療体制について	15
介護施設について	13
地域社会について	12
情報提供について	10
運動・娯楽施設等の充実について	10
介護予防・認知症予防について	9
金銭面の負担について	7

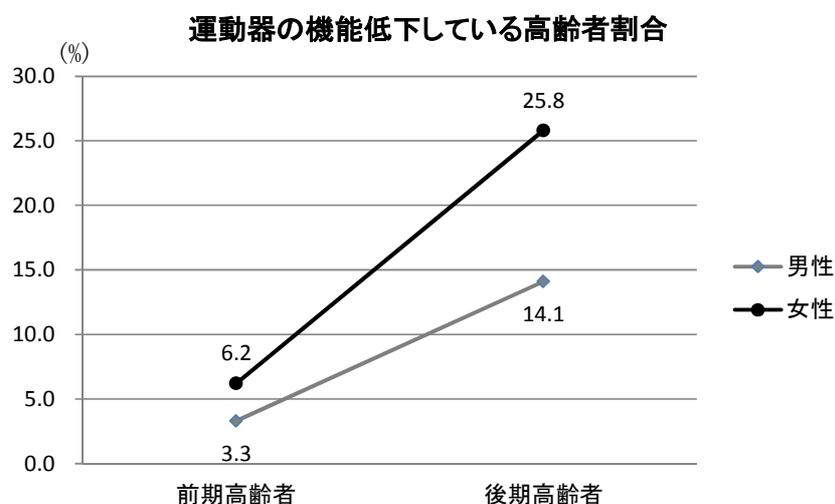
※調査票に複数の記入内容がある場合、複数でカウントしてある。

9. 各種リスクの状況

(1) 運動器機能の低下している高齢者割合

- Q 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（「できない」）
 Q 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（「できない」）
 Q 15分位続けて歩いていますか（「できない」）
 Q 過去1年間に転んだ経験がありますか（「何度もある」「1度ある」）
 Q 転倒に対する不安は大きいですか（「とても不安である」「やや不安である」）

○運動器機能の低下している高齢者割合



※運動器の機能低下：上記5問のうち、3項目以上、該当するものがある方

【性・年齢別 介護度別】（単位：人、%）

		調査数	運動器の機能低下している高齢者割合	該当なし
全 体		2,636	11.6	88.4
性・年齢別	男性 前期高齢者	706	3.3	96.7
	後期高齢者	384	14.1	85.9
	女性 前期高齢者	844	6.2	93.8
	後期高齢者	678	25.8	74.2
介護度別	非認定	2,484	8.8	91.2
	要支援1	63	52.4	47.6
	要支援2	65	81.5	18.5

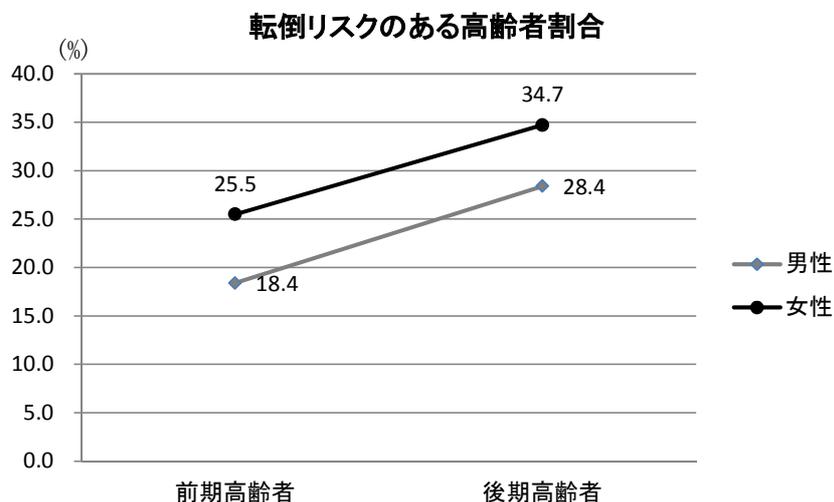
運動器の機能低下している高齢者割合は、男性に比べて女性のほうが年齢による増加の度合いが大きい。

介護度別で見ると、リスク該当者割合は、非認定で8.8%、要支援1で52.4%まで増加し、約6倍となっている。

(2) 転倒リスクのある高齢者割合

Q 過去1年間に転んだ経験がありますか（「何度もある」「1度ある」）

○転倒リスクのある高齢者割合



※転倒リスク該当者：過去1年間に転んだ経験が「何度もある」「1度ある」に該当する方

【性・年齢別 介護度別】（単位：人、%）

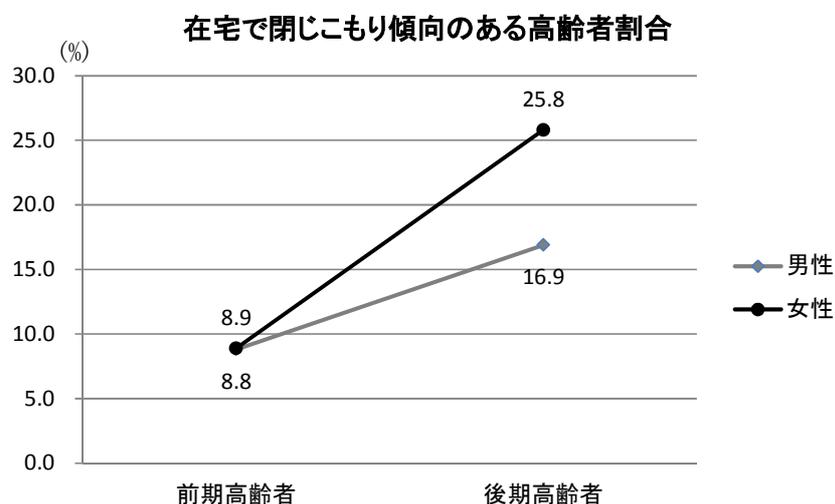
		調査数	転倒リスクのある 高齢者割合	該当なし
全 体		2,636	26.4	73.6
性・年齢別	男性 前期高齢者	706	18.4	81.6
	後期高齢者	384	28.4	71.6
	女性 前期高齢者	844	25.5	74.5
	後期高齢者	678	34.7	65.3
介護度別	非認定	2,484	25.0	75.0
	要支援1	63	44.4	55.6
	要支援2	65	60.0	40.0

転倒リスクのある高齢者割合は、男性よりも女性のほうが多いが、男女とも、年齢と共に増加する。介護度別でみると、リスク該当者割合は、非認定で25.0%、要支援1で44.4%まで増加し、約1.7倍となっている。

(3) 閉じこもり傾向のある高齢者割合

Q 週に1回以上は外出していますか（「ほとんど外出しない」「週1回」）

○在宅で閉じこもり傾向のある高齢者割合



※閉じこもり傾向あり：週の外出頻度で、「ほとんど外出しない」「週1回」に該当する方

【性・年齢別 介護度別】（単位：人、％）

		調査数	在宅で閉じこもり傾向のある高齢者割合	該当なし
全 体		2,636	14.4	85.6
性・年齢別	男性 前期高齢者	706	8.8	91.2
	後期高齢者	384	16.9	83.1
	女性 前期高齢者	844	8.9	91.1
	後期高齢者	678	25.8	74.2
介護度別	非認定	2,484	13.0	87.0
	要支援1	63	36.5	63.5
	要支援2	65	47.7	52.3

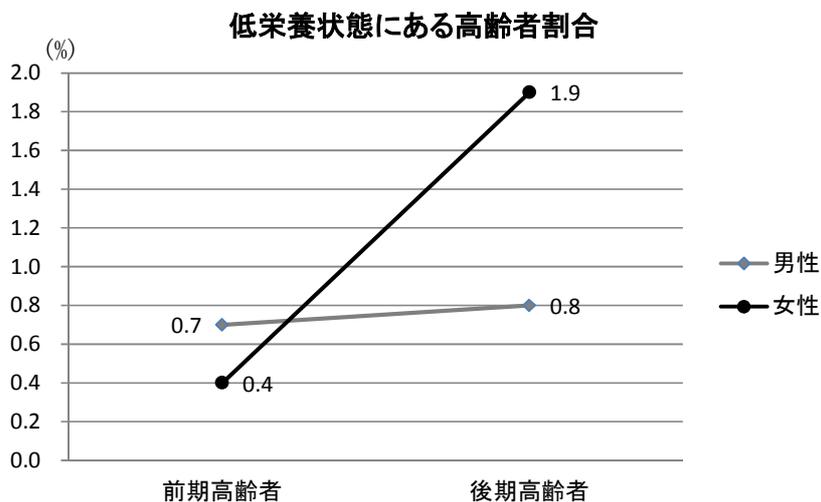
在宅で閉じこもり傾向のある高齢者割合は、男性に比べて女性のほうが年齢による増加の度合が大きい。

介護度別で見ると、リスク該当者割合は、非認定で13.0%、要支援1で36.5%まで増加し、約2.8倍となっている。

(4) 低栄養状態にある高齢者割合

- Q 身長・体重 (BMI (体重kg÷(身長m×身長m)) 18.5未満)
 Q 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (「はい」)

○低栄養状態にある高齢者割合



※低栄養状態：上記2問 (BMI18.5未満、体重減少) とともに該当する方

【性・年齢別 介護度別】(単位：人、%)

		調査数	低栄養状態にある 高齢者割合	該当なし
全 体		2,636	0.9	99.1
性・年齢別	男性 前期高齢者	706	0.7	99.3
	後期高齢者	384	0.8	99.2
	女性 前期高齢者	844	0.4	99.6
	後期高齢者	678	1.9	98.1
介護度別	非認定	2,484	0.8	99.2
	要支援1	63	3.2	96.8
	要支援2	65	4.6	95.4

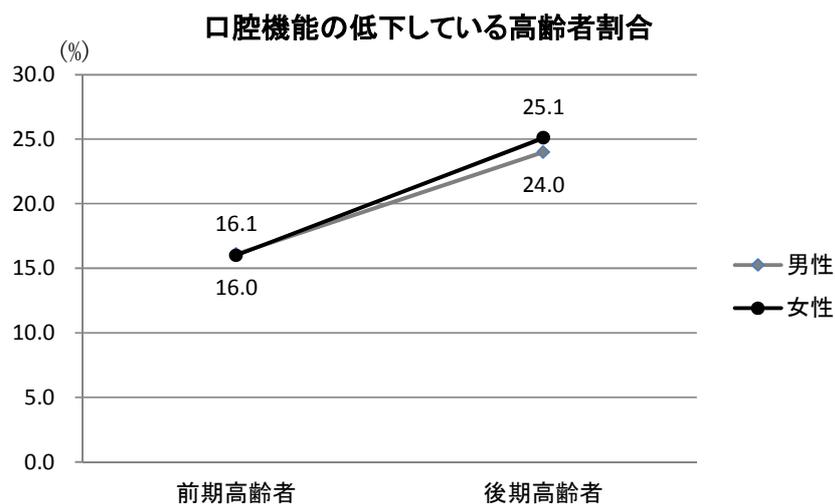
低栄養状態にある高齢者割合は、男性に比べて女性のほうが年齢による増加の割合が大きい。

介護度別で見ると、リスク該当者割合は、非認定で0.8%、要支援1で3.2%まで増加し、4倍となっている。

(5) 口腔機能の低下している高齢者割合

- Q 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（「はい」）
 Q お茶や汁物等でむせることがありますか（「はい」）
 Q 口の渇きが気になりますか（「はい」）

○口腔機能の低下している高齢者割合



※口腔機能の低下：上記3問のうち、2項目以上、該当するものがある方

【性・年齢別 介護度別】（単位：人、%）

		調査数	口腔機能の低下している高齢者割合	該当なし
全 体		2,636	19.7	80.3
性・年齢別	男性 前期高齢者	706	16.1	83.9
	後期高齢者	384	24.0	76.0
	女性 前期高齢者	844	16.0	84.0
	後期高齢者	678	25.1	74.9
介護度別	非認定	2,484	18.6	81.4
	要支援1	63	41.3	58.7
	要支援2	65	36.9	63.1

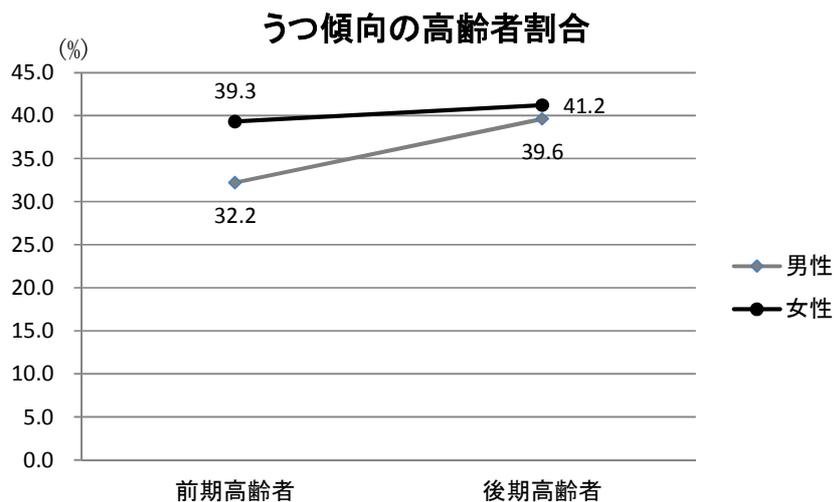
口腔機能の低下している高齢者割合は、性別による差はみられない。年齢により増加している。介護度別でみると、リスク該当者割合は、非認定で18.6%、要支援1で41.3%まで増加し、約2.2倍となっている。

(6) うつ傾向の高齢者割合

Q この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
 (「はい」)

Q この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (「はい」)

○うつ傾向の高齢者割合



※うつ傾向あり：上記2問のうち、1つでも該当する方

【性・年齢別 介護度別】(単位：人、%)

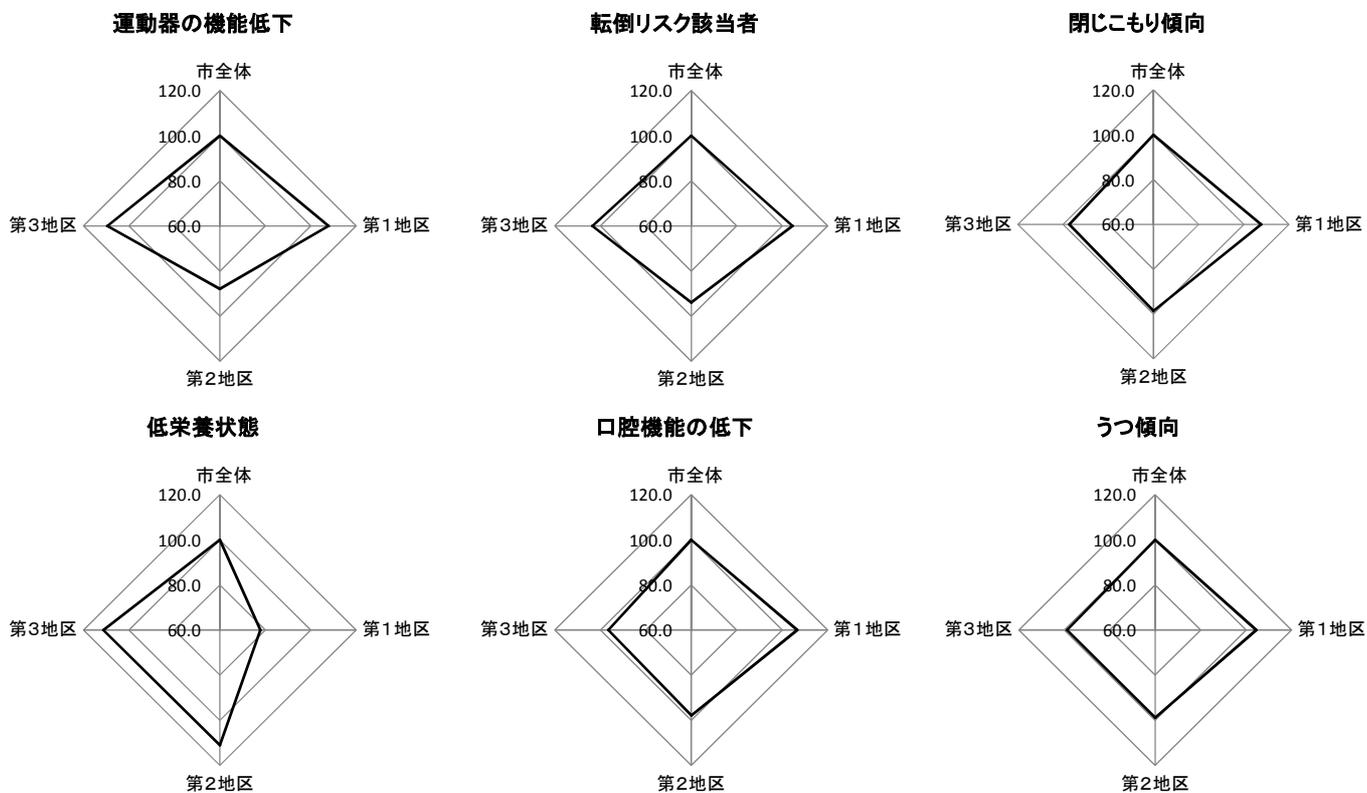
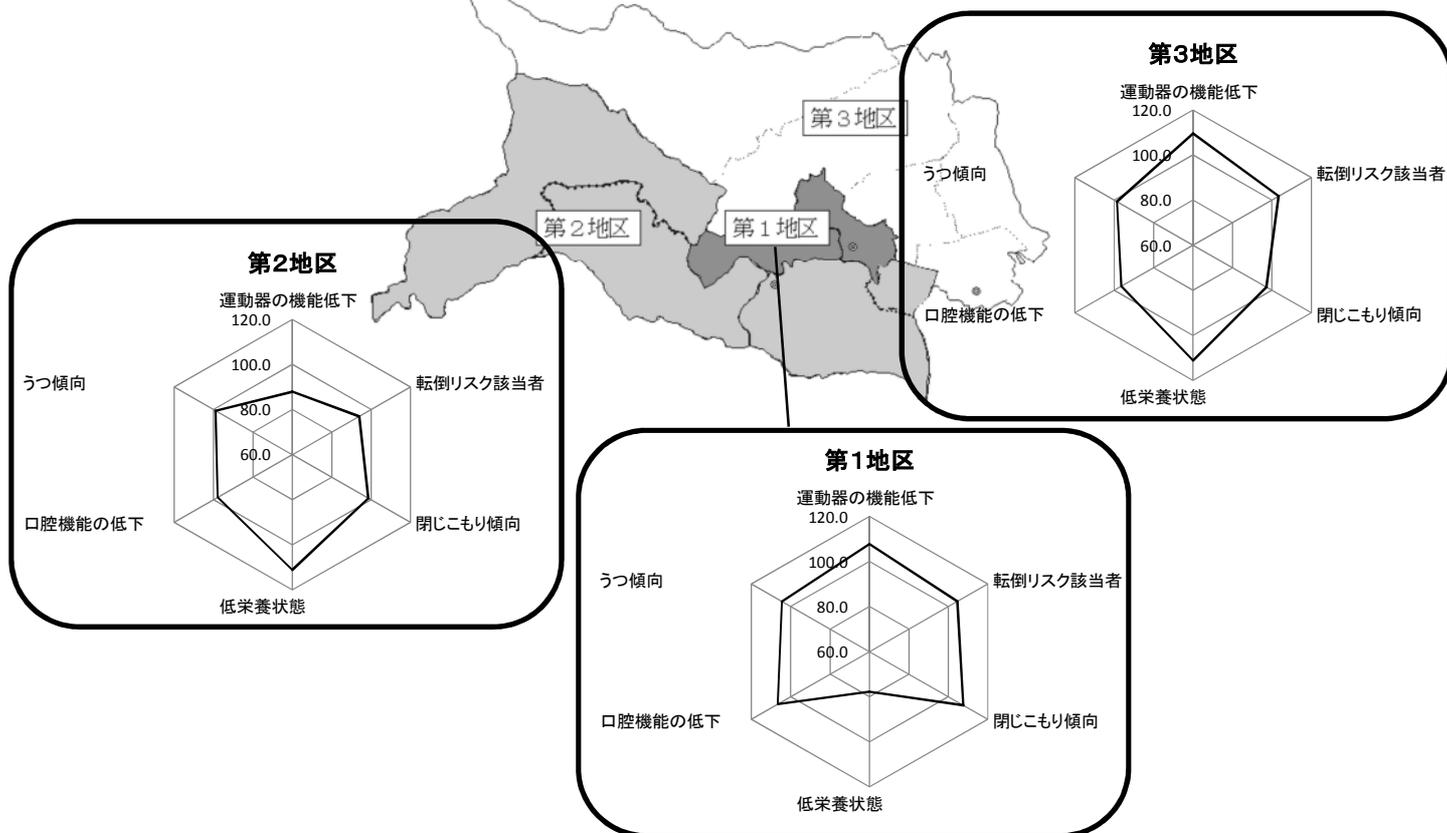
		調査数	うつ傾向の高齢者割合	該当なし
全 体		2,636	37.9	62.1
性・年齢別	男性 前期高齢者	706	32.2	67.8
	後期高齢者	384	39.6	60.4
	女性 前期高齢者	844	39.3	60.7
	後期高齢者	678	41.2	58.8
介護度別	非認定	2,484	37.0	63.0
	要支援1	63	60.3	39.7
	要支援2	65	52.3	47.7

うつ傾向の高齢者割合は、前期高齢者では、男性よりも女性のほうが多いが、後期高齢者では、その差は小さくなる。

介護度別でみると、リスク該当者割合は、非認定で37.0%、要支援1で60.3%まで増加し、約1.6倍となっている。

(7) 日常生活圏域別にみたリスク項目別指標の比較 (市域全体を100とした場合)

地域包括支援センターの3つの生活圏域



※値は市全体を100とした場合の各地区の割合

第2章 調査結果の詳細

【地区別】（単位：人、％）

	調査数	運動器の機能低下	転倒リスク該当者	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	うつ傾向
市全体	2,636	11.6	26.4	14.4	0.9	19.7	37.9
第1地区	594	12.5	27.6	15.5	0.7	21.0	39.6
第2地区	1,033	10.2	24.8	14.2	1.0	19.3	37.5
第3地区	985	12.7	27.3	14.0	1.0	19.0	37.4

【地区別】（市全体を100とした場合の各地区の指標）

	運動器の機能低下	転倒リスク該当者	閉じこもり傾向	低栄養状態	口腔機能の低下	うつ傾向
市全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第1地区	107.8	104.5	107.6	77.8	106.6	104.5
第2地区	87.9	93.9	98.6	111.1	98.0	98.9
第3地区	109.5	103.4	97.2	111.1	96.4	98.7

市全体を100として、地区別に見ると、第1地区は、市全体と比べて「低栄養状態」が低く、他の指標は市全体よりも高い。

第2地区は、市全体と比べて「低栄養状態」が高く、他の指標は市全体よりも低い。

第3地区は、市全体と比べて「運動器の機能低下」「転倒リスク該当者」「低栄養状態」が高く、他の指標は市全体よりも低い。

参考資料

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査票

(宛名ラベル)

介護予防・日常生活圏域二エズ調査

【調査票】

- 3 ページ目の「個人情報の取り扱いについて」をよくご確認ください。
- 設問を回答する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、12月26日(月)までに投函をお願いいたします。

記入日	平成	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄)				
3. その他				

青梅市

【問い合わせ先】 青梅市役所 高齢介護課 介護保険管理係

電話番号 0428-22-1111 (内線 2122)

ご協力をお願い

皆様には、日ごろから青梅市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、介護保険制度がスタートしてから16年が経ち、来年度は、3年に一度の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しが行われます。

これに当たり、青梅市では、介護保険も含め高齢者福祉施策のより一層の充実を図るため、アンケート調査を実施することといたしました。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年12月

青梅市長 浜 中 啓 一

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです。ご確認の
うえ、同意いただける場合はチェック☑および署名（ご本人の
氏名、代筆可）をお願いします。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。
本調査で得られた情報につきましては、青梅市による介護保険事業計画策定の
目的以外には利用いたしません。また当該情報については、青梅市で適切に
管理いたします。
- 介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生
労働省の管理する青梅市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集
計・分析することがあります。

（同意いただける場合は□に✓（チェック）をしていただき、
署名（ご本人の氏名、代筆可）をお願いします）

上記事項に同意します。

氏名 _____

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

1. 脳卒中(のうそっちゅう のうしゅつけつ・のうこうそく)
2. 心臓病
3. がん(悪性新生物)
4. 呼吸器の病気(はいきしゅ はいきしゅ・はいきしゅ)
5. 関節の病気(リウマチ等)
6. 認知症(にんちしょう にんちしょう)(アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病(とうりょうびょう とうりょうびょう)
9. 腎疾患(透析)
10. 視覚・聴覚障害(しかく ちようかくしやうがい)
11. 骨折・転倒(こっせつ てんとう)
12. 脊椎損傷(せきついそんしやう せきついそんしやう)
13. 高齢による衰弱(すいじゃく すいじゃく)
14. その他()
15. 不明

【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

1. 配偶者(夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他()

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう
4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

1. 持家（一戸建て） 2. 持家（集合住宅）
3. こうえいちんたいじゅうたく 公営賃貸住宅 4. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅（一戸建て）
5. みんかんちんたいじゅうたく 民間賃貸住宅（集合住宅） 6. 借家
7. その他

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか

1. はい 2. いいえ

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

1. 病気 2. 障害(脳卒中^{しょうがい のうそっちゅう}の後遺症^{こういしょう}など)
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない 10. その他()

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

1. はい

2. いいえ

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか

1. はい

2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか

1. はい

2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか

1. はい

2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

1. はい

2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか

1. はい

2. いいえ

(14) 家族や友人の相談にのっていますか

1. はい

2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか

1. はい

2. いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

1. はい

2. いいえ

(17) 趣味はありますか

1. 趣味あり \longrightarrow ()

2. 思いつかない

(18) 生きがいがありますか

1. 生きがいあり \longrightarrow ()

2. 思いつかない

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※① - ⑦それぞれに回答してください

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 高齢者クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

問6**たすけあいについて**

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|----------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

- | | | |
|----------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

- | | | |
|----------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

- | | | |
|----------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・高齢者クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・役所 | 6. その他 |
| 7. そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

- | | | |
|-------------|----------|---------|
| 1. 0人 (いない) | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人 | 5. 10人以上 | |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- | | | |
|-------------------|---------------|------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | |
| 6. ボランティア等の活動での友人 | | |
| 7. その他 | 8. いない | |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても
不幸

とても
幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない
4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

1. ない
2. 高血圧
3. のうそっちゅう 脳卒中 (のうしゅつけつ・のうこうそくなど 脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病
5. とうにようびょう 糖尿病
6. こうしけっしょう 高脂血症 (ししつじょう 脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. じんぞう 腎臓・ぜんりつせん 前立腺の病気
10. きんこっかく 筋骨格の病気 (こつそ 骨粗しょう症、ししょう 関節症等)
11. がいしょう 外傷 (てんとう 転倒・こっせつなど 骨折等)
12. がん (悪性新生物)
13. めんえき 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. にんちしょう 認知症 (アルツハイマー病等)
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他 ()

問8 高齢者福祉サービスなどについて

(1) 介護の認定(要支援1・2)を受けた人で、介護保険のサービスを利用していない方にお尋ねします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 入院中であるため
2. 今のところ自分で身の回りのことをするよう努力しているため
3. 家族に介護してもらっているため
4. 利用方法がわからないから
5. 希望するサービスがないから
6. いざという時のために認定を受けたが、今のところサービスを受ける必要がないから
7. その他 ()

(2) あなたは、介護が必要にならないうちの高齢期の住まいについて、どのようにしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 現在の住宅に住み続けたい
2. 子供や親族の家またはその近くの一般の住宅に移りたい
3. サービス付き高齢者向け住宅に入居したい
4. その他の高齢者向け住宅(シルバーピア、有料老人ホームなど)に入居したい
5. 上記1～4以外の一般の住宅に移りたい(生まれ育ったところなど)
6. わからない
7. その他 ()

(3) あなたは、介護が必要になったときの高齢期の住まいについて、どのようにしたいと思いますか。(○は1つ)

※現在、介護を受けている方は、今後の希望をお答えください。

1. 現在の住宅に住み続けたい (3-1へ)
2. 子供や親族の家またはその近くの一般の住宅に移りたい
3. サービス付き高齢者向け住宅に入居したい
4. 介護保険で入所できる施設 (特別養護老人ホームなど) に入所したい
5. その他の高齢者向け住宅 (シルバーピア、有料老人ホームなど) に入居したい
6. 上記1~5以外の一般の住宅に移りたい (生まれ育ったところなど)
7. わからない
8. その他 ()

上の設問で「1」を選んだ方にお聞きします。

(3-1) あなたが現在の住宅に住み続けたい理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 現在住んでいる地域に愛着があるから
2. 現在の住宅や土地を処分したくないから
3. 現在同居している家族と住み続けたいから
4. 新たな環境で生活するのは不安だから
5. 高齢者向け住宅に入居する場合、賃貸料、利用料、入居一時金などを負担できないから
6. 賃貸住宅は好きではないから
7. 高齢者だけで住む建物には住みたくないから
8. その他 ()

(4) 介護について、あなたはどのような希望をお持ちですか。
介護を受けている方は、今後の介護の希望をお答えください。現在、介護を必要と
していない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください。(○は1つ)

1. 家族や近隣、友人に支えられながら、できる限り在宅で暮らしたい
2. 介護サービスを利用しながら、できる限り在宅で暮らしたい
3. 福祉施設（特別養護老人ホームや有料老人ホームなど）に入り、介護を受けたい。
4. わからない
5. その他（ ）

(5) 青梅市では、65歳以上の方からいただいている介護保険料の基準月額が4,800
円（平成27年度～平成29年度）です。この保険料と介護サービスのあり方について、
あなたのお考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 給付される介護保険サービスを多少おさえても、介護保険料が低い方がよい
2. 介護保険料が多少高くても、給付される介護サービスが充実しているほうがよい
3. どちらともいえない
4. その他（ ）

(6) あなたは、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 孫の世話など家族との団らん
2. 旅行・レジャー
3. テレビ・ラジオ・新聞・読書
4. ショッピング・買い物
5. 自治会や高齢者クラブなどの地域活動
6. 学習や教養を高めるための活動
7. 運動・スポーツあるいは散歩など身体を動かすこと
8. ボランティア活動
9. 仕事・就労
10. 友人・知人・近所とのつきあい
11. 特にない
12. その他 ()

(7) あなたが、地域の活動に参加する上で支障となることや問題点として感じているものはありますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 地域でどのような活動が行われているか知らない | 2. 参加する時間的余裕がない |
| 3. 参加する経済的余裕がない | 4. 気軽に参加できる内容が少ない |
| 5. やりたいことが見つからない | 6. 同好の友人、仲間がいない |
| 7. 健康、体力に自信がない | 8. 特にない |
| 9. その他 () | |

(8) あなたは、日常生活の中で不安を感じたり心配になったりすることがありますか。
(○は3つまで)

1. ご自身や家族の健康

2. 生活費や医療・介護などの費用

3. 日常の金銭管理

4. 住まいのこと

5. 食事

6. 掃除や洗濯などの家事仕事

7. 買い物や通院の手段がないこと

8. 地震や台風などの自然災害

9. 独居・孤独への不安

10. 近所との人間関係や地域とのつながり

11. 特にない

12. その他 ()

(9) 現在のお住まいで生活を続けていく上で、地域でどのような手助けがあれば助かると
思いますか。(〇は3つまで)

1. 安否確認の声かけ

2. ちょっとした買い物やゴミ出し

3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い

4. ちょっとした力仕事

5. 通院の送迎や外出の手助け

6. 話し相手や相談相手

7. 気軽にいける居場所の提供

8. 食事の差し入れ(配食)

9. 特にない

10. その他 (

)

(10) あなた自身や家族が認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために、必要なものは何だと思われますか。(〇は3つまで)

1. 認知症の人が利用できる介護施設の充実
2. 心配事を気軽に相談できる場所
3. 介護する人の負担を減らす取組み
4. 近所の人々の認知症への正しい理解
5. 近所で認知症の人や家族を見守る体制作り
6. 行方が分からなくなった高齢者の早期発見の取組み
7. 認知症の人がいきがいを感ぜられる取組み
8. 特にない
9. その他 ()

(11) 認知症の人やその家族のために、地域においてあなたができそうなことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 認知症に関する講座を受け、認知症の正しい知識を得ること
2. 近所で困っている人に声をかける(話し相手になる)
3. 日頃から地域でのコミュニケーションを大切にする
4. 自分自身の認知症予防を心がける
5. 高齢者施設でのボランティア活動(話し相手やレクレーション補助など)
6. 行方不明になった認知症高齢者を探す
7. 家族会のお手伝い
8. 特にない
9. その他 ()

(12) 市が充実させるべきと思う高齢者施策は次のうちどれですか。(○は3つまで)

1. ひとり暮らし高齢者の見守り・安否確認活動
2. 認知症の人および介護する家族の支援
3. 生きがいづくりや社会参加に対する取り組み
4. 介護予防のための体操や筋力向上トレーニング
5. 福祉相談
6. 配食サービス・紙おむつの支給など生活支援サービス
7. 高齢者が働く場の確保
8. 成年後見等権利の擁護に関する取り組み
9. 悪徳商法・消費者被害から身を守る啓発活動
10. その他

(

)

(13) 各事業ごとに、利用状況と今後の利用希望について、該当するものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

事業名	利用状況			今後の利用希望					
	利用したことがある	知っているが利用していない	知らなかった	利用したい	どちらともいえない	利用を希望しない			
						制度がよくわからないため	対象者ではないため	必要としないため	その他
<記入例> 訪問理美容サービス	1	②	3	1	2	3	4	⑤	6
地域包括支援センター 高齢者の多様な相談に総合的に対応します。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
在宅介護支援センター 各種サービスの申請代行や相談を行います。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
温泉保養施設の利用助成 市が指定した温泉保養施設を利用する場合に利用料の一部を助成します。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
配食サービス事業 1食350円の自己負担で、週3回まで、ボランティア等により昼食の配送をします。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
紙おむつの支給 紙おむつ等を月額8,000円を限度に現物支給します。給付費の1割は自己負担です。	1	2	3	1	2	3	4	5	6
緊急通報システム 急病や緊急事態のときに、無線発報器により救急車の出動などの救護が受けられます。	1	2	3	1	2	3	4	5	6

事業名	項目	利用状況			今後の利用希望					
		利用したことがある	知っているが利用していない	知らなかった	利用したい	どちらともいえない	利用を希望しない			
							制度がよくわからないため	対象者ではないため	必要としないため	その他
火災安全システム 火災警報器等の給付や、専用通報機の設置により煙や熱を感知した際、消防車両等の出動が受けられます。		1	2	3	1	2	3	4	5	6
訪問理美容サービス 訪問サービス券を交付し、自宅で散髪等を受ける際の訪問料金を助成します。		1	2	3	1	2	3	4	5	6
住宅改造費の助成 浴槽・流し台・洋式便器等改造費を一定基準額まで自己負担1割で助成します。		1	2	3	1	2	3	4	5	6
日常生活用具の給付 入浴補助用具、歩行補助車等を一定基準額まで1割の自己負担で給付します。		1	2	3	1	2	3	4	5	6
寝具乾燥事業 寝具の自然乾燥ができない世帯に、月1回4枚まで乾燥を1割負担で行います。		1	2	3	1	2	3	4	5	6
福祉電話の設置 電話がない世帯の方に、電話設置にかかる費用を助成し、希望により週2回の安否確認を行います。		1	2	3	1	2	3	4	5	6
シルバーマイスター制度 優れた技能・知識・経験を持った方を認定・登録し、ボランティアとして技能等を広める活動をしていただきます。		1	2	3	1	2	3	4	5	6

事業名	項目	利用状況			今後の利用希望					
		利用したことがある	知っているが利用していない	知らなかった	利用したい	どちらともいえない	利用を希望しない			
							制度がよくわからないため	対象者ではないため	必要としないため	その他
高齢者クラブが行っている各種活動 地域の高齢者が自主的に組織した団体で、健康で豊かな生活のための活動をしています。	1	2	3	1	2	3	4	5	6	
老人（福祉）センター 高齢者の憩いの場として、休養室や入浴施設などを設置しています。	1	2	3	1	2	3	4	5	6	
沢井保健福祉センター 高齢者の憩いの場として、休養室や入浴施設などを設置しています。	1	2	3	1	2	3	4	5	6	
小曾木保健福祉センター 高齢者の憩いの場として、休養室や入浴施設などを設置しています。	1	2	3	1	2	3	4	5	6	
高齢者教養講座 60歳以上の方を対象とした教養講座を、老人センター、沢井・小曾木保健福祉センターで開催しています。	1	2	3	1	2	3	4	5	6	
敬老会 75歳以上の方の長寿をお祝いし、演芸等を催しお楽しみいただきます。	1	2	3	1	2	3	4	5	6	

(14) 今後の青梅市の高齢者施策についてのご意見等があれば、ご自由にご記入ください。

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

同封の返信用封筒に入れて投函をお願いいたします。

青梅市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書

平成29年4月発行

【発行】青梅市 健康福祉部 高齢介護課
〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1
電話：0428(22)1111（代表）
